

総合分析実験センター 自己点検評価報告書

平成24年度

目次

1. 部局等の目的・目標	2
2. 部局等の概要	2
3. 領域別の自己点検評価	3
(1) 教育支援の領域	3
(2) 研究支援の領域	5
(3) 国際交流・社会貢献の領域	7
(4) 組織運営の領域	8
(5) 施設の領域	9
4. 外部評価	10
5. 総括	10
6. センター利用実績	11
(1) 利用実績の動向	11
(2) センター施設・設備・機器利用者数	12
(3) センターを利用して得られた業績および外部資金	16
▪ 著書	16
▪ 原著論文	17
▪ 総説・資料・解説・論説・研究報告・総合雑誌の論文	31
▪ 一般講演	34
▪ 招待講演・特別講演	65
▪ 受賞	68
▪ 外部資金	68
▪ 知的財産権の出願等	74
(4) センター教職員による業績および外部資金	75
7. 外部評価委員による評価結果・意見	78

平成24年度総合分析実験センター自己点検評価報告書

1. 部局等の目的・目標

佐賀大学総合分析実験センターは本学における教育研究の総合的支援を目的とした全学共同施設で、本庄地区と鍋島地区それぞれに「生物資源開発部門」、「機器分析部門」、「放射性同位元素利用部門」および「環境安全部門」の4部門を設置している。

生物資源開発部門は、遺伝子組換え実験と動物実験に関する教育、研究、講習、教育訓練および安全管理を担当する。機器分析部門は、大型高性能分析機器類の維持管理、総合的な分析・測定に関する教育と研究、分析機器の使用講習会および教育訓練を担当する。放射性同位元素利用部門は、放射性同位元素等の利用に関する教育と研究、放射性同位元素等安全取扱講習会および安全管理を担当する。環境安全部門は、環境分析機器の安全管理と教育講習、環境整備および環境分析に関する研究の支援、環境問題に関する共同研究の受入れおよび相談窓口、環境問題についての教育および情報提供、および学内環境安全業務の一部を担当する。これらの4部門が機能的に連携して学内の研究教育を総合的に支援する。

総合分析実験センターに関する本学の中期計画として、次の3項目が定められている。

- ① 総合分析実験センターを基盤として、実験機器類の整備拡充と全学的有効利用システムの構築を図り、学生教育並びに社会的ニーズに応じた教育訓練環境を整備する。
- ② 総合分析実験センターを研究支援組織の中核として整備し、研究室、研究機器等の共同利用を進める。
- ③ 学外の研究者が総合分析実験センター等の分析機器類を活用できるシステムの構築を図る。

2. 部局等の概要

佐賀大学総合分析実験センターは、社会的な要請度の高い生命、環境、材料等の研究やこれらの複合領域研究に対応できる人材の育成を総合的かつ効果的に支援する体制を構築するために、平成14年4月1日に、従来の「機器分析センター」と「放射性同位元素実験室」を「機器分析分野」、「放射性同位元素利用分野」に改組し、それに新設の「ライフサイエンス分野」を加えて学内共同教育研究支援施設として設立された。平成15年10月1日の佐賀医科大学との統合にあたり、同医科大学の動物実験施設、実験実習機器センター、RI実験施設を加え、生命科学領域の教育研究支援体制を充実させ、「生物資源開発部門」、「機器分析部門」および「放射性同位元素利用部門」の3部門からなる全学的な研究教育支援施設として新たな「総合分析実験センター」に生まれ変わった。さらに、平成18年度に「環境安全部門」を新設し、これらの4部門が連携して、学内の理工、農、医、文化教育学分野の研究教育を総合的に支援している。各部門は、佐賀大学の本庄地区と鍋島地区にそれぞれに配置されており、平成24年度はセンター長(併任)、副センター長(併任)、准教授4名、助教2名、教職員2名、技術職員8名(うち3名は再雇用)、非常勤職員5名、研究支援推進員1名から構成されている。

平成24年度の動物実験施設(鍋島)、RI実験施設(本庄及び鍋島)の各施設利用者は延人数12,244名であり、センターに設置している設備・機器利用回数は、延36,308回であった。また、センターを利用して得られた業績は、著書23件、原著論文211件、総説、解説、資料、知的財産など64件、学会発表、招待講演など599件で、センターが貢献した外部資金獲得は、延149件で総額382,782,000円である(6. センター利用実績参照)。このうち、センター専任の教職員が直接関わったものは、著書0件、原著論文7件、総説、解説、資料、知的財産など0件、学会発表、招待講演など18件、外部資金獲得は17件で総額12,177,000円である(6. センター教職員による業績参照)。今年度の施設・機器の利用、業績は過去2年間と比べ大きな変動はないが、外部資金獲得数およびその金額は増加しており、センターによる支援が学内の研究活動および利用者の研究資金獲得に大きく寄与していることを表している。また、これらの研究業績に学生(博士・修士課程、および学部学生)が関与していることから、センターの支援業務は本学の研究教育に貢献していることが分かる(6. センター利用実績参照)。

3. 領域別の自己点検評価

(1) 教育支援の領域

ア 教育支援環境に関する事項

総合分析実験センターを基盤として、実験機器類および生物資源の維持・開発と放射性同位元素利用に関する設備の整備拡充と全学的有効利用システムの構築を図り、学生教育並びに社会的ニーズに応じた教育訓練環境を整備するため、以下の事項を中心に取り組んだ。

(継続して取り組んでいる事項)

- 1) 教員、学生等が利用した機器とそれによって得られた研究成果および機器を利用することを前提として得た外部資金に関する情報収集を毎年度行なうこととし、その調査対象とする機器、調査方法、データ整理について、報告書の内容や研究成果の情報収集の方法の改善を図っている。
- 2) センター両地区の共同利用可能機器についての情報を発信するホームページを構築し、共同利用機器の予約申込み、予約状況ならびに運用状況の確認をオンラインでできる体制を整えている。また、機器分析部門鍋島地区においては利用者メーリングリストを構築し、共同利用機器運用に関して迅速な情報提供を行う体制を整えている。
- 3) 学外研究機関に所属する教職員等が総合分析実験センターを利用できるよう、平成19年度より本庄地区において「受託試験」(<http://www.iac.saga-u.ac.jp/jutaku/>)を開始した。また、平成22年度からは鍋島地区の機器分析ならびに放射性同位元素利用両部門においても「受託試験」(<http://www.kiki.med.saga-u.ac.jp/jutaku/index-j.html>)を開始した。今後も情報の周知と、受託可能な機器の拡充を図っていく予定である。
- 4) 現在運用している機器利用システムのさらなる改善および共同利用機器数の増加を図るため、共同利用可能機器の調査依頼を全学に対して行い、共同利用可能機器の増加に努めるとともに、老朽化等により利用できなくなった機器については整理を行っている。平成24年度末現在の共同利用可能機器は全281台であり、そのうち本庄地区に52台、鍋島地区に229台が設置されている(<http://www.iac.saga-u.ac.jp/>)。
- 5) 平成22年度自己点検評価報告書の外部評価委員の提案を基に、継続して取り組んでいる事項と今年度取り組んだ事項(本年度事項)を分けて記載するとともに、センターを利用して得た研究業績を本学のデータベースから収集することとした。

(本年度事項)

- 6) センターを利用して得られた研究業績(本庄地区分)を本学の研究業績データベースから一括して収集することとした。データ収集は本学の研究業績データベースを管理している情報管理課に依頼した。

イ センターが行う教育に関する事項(使用法、安全、規則等に関する教育)

総合分析実験センターに関わる施設・機器の使用法や法令・規則等の教育に関して、教職員や学生及び関係者に対して必要な教育活動を行い、その教育訓練体制の整備・改善を図るため、以下の事項に取り組んだ。

(継続して取り組んでいる事項)

- 1) 放射線同位元素の取扱に必要な放射線業務従事者講習会は、本庄地区と鍋島地区でそれぞれ行っている。受講者への便宜を図るため、どちらの地区でも受講できるようにしている。
- 2) 放射線業務従事者登録の便宜を図るため、本庄地区では、新規教育訓練については関係学部の卒業研究開始時期等を考慮した年2回(6月と12月)の定期的な訓練以外に、5名以上の希望者がいる場合には随時教育訓練を行っている。更新教育訓練に関しては、12月から3月にかけて複数回開催し、更新希望者全員の便宜を図っている。鍋島地区では4、5、10月にそれぞれ新規および更新教育訓練を行うことに加え、要請に応じて随時、教育訓練を実施している。
- 3) 動物実験に関する教育訓練を学内の「動物実験委員会」と連携し、年2回、本庄地区と鍋島地区で実施している。これ以外にも、希望者に対しては随時、教育訓練を実施している。また、動物実験の

- 実験計画書の作成の相談、指導、事前審査、受付業務を行っている。
- 4) 本庄地区および鍋島地区における遺伝子組換え実験に関する教育訓練を主導している。平成 21 年度からは新たに、英語による教育訓練も開始している。また、遺伝子組換え実験申請書の提出前の内容確認を行い、申請者への便宜を図っている。
 - 5) センターが直接または間接的に関与して行われる教育訓練の際、アンケート調査を行い、利用者のニーズの把握に努めている。
 - 6) 機器分析部門鍋島地区では、適宜、利用者ミーティングを開催し、利用者からのニーズを把握するとともに円滑な共同利用環境の醸成を図っている。
 - 7) 環境安全部門を統括する本庄地区機器分析部門の専任教員は、本庄地区環境安全衛生委員会メンバーとして安全巡視や簡易作業環境測定業務の実施に貢献するとともに、理工学部循環物質化学科安全衛生委員会メンバーとして同学科の安全衛生管理に貢献している。同部門鍋島地区を担当する教務員は医学部安全衛生委員会メンバーとして鍋島キャンパスの安全衛生管理に貢献している。
 - 8) 既に作成済みのマニュアル・手引きについて、更新が必要なものは随時更新を行なっている。
(本年度事項)
 - 9) 動物実験に関する教育訓練について、定期に実施される教育訓練に加え、利用者の希望に応じて教育訓練を計18回実施し、利用者の便宜を図るとともに、動物実験計画書の事前審査を、75件実施した。
 - 10) 機器分析部門鍋島地区での利用者ミーティングを平成 24 年 7 月 30 日ならびに平成 25 年 3 月 28 日に開催した。

ウ センター教職員が行う、学部等における教育活動に関する事項

専任教員および技術職員は、各部門利用者に対する教育訓練などの研究教育支援だけでなく、教養教育運営機構及び関連学部と協力し、平成 24 年度には以下のような主題科目や学部の講義・実習を担当することで、学生の教育にあたっている。

(本年度事項)

- 1) 機器分析部門本庄地区専任教員 1 名が、主題科目「生活の化学」「身近な環境—知ろう・見よう・考えよう—(分担)」「身近な環境—調べよう・深めよう・伝えよう—(分担)」「教員のための環境教育(分担)」「やさしい実験化学 I(分担)」、理工学部「分離化学」「大学入門科目(分担)」「理工学基礎科学(現代化学)(分担)」「機能物質化学実験 I(分担)」および大学院工学系研究科博士前期課程「物質環境化学特論」「融合循環物質化学特論」「基礎反応化学特論(分担)」「循環物質化学セミナー(分担)」「循環物質化学特別演習(分担)」「基礎反応特論(分担)」を担当した。このうち「大学入門科目」、「機能物質化学実験IV」は技術職員と連携して担当した。
- 2) 生物資源開発部門本庄地区専任教員 1 名が、主題科目「生命と物質(ゲノムから生命を知る)」、農学部「分子細胞生物学」「生化学実験(分担)」「専門外書講読(分担)」「演習(分担)」、大学院農学研究科「分子細胞生物学特論」「細胞情報学特論」「先端分析科学特論 II(分担)」「生命機能科学特論(分担)」「生命化学演習(分担)」および大学院連合農学研究科「先端応用生命科学特論」を担当した。
- 3) 放射性同位元素利用部門本庄地区専任教員 1 名が、農学部「生化学実験(分担)」「専門外書講読(分担)」「演習(分担)」、大学院農学研究科「微生物酵素学特論」「極限環境微生物学特論」「先端分析科学特論 II(分担)」「生命機能科学特論(分担)」「生命化学演習(分担)」を担当した。
- 4) 機器分析部門鍋島地区専任教員 1 名が、主題科目「衛生管理概論」、「人間環境科学」、大学院医学研究科修士課程「生体傷害分析法」「実験検査・機器特論」、大学院医学研究科博士課程「機器分析法」「アイソトープ分析法」を担当するとともに、教務員 2 名および技術員 1 名と連携して医学部「基礎生命科学実習(分担)」を担当した。
- 5) 生物資源開発部門鍋島地区では専任教員 2 名が、主題科目「実験動物学」、医学部「基礎生命科学実習(分担)」、大学院医学研究科修士課程「実験動物学特論」、大学院医学研究科博士課程「動物実験法」を担当した。

(2) 研究支援の領域

ア 学術・研究活動に関する事項

センターの活動を通じて本学における学術・研究の推進を図るため、学内外との共同研究の推進、学外研究プロジェクトへの参画、シンポジウム等の開催を中心に取り組んでいる。

(継続して取り組んでいる事項)

- 1) 生物資源開発部門鍋島地区では、医学部、および農・理工・文教学部とも連携できる研究テーマの一つとして、生活習慣病の病態モデルとなる遺伝子改変ウサギの開発とそれを用いた分子病理学的研究を行っている。これに関して、総合分析実験センターにおいて開発・維持されている遺伝子改変ウサギを他の研究機関に分与するとともに共同研究を推進している。
- 2) 機器分析部門鍋島地区では、教員 1 名が放射線医学総合研究所(平成 20 年度～)、ならびに京都大学原子炉実験所(平成 21 年度～)で共同利用研究員として活動し、放射線がん治療の基礎研究をテーマに共同研究を行っている。また、学内では、理工学部教員と共同研究を行い、論文 1 報を報告した。
- 3) 生物資源開発部門本庄地区では、開発したプラスミド DNA の分与を行っている。
- 4) センター各部門共同でセミナーを開催し、センター専任教員を中心とした部門間連携を強めるとともに、センターを中心として学内外との連携が可能な研究プロジェクトの検討を行っている。
- 5) 機器分析部門本庄地区専任教員 1 名が財団法人電力中央研究所との共同研究「地下水および表層水に存在する有機物の採取法検討と特性評価」の研究を行うとともに、佐賀県玄海水産振興センターが行っている「藻場再生プロジェクト」に関して「海水中における鉄イオン濃度分析」を担当している。また、海洋エネルギー研究センターとの共同研究として、名古屋大学からの ppb レベルの溶存鉄の定量を担当するとともに、共同研究として佐賀大学研究シーズ「放射性元素除去剤の開発」に参加している。さらに、裁判にかかる鑑定書の作成(曝気槽に関する物)を行った。

(本年度事項)

- 6) 生物資源開発部門鍋島地区で開発・維持している遺伝子組換えウサギを国内の 2 機関に合計 47 匹分与した。
- 7) 生物資源開発部門本庄地区で開発したプラスミドを国内外の研究者に分与した(2 件)。
- 8) 総合分析実験センターセミナーとして、外部講師を招き 3 回のセミナーを開催した。

イ 研究支援環境に関する事項

本学全体およびセンターにおける研究環境の改善、また、大学間の連携を高めて情報共有や機器の相互利用を推進のため、次のことに取り組んでいる。

(継続して取り組んでいる事項)

- 1) 3. (1)ア-4)に示すように、共同利用可能機器に関する調査結果に基づいて、共同利用可能機器の増加を図っている。また、機器の運用状況がインターネットを通じて確認できるようにするなど、ホームページの改善も図っている。
- 2) 低利用頻度機器および譲渡希望機器の収納スペースを整備し(リサイクルファシリティ)、譲渡を希望する機器について情報を収集しホームページで情報開示するシステムの運用を開始している。また、HP やメールを利用してリサイクルファシリティの周知を図り、年度末などに向けてファシリティの活用を案内している。運用開始から平成 25 年 3 月 31 日までに 35 物品の譲渡を完了している。
- 3) 大学連携研究設備ネットワークに 3 台の機器を登録しネットワーク利用機器の充実を図っている。また、ネットワークを利用した共同研究を通じて、共同利用機器の利用活性化に協力している。
- 4) 動物実験に関して、研究テーマに即した飼育室・実験室の改善を図っている。特に、遺伝子組換えマウスの飼育スペースの不足に対して、設備や飼育器材の充実に向けて可能な限り対応している。
- 5) 生物資源開発部門鍋島地区では、新たな研究支援業務の開発を目指して、利用者とともに「マウス胚の凍結保存」法について検討を行っているほか、動物実験における学内研究者の技術向上を目的に、動物実験技術講習会を開催し、技術指導を行っている(ただし、平成 24 年度は、動物実験施設の改修工事のため中断)。
- 6) 学外研究機関等による総合分析実験センター利用のために、本庄・鍋島両地区機器分析部門にお

いて「受託試験」を行なっている。<http://www.iac.saga-u.ac.jp/jutaku/>
<http://www.kiki.med.saga-u.ac.jp/jutaku/index-j.html>。

- 7) 他大学の共同利用可能機器に関する情報を大学内に発信している。
 - 8) 他大学へ総合分析実験センター内の共同利用可能機器に関する情報を発信している。
 - 9) 国立大学法人生命科学研究機器施設協議会に参画し、設備の大学間相互利用をはじめとした活動に協力した。
 - 10) 全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会に参画し、設備の大学間相互利用をはじめとした活動や「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律」へ対応するための活動に協力した。
 - 11) 「国立大学法人動物実験施設協議会」に参加し、動物実験および実験動物に関連する情報収集、意見交換を行なった。また、協議会の調査等に協力した。
 - 12) 平成 21 年度から研究支援推進員1名を継続して採用している。また、学内措置により、機器分析部門本庄地区において博士研究員1名を採用している。
- (本年度事項)
- 13) 総合分析実験センターQ&A を改訂し、センターユーザーだけでなく学内に広くセンター業務を周知するとともに、教職員ならびに学生に対する研究情報支援を行った。さらに、Q&A 英語版を作成、発行し(<http://www.iac.saga-u.ac.jp/>)、留学生に対するセンター業務の周知および支援を行っている。本 Q&A については、今後毎年改訂を行い、アップデートな情報提供を行なっていく予定である。
 - 14) 環境安全部門鍋島地区では、前項2)に関連して、鍋島地区ユーザーの利便性を高めるため、平成 23 年度より鍋島地区リサイクルファシリティーを運用している。平成 24 年度の譲渡実績は 26 物品であった。

ウ センター職員による研究活動に関する事項

センターでは、ア、イに示す研究支援活動と並行して、教職員がそれぞれ独自の研究テーマを持ち研究を行っている。個々の専門分野で高いレベルの研究に携わり、その研究活動や研究交流を通じて最新の研究成果や情報を入手することにより、センターの教育研究支援の向上と、本学の研究教育の推進に貢献している。

(継続して取組んでいる事項)

- 1) 生物資源開発部門本庄地区では、新しい遺伝子組換え技術の開発、タンパク質に結合する低分子リガンドの探索、カンキツのオミックスをテーマに研究を行っている。
 - 2) 生物資源開発部門鍋島地区では、部門の研究テーマとして、1)ヒト疾患モデルとしての遺伝子改変ウサギの開発と医学研究への応用、2)ウサギ精子および胚の凍結保存に関する研究に取り組んでいる。
 - 3) 機器分析部門本庄地区では、自然界の土壌や水中に存在する腐植物質の構造特性、機能特性に関する研究を地球科学分野、原子力開発分野、農業分野等の研究者と共同して行っている。
 - 4) 機器分析部門鍋島地区では、放射線や環境因子による DNA 傷害とその修復機構を生化学的、分子遺伝学的に検討し、生物の遺伝情報維持機構を明らかにするべく、准教授 1 名、教務員 2 名が協力して研究を行っている。また同准教授 1 名は、放射線医学総合研究所ならびに京都大学原子炉実験所の共同研究員として、放射線がん治療に関する基礎研究をテーマに共同研究を行っている。
 - 5) 放射性同位元素利用部門本庄地区では、極限環境微生物の生産する酵素の機能および構造に関する研究を行っている。
 - 6) 各部門に配置されている技術系職員(含教務員)の研究への参画を促進しており、一部の技術系職員は独自の研究テーマに取り組んでいる。さらに、共同研究員として分析、調査を担当している。
 - 7) 機器分析部門本庄地区技術職員は海水に含有する資源の新規回収法に関する研究を行っている。
- (本年度事項)
- 8) 平成 24 年度の研究成果は、原著論文 7 件、学会発表・招待講演など 18 件、外部資金獲得は 17 件であった。研究成果の詳細は「6. センター利用実績」に記す。

(3) 国際交流・社会貢献の領域

ア 教育における社会連携・貢献に関する事項

センターでは各センター教員の専門研究分野および各部門の特色を活かした社会貢献、地域社会との連携、他大学との教育における連携および地域に貢献する教育活動として以下の事項に取り組んでいる。

(継続して取り組んでいる事項)

- 1) センター教員が担当する講義「身近な環境—調べよう・深めよう・伝えよう—」の一環として、学内にビオトープ(ホタル池)を整備運営し、ホタルの放流、鑑賞会等のイベントを行った。またそのイベント内で、保育園スタッフを含む地域市民と連携して、佐賀環境フォーラムワークショップ“環境教育”グループによる紙芝居を通じた地域の幼稚園児や小学生への環境教育を行い、同時に市民への憩いの時間を提供した。学生運営スタッフを指導しながら年2回(春と秋)の大学構内および近隣を流れるクリークの河川清掃を近隣自治会と協力して実施、運営しており毎回60~100名程度の参加者とともに社会へ貢献している。
- 2) センター職員が理事を務めるNPO主催で佐賀の伝統的な農業イベント「ごみくい」を企画し、学生約80名とともに参加した。
- 3) 本庄地区環境安全部門専任職員は学内を流れる河川清掃を近隣自治会(佐賀大学前自治会)とともに、年2回企画実施している。
- 4) 学生活動「チャリさがさいせい(チャリさ)」の顧問として、学内、および周辺アパートの放置自転車の回収・修理・販売・譲渡を行い、学内や近隣地域の放置自転車撲滅運動に貢献している。また同グループは地域のイベント「佐賀城下ひな祭り」「さがシルバーフェスタ」「呉服町万博」の期間中に再生自転車をを用いたレンタサイクルを実施し、一般市民に①放置自転車の撲滅、②循環型社会の推進、③自動車を使わない省資源・健康な観光を提案し環境に関する啓蒙活動に貢献している。
- 5) 平成22年度より、本学文化教育学部附属中学校校友会が行なっている「佐賀大学の先生の授業を受けてみよう」に協力し、センター教員が講義を行なっている。

(本年度事項)

- 6) センター教員は、他大学・研究教育機関などでの講義・実習も担当している。広島大学大学院理学研究科における講義「遺伝子化学Ⅱ」、大川看護福祉専門学校における講義「現代生活論(内容は生物学)」、武雄看護リハビリテーション学校における講義「解剖生理学」を担当した。
- 7) 附属中学校連携事業「佐賀大学の先生の授業を受けてみよう」では、「放射線をはかる」、「遺伝子組み換えについて知ろう」を開講した。
- 8) 「来てみんなしゃい！佐賀大学へ！！」という企画で「見てみよう！「遺伝子」と「放射線」」という研究体験教室を、中学生・小学校高学年向けに開催した。
- 9) センター教員が顧問を務める学生活動グループ「チャリさがさいせい(チャリさ)」が全国学生環境活動コンテスト(ecocon2012)に参加し、グランプリ(環境大臣賞)と会場賞の同時受賞をした。また、同グループは学長賞、佐賀県環境功労賞、およびソチプロニスト学生ボランティア賞を受賞した。
- 10) 環境に関する事項で、環境省への環境政策提言を提出した。
- 11) 佐賀県が開催している「ゆめ佐賀大学」において「環境総論」の講義を4回行った。
- 12) 産業環境管理協会が実施する「公害防止管理者等資格認定講習」において「大規模水質特論」を2回行った。

イ 研究における社会連携・貢献に関する事項

学外の研究者が総合分析実験センター等の分析機器類を活用できるシステムの構築を図るため、また学外の研究者との連携を深めるとともに、地域社会の研究推進や学会活動に貢献するため、以下のことに取り組んだ。

(継続して取り組んでいる事項)

- 1) 平成19年度から「受託試験」を開始している (<http://www.iac.saga-u.ac.jp/jutaku/>
<http://www.kiki.med.saga-u.ac.jp/jutaku/index-j.html>)。
- 2) 地域に貢献する研究支援活動を行うために、佐賀大学産学連携推進機構を活用し、同機構のホー

- ムページからの情報発信に協力している。
- 3) 佐賀県農業研究試験研究センターと農学部、理工学部、および NPO 団体との協働により、農林水産省助成事業“新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業”にて、「クリーク底泥の安全性、および有効性の保証データの作成」研究を行っている。
 - 4) 佐賀県バイオマスエネルギー計画、佐賀市バイオマスタウン構想に協力し、民間の研究への相談に対応し、共同研究計画を策定中である。
 - 5) 「佐賀環境フォーラム」の活動において、佐賀市と協力し、佐賀市内公立小中学校のシックスクール調査を行っている。

ウ その他国際交流・社会貢献に関する事項

(継続して取組んでいる事項)

- 1) ホームページを通じて、開発したベクター DNA を国内外に分与する活動を行っている (<http://www.iac.saga-u.ac.jp/lifescience/pSU0/>)。
- 2) 生物資源開発部門鍋島地区で開発・維持を行っている遺伝子組換えウサギを国内外に分与する活動を行っている。
- 3) 民間企業と提携し、中国、太湖の浄化計画に協力している。
- 4) 日本腐植物質学会監査として、学会の運営に貢献している。
- 5) 環境関連の二つの NPO の理事および副理事長として活動に協力している。
- 6) 毎年開催される韓国・大邱大学校とのジョイントセミナーに協力している。
- 7) 海外の研究機関(ハンガリー国立農業バイオテクノロジー研究所、中国西安交通大学)と共同研究を実施している。

(本年度事項)

- 8) センター教員 1 名が佐賀市の委託を受け、佐賀市役所の環境監査を行った。
- 9) センター教員 1 名が 12th International Workshop on Radiation Damage to DNA, Prague, Czech Republic, 2012.6.2-7 に参加し、研究発表を行うとともに同学会に参加した研究者と意見交換を行った。
- 10) 協定校である韓国・大邱大学校の主催で開催された The 7th Saga University and Daegu University Joint Seminars で、センターで研究を行っている大学院生 2 名がポスター発表し、交流を深めた。

(4) 組織運営の領域

ア 教育研究組織の編成・管理運営に関する事項

(継続して取組んでいる事項)

- 1) 本庄地区と鍋島地区のテレビ会議システムを活用して会議を行っている。
- 2) 年間数回のスタッフ会議を開催し、研究支援、財務、組織運営などに関する方針や問題について討論している。

イ 財務に関する事項

(継続して取組んでいる事項)

- 1) 自己収入の増加を図ることも一つの目標として、学外研究機関による総合分析実験センター利用のために、「受託試験」を行っている (<http://www.iac.saga-u.ac.jp/jutaku/> <http://www.kiki.med.saga-u.ac.jp/jutaku/index-j.html>)。
- 2) 生物資源開発部門鍋島地区では、動物実験施設の空調設備の運転状況の見直し等による光熱水費の削減を図っている。
- 3) 業務委託費の節約を図るため、平成 19 年度から本庄地区 RI 実験施設の作業環境測定を自ら行っている。
- 4) 環境安全部門本庄地区は業務委託費の節約を図るため作業環境測定(有機溶媒)を自ら行うことを検討しており、一部建物での検知管による作業環境測定を実施している。今後も実施個所の増加を

図っていく予定である。

ウ その他組織運営に関する事項

(継続して取組んでいる事項)

- 1) エコアクション 21 の認証取得を目指した取り組みに参画している。詳細は、3. (1)ーイー7)、3. (2)ーイー2)を参照。
- 2) センター教員 2 名が「佐賀大学版環境教育」の実行委員として活動している。
- 3) 環境安全管理に関して、機器分析部門鍋島地区准教授1名が危険物取扱者資格取得および特別管理産業廃棄物主任の資格を取得し、鍋島地区のこれら業務を担当している。
- 4) 化学物質管理システム(CRIS)の全学運用に関して、鍋島地区機器分析部門准教授1名が管理主担当となり、環境安全衛生管理室と協力している。
- 5) 機器分析部門鍋島地区准教授1名は鍋島地区の国際規制物資管理者として関連業務を担当している。
- 6) センター教員 1 名が作業環境測定士(放射線)の資格を取得し、本庄地区 RI 施設の作業環境測定を行っている。また鍋島地区においても教務員1名が同資格(有機溶媒)を取得し、作業環境測定に協力している。
- 7) 機器分析部門鍋島地区准教授 1 名は、医学部付属先端医学研究推進支援センター支援部門長を兼任し、医学部の研究推進に協力している。
- 8) その他、大学運営に関わる事項として、センター各教員が、動物実験委員会、遺伝子組換え実験安全委員会、放射性同位元素等安全管理委員会、鍋島キャンパスエネルギー管理協議会、環境安全衛生室会議、医学部安全衛生委員会、エコアクション 21 全学委員会、同医学部委員会委員、医学部エネルギー対策委員会、総合情報基盤センター運用委員会などに参画し、また、様々なワーキンググループに参画するなどして、その専門知識を活かして大学運営に貢献している。

(本年度事項)

- 9) 前項イ-3)に関連して、鍋島地区RI実験施設の作業環境測定を自ら行うため、同施設放射線取扱主任者である機器分析部門鍋島地区教員が資格取得のための講習会を受講した。
- 10) 前項3)に関連して、鍋島地区教務員 1 名が衛生工学衛生管理者を取得し、同資格が要求される附属病院衛生管理者を複数名確保することに協力し、同衛生管理者として選任された。

(5) 施設の領域

ア 施設、設備等に関する事項

(継続して取組んでいる事項)

- 1) 総合分析実験センターとしての「災害対策マニュアル」を全学的なマニュアルと整合性をとりながら作成し、ホームページ上で公開している(<http://www.iac.saga-u.ac.jp/>)。なお、放射線施設に関しては、放射線障害予防規程に「地震等の災害時における措置」について定めている。また、動物実験施設においても動物実験における「緊急時対応手引き」を作成し、ホームページ上で公開している。
- 2) 近年の研究方法の進歩により、動物実験施設の利用形くお態も多様化してきている。利用者からのニーズに対応し、先端的研究を効率よく推進していくため、施設設備の整備・更新等の予算措置を申請している。

(本年度事項)

- 3) 平成24年度概算要求施設整備事業で生物資源開発部門鍋島地区の動物実験施設の改修と設備、飼育器材の一部更新を実施した。
- 4) 平成24年度補正予算により、概算要求設備整備事業で動物実験施設における飼育機器・設備の更新が採択された。
- 5) 平成24年度鍋島地区放射性同位元素利用部門の改修を行い、管理区域を2/3に縮小し、管理区域解除部分を鍋島地区共用スペースとして整備した。また、さらなる改修のため平成25年度の学内予算措置を申請している。

4. 外部評価

本報告書の評価を、運営委員会で承認された学外の委員に依頼した。委嘱した委員を以下に示す(順不同、敬称略)。

- 1) 西本 潤 (准教授) 県立広島大学生命環境学部環境科学科
- 2) 鈴木 克之 (准教授) 近畿大学工学部化学生命工学科
- 3) 佐藤 道比古 (准教授) 山形大学医学部メディカルサイエンス推進研究所生化学解析センター
- 4) 川上 竜巳 (講師) 徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部創生科学研究部門

各委員からは、評価手法、評価基準、評価の妥当性について、おおむね適切および妥当であるとの評価をいただいた。特に、評価の基準について年度比較資料を整備し的確に比較していること、評価の妥当性については各数値に基づいた評価を行っていることなどを評価していただいた。これは、毎年度、各委員からいただいたご指摘、ご意見を基に報告書を改善してきた成果であると思われる。

本年度の報告書について改善すべき点およびご意見、ご指摘をいただいたため、以下に列挙した。

1. 特許(知的財産等)をセンター利用実績に加える
2. 目次の追加
3. センター利用実績の各集計データをグラフにする
4. URL を記載するだけでなく、対応ウェブページを図示する
5. センター利用実績の各集計データの分析による今後の対策
6. 一部の報告事項について修正(具体的な成果の記述を要求)
7. 汎用機器の整備について対応

これらのご指摘、ご助言の中で、報告書の記載方法についてのご指摘に対しては、報告書に加筆、修正する事で対応した。対応ウェブページの図示については、対応ウェブページが複数になることから、各 URL にリンクを付することで、報告書から直接対応ウェブページを閲覧できるように配慮することで対応した。また、センター運営に関するご指摘、ご助言に関しては、センター教職員間で継続的に検討を重ね、次年度以降のセンター運営および自己点検評価報告書に反映させるべく努力するものとした。なお、各委員からのご意見を本報告書の末尾に添付した。各評価委員の方々には、本報告書およびセンター運営に関して、様々な視点から検討を加えていただいたことに対して、この場をかりて感謝の意を表する。

5. 総括

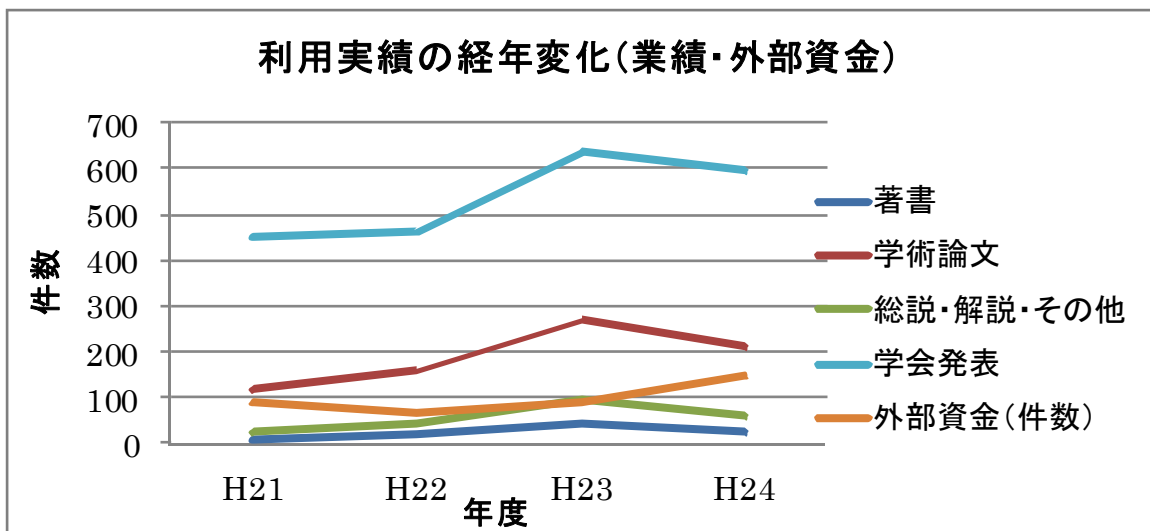
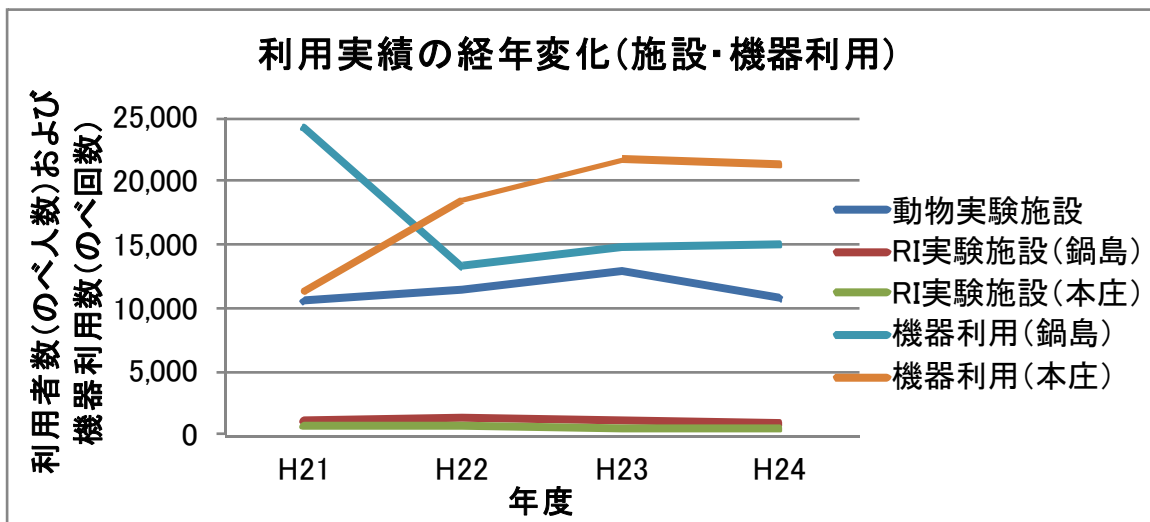
本センターの主たる業務は、本学における教育・研究の支援である。「6. センター利用実績」に示すように、教職員および学生の利用者数および研究業績は過去2年間とそれほど変動はないものの、利用者数とセンター利用によって得られた業績数は依然として多く、さらに、センター利用により得られた外部資金獲得数、金額ともに前年度に比べて大きく増加していることから、本センターが継続的に有効活用され、教育・研究支援組織として貢献していることが分かる。また、本センターに所属する教員はそれぞれ独自の研究テーマを持ち、各教員がそれぞれ研究成果を挙げている。さらに、こうした研究活動や研究交流を通じて、センターの教育研究支援レベルの向上に寄与するとともに、その専門知識・技能・資格あるいは保有設備を活かして講義・実習を担当することにより、教育に直接関わるほか、委員会活動を通じて本学の運営にも貢献している。また、センターでは、学会活動や地域社会の研究推進や環境保全活動などに積極的に参加・協力しており、これらの活動が、地域社会あるいは国内外における本学に対する評価を高めている。

しかしながら、センターの保有機器、あるいは施設の老朽化が顕著であり、教育・研究の支援に支障を来していることは大きな問題となっている。本問題は、概算要求による大型機器の更新および施設の改修によって徐々に改善されているものの、まだ充分とは言えない。従って、施設の改修や新しい機器の導入のための概算要求などを継続して行い、それに加えて、現有の機器の保守・施設の維持管理に関わる学内の予算措置の要求を行っていく必要がある。さらに、機器の保守管理に必要な技術職員が大幅に不足している。佐賀大学における教育・研究支援組織の中核として位置づけられている総合分析実験センターの支援環境整備に、本学全体のご理解とご協力をお願いしたい。

6. センター利用実績

(1) 利用実績の動向

		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	備考
施設利用	動物実験施設	10,559	11,491	12,862	10,855	のべ人数
	RI実験施設(鍋島)	1,064	1,407	1,066	937	のべ人数
	RI実験施設(本庄)	800	750	487	452	のべ人数
機器利用	鍋島	24,289	13,261	14,759	14,981	のべ回数
	本庄	11,418	18,597	21,736	21,327	のべ回数
業績	著書	7	19	42	23	のべ件数
	学術論文	119	161	268	211	のべ件数
	総説・解説・その他	25	45	97	62	のべ件数
	学会発表など	452	462	637	599	のべ件数
外部資金	件数	88	67	89	149	のべ件数
	総額	179,250	140,780	213,555	382,782	千円



(2) 平成24年度総合分析実験センター施設、設備・機器利用者数

施設利用実績		
施設	のべ利用者数	備考
動物実験施設	10,855	登録者数 教職員329、学生204
鍋島地区RI実験施設	937	登録者数 教職員25、学生9
本庄地区RI実験室	452	登録者数 教職員39、学生71
機器利用者数		
機器	のべ利用者数	備考
鍋島地区機器分析部門		
2F製氷機・低温室・恒温室	2461	入室回数
院2F製氷機・低温室	常時開	入室回数
3F製氷機・低温室・恒温室	3296	入室回数
4F製氷機・低温室	1564	入室回数
エレクトロマシショップ	283	入室回数
セミナー室	490	入室回数
低温貯蔵室	1440	入室回数
培養室	1053	入室回数
恒温振盪器 G-25	—	利用回数
高速冷却遠心機 RX-200	13	利用回数(H25 3月廃棄)
オートクレーブ①②③ FSX-500	423	利用回数(3台合計)
乾熱滅菌機①② SG-62	158	利用回数(2台合計)
蒸留水製造装置 GlassStill8	5445	利用容量(リットル)
超純水製造装置 NANOpure Diamond	1267	利用容量(リットル)
全自動アミノ酸分析システム Pico-Tag	3	利用回数
pHメーター F-55S	59	利用回数
自記分光光度計 UV-2100PC	70	利用回数
電子顕微鏡 JEM-1400(100CX)	31	利用回数
電子顕微鏡 JEM-1220	118	利用回数
質量分析 TOF/TOF	67	利用回数
電子顕微鏡 JSM-5200LV	77	入室回数
2229室 光学顕微鏡室	1877	入室回数

BIAcore 1000	0	利用回数
2255室 薄切室	1116	入室回数
電子顕微鏡 JSM-6510	14	利用回数
分離用超遠心機 Optima L-70	0	利用回数
卓上型分離用超遠心機 Optima-TLX	5	利用回数
高速冷却遠心機 Beckman HP-25	12	利用回数
遠心式濃縮機 VC-36R	39	利用回数
凍結乾燥機 FDU-2100	1	利用回数
微量高速遠心機 MCX-150	5	利用回数
微量高速遠心機 MRX-150	8	利用回数
紫外可視分光解析システム②DU-650	5	利用回数
電子天秤R200D	16	利用回数
超音波洗浄機	2	利用回数 (H25 1月使用簿設置)
分光蛍光光度計 RF-5000	0	利用回数
ガスクロマトグラフ GC-2014AF	14	利用回数
ガスマス 島津 QP2010	22	利用回数
LC-MS質量分析装置 島津 LCMS-8030	49	利用回数
島津原子吸分光光度計 AA-7000	0	利用回数
DNAシーケンサ310 with Win(キャピラリー型)	7	利用回数(サンプル数23)
自動ハルスフィールド電気泳動	0	利用回数
二次元電気泳動装置 プロティアンIIスラブセル	0	利用回数
二次元電気泳動装置 Multiphor II	9	利用回数
PCR GeneAmp2400	2	利用回数(H24 7月廃棄)
PCR LightCycler	0	利用回数
ゲル乾燥処理装置 AE-3750	3	利用回数
紫外線架橋機 ストラータリンカー	36	利用回数
トランスイルミネーター	0	利用回数
BIAcore T100	8	利用回数 (H24 1月移設導入)
高速液体クロマトグラフ Prominence	67	利用回数
ベータプレート	14	
オートガンマカウンタ	2	
バイオイメージアナライザー	8	
X線発生装置	34	

鍋島地区RI部門		
ガンマセル40	156	利用回数
液体シンチレーションカウンタ	6	利用回数
ベータプレート	14	利用回数
オートガンマカウンタ	2	利用回数
バイオイメージアナライザー	8	利用回数
X線照射装置	34	利用回数
本庄地区RI部門		
液体シンチレーションカウンタ	29	利用回数 (利用時間: 61 h)
バイオイメージングアナライザ	2	利用回数 (利用時間: 8 h)
焼却炉	0	利用回数
分光光度計	301	利用回数 (利用時間: 1179 h)
ガンマカウンタ	0	利用回数
空気捕集装置	36	利用回数
H/Cサンプラー	36	利用回数
高温振とう器	9	利用回数 (利用時間: 102 h)
イオン交換水製造機	39	利用回数
本庄地区機器分析部門・生物資源開発部門		
紫外可視近赤外分光光度計	308	399h
電子スピン共鳴装置	66	77h
顕微付フーリエ変換赤外分光光度計	155	167h
粉末X線回折装置	216	238h
ガスクロマトグラフ質量分析計	835	
超伝導高分解能フーリエ変換核磁気共鳴装置	8,730	2,694h
円偏光二色性分散計	118	223h
蛍光光度計	19	26h
エネルギー分散型蛍光X線分析装置	66	136h
ゼータ電位・粒径測定システム	348	616h
フーリエ変換核磁気共鳴装置 (Agilent NMR 400)	445	520h
CCD単結晶自動X線構造解析装置	36	
水平型X線構造解析装置	602	1,075h
透過電子顕微鏡	88	225h
パッチクランプイオンチャンネル計	26	103h

ガスクロマトグラフ質量分析計 (mate II)	30	89h
蛍光寿命測定装置	20	59h
発光量子収率測定装置	30	68h
キャピラリー電気泳動装置	15	58h
DSC熱量計	6	18h
振動式デジタル密度音速計	32	174h
原子間力顕微鏡	46	307h
DNAシーケンサー (Type3130)	9,090	サンプル

(3) 平成24年度に総合分析実験センターを利用して得られた業績及び外部資金(リスト中の業績には複数の部門にまたがる業績があるため、重複業績は削除して掲載した)

著書		
著者名	題目	書名
Izuhara K, Shiraishi H, Ohta S, Arima K, Suzuki S.	The roles of Th2-type cytokines in the pathogenesis of atopic dermatitis.	Atopic dermatitis- Disease etiology and clinical management. 39-50
Izuhara K, Masuoka M, Shiraishi H, Ohta S, Suzuki S, Arima K.	Periostin, an extracellular matrix protein, acts as a master switch for the onset of inflammation in atopic dermatitis.	Translational Science: from basic to clinical immunology and allergy. 211-214
出原賢治、有馬和彦、鈴木章一、白石裕士、太田昭一郎	インターロイキン 13) IL-13.	サイトカインのすべて(完全改訂版)(臨床免疫・アレルギー科第57巻特別増刊号)
有馬和彦、渡部則彦	増殖因子 6) TSLP.	サイトカインのすべて(完全改訂版)(臨床免疫・アレルギー科第57巻特別増刊号)
吉田 裕樹, 中西 憲司	サイトカインとケモカイン	免疫学コア講義, 3 ed.
吉田 裕樹, 松崎 吾朗	宿主と病原体の攻防	免疫学コア講義, 3 ed.
原 博満	T細胞抗原受容体とシグナル伝達	免疫学コア講義, 3 ed.
Jiang C-Y, Fujita T, Liu T, Mizuta K, Yue H-Y, Kumamoto E	Oxytocin increases the excitability of spinal superficial dorsal horn neurons in adult male rats.	Peptide Science 2011.
Kumamoto E, Mizuta K, Fujita T	Peripheral nervous system in the frog as a tool to examine the regulation of the transmission of neuronal information.	Murray JL: Frogs: Biology, Ecology and Uses.
宮本比呂志, 菖蒲池健夫	グラム陽性桿菌	レビンソン 微生物学・免疫学 [原書 11 版]
宮本比呂志, 菖蒲池健夫	呼吸器関連のグラム陰性桿菌	レビンソン 微生物学・免疫学 [原書 11 版]
宮本比呂志, 菖蒲池健夫	動物が感染源となるグラム陰性桿菌	レビンソン 微生物学・免疫学 [原書 11 版]
Koarada S	Autoantibody-Producing B cells and B cell Therapy in Systemic Lupus Erythematosus-Possible New Targets of Novel Subsets of RP105-Negative B Cells	Lupus: Symptoms, Treatment and Potential Complications
Yukitake M, Hideo H	Human T-Lymphotropic Virus.	Neuroviral Infections.
一戸辰夫, 木村晋也	IMiDs による免疫賦活化作用	医学の歩み「多発性骨髄腫」第5土曜特集号 242
木村晋也	VI治療 1.薬物療法c)ビスホスホネートによる骨転移の治療(3)免疫細胞増強効果	骨転移のバイオロジーとマネジメント
吉村麻里子, 木村晋也	CML治療に対する新規治療法の開発状況	EBM血液患者の治療 2013-2014, II 白血病 D. 慢性骨髄性白血病(CML)
江本憲昭, 野出孝一	時計遺伝子	動脈硬化症の新しい診断・治療標的
Kubota Y, Kimura S	Regulation of Hematopoietic Stem Cell Fate: Self-Renewal, Quiescence and Survival.	Advances in Hematopoietic Stem Cell Research,
柳田晃良, 永尾晃治	油脂と健康	人と食と自然シリーズ 3・脂肪の功罪と健康.建帛社.京都健康フォーラム監修・河田照雄編, 29 - 47
北垣浩志(分担執筆)	ミトコンドリア輸送をターゲットとした低ピルビン酸清酒酵母の育種と代謝制御	清酒酵母・麹研究会

金久保光央、梅木辰也	超臨界流体中における金属錯体の挙動	錯体化学会選書 8「錯体の溶液化学学」(田端正明・横山晴彦編著) 第7章「特殊環境下の溶液錯体化学」1節, 249 - 257
牧野貴至、梅木辰也、金久保光央	分離・精製プロセスへの応用	最先端材料システムワンポイントシリーズ 2「イオン液体」第2章, 23 - 37

原著論文		
著者名	題目	雑誌名, 巻, 号, 頁
Tanaka Y, Hayashi M, Kubota Y, Nagai H, Sheng G, Nishikawa S, Samokhvalov IM	Early ontogenic origin of the hematopoietic stem cell lineage	Proc. Natl. Acad. Sci. U S A. 109(12):4515-20
*Hasegawa E, Oshima Y, Takeda A, Saeki K, Yoshida H, Sonoda KH, Ishibashi T	IL-27 inhibits pathophysiological intraocular neovascularization due to laser burn.	J Leukoc Biol 91:267-273.
*Klawonn F, Crull K, Kukita A, Pessler F	Median Polish with Power Transformations as an Alternative for the Analysis of Contingency Tables with Patient Data	Lecture Notes in Computer Science (including subseries Lecture Notes in Artificial Intelligence and Lecture Notes in Bioinformatics) 7231 LNCS, pp. 25-35
Kai K, Yakabe T, Kohya N, Miyoshi A, Iwane S, Mizuta T, Miyazaki K, Tokunaga O:	A case of unclassified multicystic biliary tumor with biliary adenofibroma features	Pathol Int 62:506-510,
Kai K, Ide T, Egashira R, Koga Y, Wakiyama K, Kitahara K, Irie H, Noshiro H, Tokunaga O	A unique case of gallbladder cancer arising in the neck side of segmental adenomyomatosis that mimicked hepatocellular carcinoma on contrast CT	Oncol. Gastroenterol. Hepatol. Reports 2012; 1:33-36.
Higashimoto K, Nakabayashi K, Yatsuki H, Yoshinaga H, Jozaki K, Okada J, Watanabe Y, Aoki A, Shiozaki A, Saito S, Koide K, Mukai T, Hata K, Soejima H.	Aberrant methylation of H19-DMR acquired after implantation was dissimilar in soma versus placenta of patients with Beckwith-Wiedemann syndrome.	Am. J. Med. Genet. 158A:1670-1675
Uemura S, Fujita T, Sakaguchi Y, Kumamoto E	Actions of a novel water-soluble benzodiazepine-receptor agonist JM-1232(-) on synaptic transmission in adult rat spinal substantia gelatinosa neurons.	Biochem. Biophys. Res. Commun.
*Shimazu T, Sasazuki S, Wakai K, Tamakoshi A, Tsuji I, Sugawara Y, Matsuo K, Nagata C, Mizoue T, Tanaka K, Inoue M, Tsugane S	Alcohol drinking and primary liver cancer: a pooled analysis of four Japanese cohort studies.	Int. J. Cancer 130: 2645-2653
Kai K, Miyoshi A, Kitahara K, Masuda M, Takase Y, Miyazaki K, Noshiro H, Tokunaga O.	Analysis of Extrahepatic Multiple Primary Malignancies in Patients with Hepatocellular Carcinoma according to Viral Infection Status.	Int J Hepatol. 2012; 2012:495950.
*Chan Geun Park, Byoung Jun Kim, Hee-Youn Kim, Yeo-Jun Yun, Kwan Soo Ko, Hiroshi Miyamoto, Bum-Joon Kim, Yoon-Hoh Kook	Analysis of Population Structure among Korean and Japanese Legionella pneumophila Isolates Using hsp60 Sequences.	Microbiol Immunol VOL56, 572-578
Maita S, Yuasa T, Tsuchiya N, Mitobe Y, Horikawa S, Hatake K, Fukui I, Kimura S, Maekawa T, Habuchi T	Antitumor effect of sunitinib against skeletal metastatic renal cell carcinoma through inhibition of osteoclast function.	Int. J. Cancer

Miyazaki H, Uozaki H, Tojo A, Hirashima S, Inaga S, Sakuma K, Morishita Y, Fukayama M.	Application of low-vacuum scanning electron microscopy for renal biopsy specimens.	Pathol. Res. Pract. 208:503-9
*Matsuo, K, Mizoue, T, Tanaka, K, Tsuji, I, Sugawara, Y, Sasazuki, S, Nagata, C, Tamakoshi, A, Wakai, K, Inoue, M, Tsugane, S	Association between body mass index and the colorectal cancer risk in Japan: pooled analysis of population-based cohort studies in Japan.	Ann. Oncol. 23: 479-490
*Nagata C, Mizoue T, Tanaka K, Tsuji I, Tamakoshi A, Wakai K, Matsuo K, Ito H, Sasazuki S, Inoue M, Tsugane S	Breastfeeding and breast cancer risk: an evaluation based on a systematic review of epidemiologic evidence among the Japanese population.	Jpn. J. Clin. Oncol. 42: 124-130
Sohma R, Inoue T, Abe S, Taguchi I, Kikuchi M, Toyoda S, Arikawa T, Hikichi Y, Sanada S, Asanuma H, Kitakaze M, Node K.	Cardioprotective effects of low-dose combination therapy with a statin and an angiotensin receptor blocker in a rat myocardial infarction model.	J. Cardiol.
Rumi Sato, Hiroshi Miyamoto, Yousuke Aoki, Shinichiro Hayashi, Toshihiko Mizuta, Nanae Tsuruoka, Ryuichi Iwakiri, Kazuma Fujimoto	Characteristics of Bacterial Species in Positive Blood Cultures among Hospitalized Patients in Three Wards in the Department of Internal Medicine, Gastroenterology, Hepatology and Respiriology: Retrospective Chart Review during January 1999 to December 2008.	Internal Medicine VOL.51, 1159-1166
*Matsubara R., Kukita T., Ichig Y., Takigawa I., Qu P-F., Funakubo N., Miyamoto H., Nonaka K., Kukita A.	Characterization and identification of subpopulations of mononuclear preosteoclasts induced by TNF- α in combination with TGF- β in rats.	PLoS One e47930. doi:10.1371/journal.pone.0047930, 2012
*Hiura H, Okae H, Miyauchi N, Sato F, Sato A, Van De Pette M, John RM, Kagami M, Nakai K, Soejima H, Ogata T, Arima T.	Characterization of DNA methylation errors in patients with imprinting disorders conceived by assisted reproduction technologies.	Hum. Reprod. 27(8):2541-2548
*Oze I, Matsuo K, Ito H, Wakai K, Nagata C, Mizoue T, Tanaka K, Tsuji I, Tamakoshi A, Sasazuki S, Inoue M, Tsugane S	Cigarette smoking and esophageal cancer risk: an evaluation based on a systematic review of epidemiologic evidence among the Japanese population.	Jpn. J. Clin. Oncol. 42: 63-73
*Ohta N, Kurakami K, Ishida A, Furukawa T, Saito F, Kakehara S, Izuhara K.	Clinical and pathological characteristics of IgG4-related sclerosing sialadenitis.	Laryngoscope, 122: 572-577
杉町光彦、福富由美子、宇木望、草場耕二、永沢善三	<i>Clostridium difficile</i> toxin A/B のイムノクロマトグラフィー法および酵素免疫測定法による検出精度の比較検討	Sysmex Journal Web Vol.13 No.1
Naoto Sano, Yoshio Yamashita, Kazumasa Fukuda, Hatsumi Taniguchi, Masaaki Goto, and Hiroshi Miyamoto	Comprehensive analysis of bacterial flora in postoperative maxillary cyst fluid by 16S rRNA gene and culture methods.	ISRN Dentistry (On-line Journal Article ID 840483) VOL.2012, 1-11
* Adachi H, Takahashi I, Higashimoto K, Tsuchida S, Noguchi A, Tamura H, Arai H, Ito T, Masue M, Nishibori H, Takahashi T, Soejima H.	Congenital hyperinsulinism in an infant with paternal uniparental disomy on chromosome 11p15: Few clinical features suggestive of Beckwith-Wiedemann syndrome.	Endocr J. [Advance Publication] Released: 2012/11/30
* Ichikawa A, Kuba K, Morita M, Chida S, Tezuka H, Hara H, Sasaki T, Ohteki T, Ranieri VM, Dos Santos CC, Kawaoka Y, Akira S, Luster AD, Lu B, Penninger JM, Uhlig S, Slutsky AS, Imai Y	CXCL10-CXCR3 Enhances the Development of Neutrophil-mediated Fulminant Lung Injury of Viral and Nonviral Origin.	Am J Respir Crit Care Med. 187:65-77

Tsukamoto H, Chernogorova P, Ayata K, Gerlach UV, Rughani A, Ritchey JW, Ganesan J, Follo M, Zeiser R, Thompson LF, Idzko M	Deficiency of CD73/ecto-5'-nucleotidase in mice enhances acute graft-versus-host disease.	Blood. 119(19): 4554-4564
○Yakushiji Y, Noguchi T, Hara M, Nishihara M, Eriguchi M, Nanri Y, Nishiyama M, Hara T	Distributional impact on brain microbleeds on cognitive function in adults without neurological disorder.	Stroke 43: 1800-1805
甲斐敬太 山崎文朗 田淵正延 増田正憲 永石信二 尾形正也 武藤文博 徳永藏	E-cadherin 発現減弱を伴った乳癌の細胞像と組織像.	日本臨床細胞学会雑誌 51:33-37, .
Hara M, Higaki Y, Taguchi N, Shinchi K, Morita E, Naito M, Hamajima N, Takashima N, Suzuki S, Nakamura A, Ohnaka, Uemura H, Nishida H, Hosono S, Mikami H, Kubo M, Tanaka H	Effect of the PPARG2 Pro12Ala Polymorphism and Clinical Risk Factors for Diabetes Mellitus on HbA1c in the Japanese General Population.	J. Epidemiol. 22: 523-531
Kito Y, Teramoto N	Effects of Hange-shashin-to (TJ-14) and Keishi-ka-shakuyaku-to (TJ-60) on contractile activity of circular smooth muscle of the rat distal colon.	Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol. 303: G1059-G1066
○Masaki Nagata, Osamu Ueda, Takeo Shobuike, Tetsuro Muratani, Yosuke Aoki, Hiroshi Miyamoto	Emergence of optochin resistance among Streptococcus pneumoniae in Japan.	Open Journal of Medical Microbiology VOL.2, 8-15
Hirase T, Node K.	Endothelial dysfunction as a cellular mechanism for vascular failure.	Am. J. Physiol. Heart Circ. Physiol.
*Ishida A, Ohta N, Suzuki Y, Kakehata S, Okubo K, Ikeda H, Shiraishi H, Izuhara K.	Expression of pendrin and periostin in allergic rhinitis and chronic rhinosinusitis.	Allergol Int 61: 589-595
* Osborn O, Oh DY, McNelis J, Sanchez-Alavez M, Talukdar S, Lu M, Li P, Thiede L, Morinaga H, Kim JJ, Heinrichsdorff J, Nalbandian S, Ofrecio JM, Scadeng M, Schenk S, Hadcock J, Bartfai T, Olefsky JM	G protein-coupled receptor 21 deletion improves insulin sensitivity in diet-induced obese mice.	J Clin Invest. 122: 2444-2453
島津 倫太郎, 倉富 勇一郎, 青木 茂久, 井之口 昭	GERD 研究の最先端 基礎から臨床へ 胃酸逆流と喉頭肉芽腫 動物モデルを用いた検討	日本気管食道科学会会報 63(2):104-108
* Xu J, Morinaga H, Oh D, Li P, Chen A, Talukdar S, Lazarowski E, Olefsky JM, Kim JJ	GPR105 ablation prevents inflammation and improves insulin sensitivity in mice with diet-induced obesity.	J Immunol. 189:1992-1999
*Sasazuki S, Tamakoshi A, Matsuo K, Ito H, Wakai K, Nagata C, Mizoue T, Tanaka K, Tsuji I, Inoue M, Tsugane S	Green tea consumption and gastric cancer risk: an evaluation based on a systematic review of epidemiologic evidence among the Japanese population.	Jpn. J. Clin. Oncol. 42: 335-346
Kai K, Nakamura J, Ide T, Masuda M, Kitahara K, Miyoshi A, Noshiro H, Tokunaga O	Hepatoid carcinoma of the pancreas penetrating into the gastric cavity: A case report and literature review	Pathol Int 62:485-490,
*Furuhata K, Edagawa A, Miyamoto H, Morimoto Y, Fukuyama M.	Identification of Legionella rubrilucens isolated from a hot spring for foot-soaking in Niigata, Japan.	Biocontrol Sci., 17(2), 101-105
*Inoue M, Nagata C, Tsuji I, Sugawara Y, Wakai K, Tamakoshi A, Matsuo K, Mizoue T, Tanaka K, Sasazuki S, Tsugane S	Impact of alcohol intake on total mortality and mortality from major causes in Japanese: a pooled analysis of 6 large-scale cohort studies in Japan.	J. Epidemiol. Community Health 66: 448-456

Kukita A., Ichigi Y., Takigawa I., Watanabe T., Kukita T., Miyamoto H.	Infection of RANKL-primed RAW-D macrophages with Porphyromonas gingivalis promotes osteoclastogenesis in a TNF- α -independent manner.	PloS One 7 (10): e47930. doi:10.1371/journal.pone.0047930, 2012
Mizuta K, Fujita T, Kumamoto E	Inhibition by morphine and its analogs of action potentials in adult rat dorsal root ganglion neurons.	J. Neurosci. Res.
Hiraki M, Kitajima Y, Kai K, Nakamura J, Hashiguchi K, Noshiro H, Miyazaki K	Knockdown of hypoxia-inducible factor-1 α accelerates peritoneal dissemination via the upregulation of MMP-1 expression in gastric cancer cell lines	Exp. Ther. Med.
*Kano H, Kaneita Y, Hara M, Harada S, Gon Y, Kanamaru H, Ohida T	Longitudinal study of parental smoking habits and development of asthma in early childhood.	Prev. Med. 54: 94-96
Ito R, Takahashi M, Ihara H, Tsukamoto H, Fujii J, Ikeda Y	Measurement of peroxiredoxin-4 in rat tissues and implication of its serum level as a potential marker for hepatic disease.	Mol Med Report. 6(2): 379-384
川崎 弘貴、水田 恒太郎、藤田 亜美、熊本 栄一	Mentholとその類似物質による蛙坐骨神経の複合活動電位の抑制	Pain Res.
Hou L, Masuda M, Akashi M, Kido S, Takase Y, Kai K, Tokunaga O	Metachronous aortic aneurysms due to sarcoidosis.	Pathol Int. 62:335-338,
*Black W, Chen Y, Matsumoto A, Thompson DC, Lassen N, Pappa A, Vasilou V	Molecular mechanisms of ALDH3A1-mediated cellular protection against 4-hydroxy-2-nonenal.	Free Radic Biol Med. 52: 1937-44
Tsukamoto H, Fukudome K, Takao S, Tsuneyoshi N, Ihara H, Ikeda Y, Kimoto M.	Multiple potential regulatory sites of TLR4 activation induced by LPS as revealed by novel inhibitory human TLR4 mAbs.	Int Immunol. 24(8): 495-506
* Suzuki T, Shioya T, Murayama T, Sugihara M, Odagiri F, Nakazato Y, Nishizawa H, Chugun A, Sakurai T, Daida H, Morimoto S, Kurebayashi N.	Multistep ion channel remodeling and lethal arrhythmia precede heart failure in a mouse model of inherited dilated cardiomyopathy.	PLoS One 7(4) e35353
Ishikawa S, Hirata A, Nakabayashi J, Iwakiri R, Okinami S	Neuro-protective effect of small interfering RNA targeted to caspase-3 on rat retinal ganglion cell loss induced by ischemia and reperfusion injury.	Curr. Eye Res.
*Masaki, T., Ohkusu K., Ezaki T., Miyamoto H.	Nocardia elegans infection involving purulent arthritis in humans.	Journal of Infection and Chemotherapy.VOL.18, NO.3, 386-389
*Li Y-J., Kukita A., Watanabe T., Takano., Qu P-F., Sanematsu K., Ninomiya Y., Kukita T.	Nordihydroguaiaretic acid inhibition of NFATc1 suppresses osteoclastogenesis and arthritis bone destruction in rats.	Lab. Invest. 2012 Dec; 92(12): 1777-87
*Makiuchi T, Mi-Ichi F, Nakada-Tsukui K, Nozaki T.	Novel TPR-containing subunit of TOM complex functions as cytosolic receptor for Entamoeba mitosomal transport.	Sci Rep.3: 1129.
Tanaka K Tsuji I, Tamakoshi A, Matsuo K, Ito H, Wakai K, Nagata C, Mizoue T, Sasazuki S, Inoue M, Tsugane S	Obesity and liver cancer risk: an evaluation based on a systematic review of epidemiologic evidence among the Japanese population.	Jpn. J. Clin. Oncol. 42: 212-221
Aminzadeh MA, Sato T, Vaziri ND	Participation of endoplasmic reticulum stress in the pathogenesis of spontaneous glomerulosclerosis-Role of intra-renal angiotensin system.	Transl. Res.

* Kuramoto K, Okamura T, Yamaguchi T, Nakamura TY, Wakabayashi S, Morinaga H, Nomura M, Yanase T, Otsu K, Usuda N, Matsumura S, Inoue K, Fushiki T, Kojima Y, Hashimoto T, Sakai F, Hirose F, Osumi T.	Perilipin 5, a lipid droplet-binding protein, protects heart from oxidative burden by sequestering fatty acid from excessive oxidation.	J Biol Chem. 287: 23852-23863
Shiraishi H, Masuoka M, Ohta S, Suzuki S, Arima K, Taniguchi K, Aoki S, Toda S, Yoshimoto T, Inagaki N, Conway SJ, Narisawa Y, Izuhara K.	Periostin contributes to the pathogenesis of atopic dermatitis by inducing TSLP production from keratinocytes.	Allergol Int , 61(4): 563-572
Masuoka M, Shiraishi H, Ohta S, Arima K, Aoki S, Toda S, Inagaki N, Kurihara Y, Hayashida S, Takeuchi S, Koike K, Ono J, Noshiro H, Furue M, Conway SJ, Narisawa Y, Izuhara K	Periostin promotes chronic allergic inflammation in response to Th2 cytokines.	J Clin Invest, 122 (7) : 2590-2600
Masuoka M, Shiraishi H, Ohta S, Arima K, Aoki S, Toda S, Inagaki N, Kurihara Y, Hayashida S, Takeuchi S, Koike K, Ono J, Noshiro H, Furue M, Conway SJ, Narisawa Y, Izuhara K	Periostin promotes chronic allergic inflammation in response to Th2 cytokines.	J. Clin. Invest.
Ontsuka K, Kotobuki Y, Shiraishi H, Serada S, Ohta S, Tanemura A, Yang L, Fujimoto M, Arima K, Suzuki S, Murota H, Toda S, Kudo A, Conway SJ, Narisawa Y, Katayama I, Izuhara K, Naka T.	Periostin, a matricellular protein, accelerates cutaneous wound repair by activating dermal fibroblasts.	Exp Dermatol, 21 : 331-336
Uchida M, Shiraishi H, Ohta S, Arima K, Taniguchi K, Suzuki S, Okamoto M, Ahlfeld SK, Ohshima K, Kato S, Toda S, Sagara H, Aizawa H, Hoshino T, Conway SJ, Hayashi S, Izuhara K.	Periostin, a matricellular protein, plays a role in the induction of chemokines in pulmonary fibrosis.	Am J Respir Cell Mol Biol, 46 (5):677-686,
Koarada S, Tada Y, Suematsu R, Siejima S, Inoue H, Ohta H, and Nagasawa K	Phenotyping of P105-Negative B Cell Subsets in Patients with Systemic Lupus Erythematosus	Clin Dev Immunol 2012:198206
Marchini-Alves CM, Nicoletti LM, Mazucato VM, de Souza LB, Hitomi T, Alves Cde P, Jamur MC, Oliver C	Phospholipase D2: a pivotal player modulating RBL-2H3 mast cell structure.	J. Histochem. Cytochem.
*Pham NM, Mizoue T, Tanaka K, Tsuji I, Tamakoshi A, Matsuo K, Ito H, Wakai K, Nagata C, Sasazuki S, Inoue M, Tsugane S	Physical activity and colorectal cancer risk: an evaluation based on a systematic review of epidemiologic evidence among the Japanese population.	Jpn. J. Clin. Oncol. 42: 2-13
Inoue M, Fujita T, Goto M and Kumamoto E	Presynaptic enhancement by eugenol of spontaneous excitatory transmission in rat spinal substantia gelatinosa neurons is mediated by transient receptor potential A1 channels	Neuroscience
*Okada R, Wakai K, Naito M, Morita E, Kawai S, Hamajima N, Hara M, Takashima N, Suzuki S, Takezaki T, Ohnaka K, Arisawa K, Hirohata H, Matsuo K, Mikami H, Kubo M, Tanaka H	Pro-/anti-inflammatory cytokine gene polymorphisms and chronic kidney disease: a cross-sectional study.	BMC Nephrol. 13: 2

*Jeon SG, Kayama H, Ueda Y, Takahashi T, Asahara T, Tsuji H, Tsuji NM, Kiyono H, Ma JS, Kusu T, Okumura R, Hara H, Yoshida H, Yamamoto M, Nomoto K, Takeda K	Probiotic <i>Bifidobacterium breve</i> Induces IL-10-Producing Tr1 Cells in the Colon.	PLoS Pathog 8:e1002714.
Oyama JI, Maeda T, Sasaki M, Higuchi Y, Node K, Makino N.	Repetitive hyperthermia attenuates progression of left ventricular hypertrophy and increases telomerase activity in hypertensive rats.	Am. J. Physiol. Heart Circ. Physiol.
Teramoto N, Zhu HL, Yotsu-Yamashita M, Inai T, Cunnane TC	Resurgent-like currents in mouse vas deferens myocytes are mediated by NaV1.6 voltage-gated sodium channels.	Pflügers Archiv Eur J Physiol. 464: 493-502
Teramoto N, Zhu HL, Yotsu-Yamashita M, Inai T, Cunnane TC	Resurgent-like currents in mouse vas deferens myocytes are mediated by NaV1.6 voltage-gated sodium channels.	Pflugers Arch.
Eguchi K, Manabe I, Oishi-Tanaka Y, Ohsugi M, Kono N, Ogata F, Yagi N, Ohto U, Kimoto M, Miyake K, Tobe K, Arai H, Kadowaki T, Nagai R.	Saturated fatty acid and TLR signaling link β cell dysfunction and islet inflammation.	Cell Metab. 15(4): 518-33
*Yamaguchi Y, Ono J, Masuoka M, Ohta S, Izuhara K, Ikezawa Z, Aihara M, Takahashi K	Serum periostin levels are correlated with progressive skin sclerosis in patients with systemic sclerosis.	Br J Dermatol, in press
Matsumoto A, Matsumoto A, Ichiba M, Payton NM, Oishi H, Hara M	Simultaneous measurement of urinary total nicotine and cotinine as biomarkers of active and passive smoking among Japanese individuals.	Environ Health Prev Med. Epub ahead of print
*Tsuji K., Negishi-Koga T., Sumiya E., Kukita A., Kato S., Maeda T., Pandolfi P-P. Moriyama K., Takayanagi H.	Stage-specific functions of LRF in the transcriptional control of osteoclast development.	Proc Natl Acad Sci U S A. 109(7): 2561-6.
Ozaki N., Suzuki S, Ishida M, Harada Y, Tanaka K, Sato Y, Kono T, Kubo M, Kitamura D, Encinas J, Hara H, Yoshida H	Syk-dependent signaling pathways in neutrophils and macrophages are indispensable in the pathogenesis of anti-collagen antibody-induced arthritis.	Int Immunol 24:539-550.
*Tsutumi E, Murata Y, Souma T, Seki N, Nishi A, Horikawa E	The effects of sciatic nerve injury on collagen synthesis in rat skeletal muscle	West Kyushu J. Rehabilitation Sci.
Shiraki A, Oyama J, Komoda H, Asaka M, Komatsu A, Sakuma M, Kodama K, Sakamoto Y, Kotooka N, Hirase T, Node K.	The glucagon-like peptide 1 analog liraglutide reduces TNF- α -induced oxidative stress and inflammation in endothelial cells.	Atherosclerosis. 221(2):375-82
Katagiri N, Shobuie T, Chang B, Kukita A, Miyamoto H.	The human apoptosis inhibitor NAIP induces pyroptosis in macrophages infected with <i>Legionella pneumophila</i>	Microbes and Infection 14(13): 1123-32.
*Nishizawa H, Matsubara A, Nakagawa T, Ohta N, Izuhara K, Shirasaki T, Abe T, Takeda I, Shinkawa H.	The role of periostin in eosinophilic otitis media.	Acta Oto-laryngol, 132(8) : 838-844
Xia J, Matsushashi S, Hamajima H, Iwane S, Takahashi H, Eguchi Y, Mizuta T, Fujimoto K, Kuroda S, Ozaki I.	The role of PKC isoforms in the inhibition of NF- κ B activation by vitamin K2 in human hepatocellular carcinoma cells.	J Nutr Biochem. 23: 1668-1675, 2012
Nagai Y, Yanagibashi T, Watanabe Y, Ikutani M, Kariyone A, Ohta S, Hirai Y, Kimoto M, Miyake K, Takatsu K.	The RP105/MD-1 complex is indispensable for TLR4/MD-2-dependent proliferation and IgM-secreting plasma cell differentiation of marginal zone B cells.	Int Immunol. 24(6): 389-400

○Ohta S, Shibata R, Nakao Y, Azuma Y, Taniguchi K, Arima K, Suzuki S, Shiraishi H, Iwasaka T, Izuhara K.	The usefulness of combined measurements of squamous cell carcinoma antigens 1 and 2 in diagnosing atopic dermatitis.	Ann Clin Biochem, 49: 277-284,
*St-Amand J, Yoshioka M, Tanaka K, Nishida Y	Transcriptome-wide identification of preferentially expressed genes in the hypothalamus and pituitary gland.	Front. Endocrin. 2: 111
Hirata A, Okinami S	Viability of topical endoscopic imaging system for vitreous surgery in rabbit eyes.	Ophthalmic Surg. Lasers Imaging
山本忍, 岡部美希, 中村亜衣, 海福雄一郎, 竹内靖人, 米山玲児, 川澄八重子, 若山雅彦, 中村富也	有機溶剤測定における日常業務に適した固体捕集法ーガスクロマトグラフ分析法についての検討ー	作業環境 33(6): 80-91
楊 柳, 藤田 亜美, 蔣 昌宇, 水田 恒太郎, 井上 将成, 川崎 弘貴, 徐 年香, 松下 晋大, 柳 涛, 熊本 栄一	ラット脊髄膠様質ニューロンの自発性興奮性シナプス伝達に及ぼすピペリンとオルバニルの作用の差.	脊髄機能診断学
松下晋大, 藤田亜美, 蔣 昌宇, 上村裕平, 八坂敏一, 小杉寿文, 熊本栄一	蛙坐骨神経の複合活動電位に及ぼす漢方薬の作用	日本臨床麻酔学会誌
森田茂樹, 野口 亮, 野出孝一, 中山功一	再生医療による人工臓器研究の最近の進歩: scaffold free の心臓・血管組織の構築	人工臓器
Kawakami Y, Ohkuma M, Kusaba K, Nagasawa Z, Chifu S, Oe T, Katagiri N, Shobuie T, Miyamoto H.	磁性ビーズを用いた新たな抗酸菌集菌法の基礎的検討	臨床と微生物 39(4): 97-102
○宇木 望, 永沢 善三, 草場 耕二, 福富 由美子, 末岡 榮三朗, 宮本 比呂志	質量分析装置 MALDI バイオタイパーを使用した各種 ATCC 菌株による同定精度の評価および血液培養ボトルからの直接迅速同定法の有用性に関する検討	臨床と微生物 39 巻 2 号 185-195
大隈雅紀, 池田勝義, 大林光念, 安東由喜雄, 金民姫, 廣瀬宣之, 永沢善三, 宮本比呂志	新しい抗酸菌集菌用試薬の検討ー磁性ビーズを用いた抗酸菌集菌法 (TB-beads 法) ー	臨床微生物迅速診断研究会誌. Vol. 23 (1), p1-9, 2012
大隈雅紀, 池田勝義, 大林光念, 安藤由喜雄, 郡山豊泰, 金民姫, 廣瀬宣之, 永沢善三, 宮本比呂志	新しい抗酸菌集菌用試薬の検討ー磁性ビーズを用いた抗酸菌集菌法	JARMAM 23 巻 1 号 1-9
蔣 昌宇, 藤田 亜美, 楊 柳, 水田 恒太郎, 井上 将成, 川崎 弘貴, 徐 年香, 松下 晋大, 柳 涛, 熊本 栄一	成熟ラット脊髄膠様質ニューロンに及ぼすオキシトシンの作用.	脊髄機能診断学
*吉畑勝則, 枝川亜希子, 福山正文	足湯からのレジオネラ属菌の分離状況	日本公衆衛生学会誌, 59(5), 333-338
山本 忍, 市場正良, 天野有康, 中村 正	尿中 N-メチルホルムアミド及び尿中 N-メチルアセトアミドのクロスチェック集計結果について	労働衛生管理 23:50-57
K. Nagao, T. Jinnouchi, S. Kai, T. Yanagita	Effect of dietary resveratrol on the metabolic profile of nutrients in obese OLETF rats.	Lipids Health Dis. VOL.12, NO.8, 1
N. Inoue, M. Inafuku, B. Shirouchi, K. Nagao, T. Yanagita	Effect of Mukitake mushroom (Panellus serotinus) on the pathogenesis of lipid abnormalities in obese, diabetic ob/ob mice.	Lipids Health Dis. VOL.12, NO.12, 1

M. Hirata, T. Tsuge, L. Jayakody, Y. Urano, K. Takahashi, K. Sawada, S. Inaba, K. Nagao, H. Kitagaki:	Structural Determination of Glucosylceramides in the Distillation Remnants of Shochu, the Japanese Traditional Liquor, and Its Production by <i>Aspergillus kawachii</i> .	J. Agric. Food Chem. VOL.60, NO.46, 11473
GV. Senanayake, N. Fukuda, S. Nshizono, YM. Wang, K. Nagao, T. Yanagita, M. Iwamoto, H. Ohta	Mechanisms underlying the decreased hepatic triacylglycerol and cholesterol by dietary bitter melon extract in the rat.	Lipids VOL.47, NO.5, 495
Y. Tsubokura, H. Matsumura, M. Xu, B. Liu, H. Nakashima, T. Anai, F. Kong, X. Yuan, H. Kanamori, Y. Katayose, R. Takahashi, K. Harada and J. Abe	Genetic Variation in Soybean at the Maturity Locus E4 Is Involved in Adaptation to Long Days at High Latitudes	Agronomy VOL.3, 117 – 134
Zhengjun Xia, Satoshi Watanabe, Tetsuya Yamada, Yasutaka Tsubokura, Hiroko Nakashima, Hong Zhai, Toyoaki Anai, Shusei Sato, Toshimasa Yamazaki, Shixiang Lu, Hongyan Wu, Satoshi Tabata, Kyuya Harada	Positional cloning and characterization reveal the molecular basis for soybean maturity locus E1, which regulates photoperiodic flowering	Proc. Natl. Acad. Sci. USA VOL.109, NO.32, E2155 – E2164
Hirano K., M. Watanabe, K. Seki, A. Ando, A. Saito, and M. Mitsutomi	Classification of chitosanases by hydrolytic specificity toward N1,N4-diacetylchitohexaose	Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry VOL.76, NO.10
Hirano K., S. Arayaveerasid, K. Seki, D.J. Adams, and M. Mitsutomi	Characterization of a chitosanase from <i>Aspergillus fumigatus</i> ATCC13073	Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry VOL.76, NO.8, 1523 – 1528
松尾和典・湯川淳一・徳田 誠	バリバリノキエダタマバエの屋久島における分布確認記録	PULEX, NO.91, 594 – 595
Ganaha-Kikumura, T., Yukawa, J., Tokuda, M., Ohno, S. and Abe, J.	Occurrence of two acarivorous species of the genus <i>Feltiella</i> (Diptera: Cecidomyiidae) in Okinawa, southern Japan, and redescription of <i>F. acarivora</i> (Zehntner)	Appl. Entomol. Zool. VOL.47, NO.4, 319 – 329
神代 瞬・松倉啓一郎・松村正哉・徳田 誠	九州東岸および北部におけるフタテンチビヨコバエの分布状況	九病虫研会報 VOL.58, 104 – 109
Fujii, T., Yoshitake, H., Matsuo, K., and Tokuda, M.	Collection records of <i>Darumazo distinctus</i> (Coleoptera, Curculionidae) from galls induced by <i>Asteralobia sasakii</i> (Diptera, Cecidomyiidae) on the Izu Islands, Japan	Jpn. J. Syst. Entomol. VOL.18, NO.2, 253 – 256
Yamaguchi, H., Tanaka, H., Hasegawa, M., Tokuda, M., Asami, T., Suzuki, Y.	Phytohormones and willow gall induction by a gall-inducing sawfly	New Phytologist VOL.196, NO.2, 586 – 595
Matsukura, K., Matsumura, M. and Tokuda, M.	Host feeding by an herbivore improves the performance of offsprings	Evol. Biol. VOL.39, NO.3, 341 – 347
Matsuo, K., Yang, M. M., Tung, G. S, Tokuda, M. and Yukawa, J.	Description of a new and redescription of two known species of <i>Torymus</i> (Hymenoptera: Torymidae) in Taiwan with a key to Taiwanese species	Zootaxa VOL.3409, 47 – 57
Harano, K., Tokuda, M., Kotaki, T., Yukuhiro, F., Tanaka, S., Fujiwara-Tsujii, N, Yasui, H., Wakamura, S., Nagayama, A., Hokama, Y. and Arakaki, N.	The significance of multiple mating and male substance transferred to females at mating in the white grub beetle, <i>Dasylepida ishigakiensis</i> (Coleoptera: Scarabaeidae)	Appl. Entomol. Zool. VOL.47, NO.3, 245 – 254
徳田 誠・松尾和典・湯川淳一	伊豆諸島の御蔵島と青ヶ島で発見された虫えい	昆虫(ニューシリーズ) VOL.15, NO.2, 75 – 84
Hiroshi Kitagaki and Katsuhiko Kitamoto	Breeding researches of sake yeasts in Japan: History, recent technological advances, and future perspectives.	Annual Review of Food Science and Technology VOL.4, 215 – 235

^D Lahiru N. Jayakody, Keisuke Tsuge, Akihiro Suzuki, Hitoshi Shimoi and Hiroshi Kitagaki*	Identification of sulfate ion as one of the key component of yeast spoilage of a low-nutritional beverage through genome-wide expression analysis.	Journal of General and Applied Microbiology VOL.99, NO.99, 9999 – 9999
^M Hirata M, Tsuge K, ^D Jayakody LN, ^B Urano Y, Sawada K, Inaba S, Nagao K, Kitagaki H.	Structural Determination of Glucosylceramides in the Distillation Remnants of Shochu, the Japanese Traditional Liquor, and Its Production by <i>Aspergillus kawachii</i> .	Journal of Agricultural and Food Chemistry VOL.60, NO.46, 11473 – 11482
Hisayoshi Soejima^B, Keisuke Tsuge, Takashi Yoshimura, Kazuyoshi Koganemaru and Hiroshi Kitagaki*	Breeding of a high tyrosol-producing sake yeast by isolation of an ethanol-resistant mutant from <i>trp3</i> mutant.	Journal of the Institute of Brewing VOL.118, NO.3, 264 – 268
Kentaro Kajiwara, Tetsuya Muneoka, Yu Watanabe, Takefumi Karashima, Hiroshi Kitagaki, and Kouichi Funato	Perturbation of sphingolipid metabolism induces ER stress-mediated mitochondrial apoptosis in budding yeast	Molecular Microbiology VOL.99, NO.99, 9999 – 9999
Saori Motomura^M, Kenta Horie^M and Hiroshi Kitagaki	Mitochondrial activity of sake brewery yeast affects malic and succinic acid production during alcoholic fermentation.	Journal of the Institute of Brewing VOL.118, NO.1, 22 – 26
Gang-Su Hyon, Nguyen Thi Thanh Nga, Izumi Chuma, Yoshihiro Inoue, Hokuto Asano, Nobuaki Murata, Motoaki Kusaba, Yukio Tosa	Characterization of interactions between barley and various host-specific subgroups of <i>Magnaporthe oryzae</i> and <i>M. grisea</i>	Journal General Plant Pathology VOL.78, NO.4, 237 – 246
Hirofumi Suzuki, Fumihiko Suzuki, Motoaki Kusaba, Yukio Tosa	Population structure of rice blast isolates resistant to scytalone dehydratase inhibitors in Mie Prefecture and implications for their origin	Journal of General Plant Pathology VOL.78, NO.2, 106 – 114
Nguyen Thi Thanh Nga, Yoshihiro Inoue, Izumi Chuma, Gang-Su Hyon, Kazuma Okada, Trinh Thi Phuong Vy, Motoaki Kusaba, Yukio Tosa	Identification of a novel locus <i>Rmo2</i> conditioning resistance in barley to host-specific subgroups of <i>Magnaporthe oryzae</i>	
Tetsuji Ogawa, Akio Nakagawa, Tatsuji Hataya and Kazusato Ohshima	The Genetic Structure of Populations of <i>Potato virus Y</i> in Japan; Based on the Analysis of 20 Full Genomic Sequences	Journal of Phytopathology Volume 160, Issue 11–12, pages 661–673, December 2012
廣瀧謙亮、花本猛士	Synthesis of 2-aryl-3-fluoro-5-silylthiophenes via cascade reaction sequence ; 2013 年 03 月	Organic Letters VOL.15, NO.6, 1226
笠井紀貴、前田諒子、古野裕史、花本猛士	A Practical Synthesis and Applications of (E)-Diphenyl-β-(trifluoromethyl)vinylsulfonium Triflate ; 2012 年 10 月	Synthesis VOL.44, 3489
Unno, M., Kikukawa, T., Kumauchi, M., & Kamo, N.	Exploring the active site structure of a photoreceptor protein by Raman optical activity	J. Phys. Chem. B VOL.117, 1321 – 1325
Unno, M., Tsukiji, Y., Kubota, K., & Masuda, S.	N-terminal truncation does not affect the location of a conserved tryptophan in the BLUF domain of AppA from <i>Rhodobacter sphaeroides</i>	J. Phys. Chem. B VOL.116, 8974 – 8980
M. Yada, Y. Inoue, M. Koikawa, T. Torikai, T. Watari	Synthesis and magnetic property of cobalt hydroxide carbonate and cobalt oxide nonowires	Crystal Engineering Communication VOL.14, 7374 – 7381

Masayuki Koikawa, Takashi Toyofuku, Masahiro Muto, Yasunori Yamada, and Tadashi Tokii	Synthesis and Crystal Structure of Bis[2-[(2-Hydroxymethylphenyl)iminomethyl]phenolato]chromium(III) nitrate monohydrate	X-ray Structure Analysis Online, VOL.28, 33 – 34
T. Takamuku, T. Shimomura, K. Sadakane, M. Koga, H. Seto	Aggregation of 1-Dodecyl-3-methylimidazolium Nitrate in Water and Benzene Studied by SANS and ¹ H NMR	Phys. Chem. Chem. Phys. VOL.14, 11070 – 11080
T. Takamuku, H. Wada, C. Kawatoko, T. Shimomura, R. Kanzaki, M. Takeuchi	Amide-induced Phase Separation of Hexafluoroisopropanol-Water Mixtures Depending on the Hydrophobicity of Amide	Phys. Chem. Chem. Phys. VOL.14, 8335 – 8347
Y. Oishi, E. Tsukamoto, M. Shimoda, T. Takamuku, T. Narita and M. Era	A novel preparation method of lead-based layered perovskite Langmuir film with a negligible amount of PbBr ₂ ; 2013 年 01 月	New Journal of Chemistry VOL.37, NO.3, 568
H. Arita, K. Hiramatsu, T. Narita, A. Takahara, M. Era, and Y. Oishi	Formation of Layered Perovskite Structure by Folding Monolayer during Compression; 2012 年 10 月	Journal of Nanoscience and Nanotechnology VOL.37, NO.3, 568
Y. Ishiwata, S. Suehiro, T. Kida, H. Ishii, Y. Tezuka, H. Oosato, E. Watanabe, D. Tsuya, Y. Inagaki, T. Kawae, M. Nantoh, and K. Ishibashi	Spontaneous uniaxial strain and disappearance of the metal-insulator transition in monodisperse V ₂ O ₃ nanocrystals	PHYSICAL REVIEW B VOL.86, NO.3, 035449
Atsunori Nozoe, Keisuke Ohto, and Hidetaka Kawakita	Germanium Recovery using Catechol Complexation and Permeation through an Anion-Exchange Membrane; 2012 年	Sep. Sci. Technol VOL.47, 62
Bimala Pangeni · Hari Paudyal · Katsutoshi Inoue · Hidetaka Kawakita · Keisuke Ohto · Shafiq Alam	Selective recovery of gold(III) using cotton cellulose treated with concentrated sulfuric acid; 2012 年	Cellulose VOL.19, 381
Imala Pangeni, Hari Paudyal, Minoru Abe, Katsutoshi Inoue, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto, Birendra Babu Adhikari and Shafiq Alam	Selective recovery of gold using some cross-linked polysaccharide gels; 2012 年	Green Chemistry VOL.14, 1917
Ryoma Yamaguma, Ayahiro Yamashita, Hidetaka Kawakita, Tohru Miyajima, Chiharu Takemura, Keisuke Ohto, Naoyuki Iwachido	Selective Extraction of Precious Metal Ions with Novel Trident Molecules Containing Pyridyl Groups; 2012 年	Sep. Sci. Technol VOL.47, 1303
Hari Paudyal, Bimala Pangeni, Kedar Nath Ghimire, Katsutoshi Inoue, Keisuke Ohto, Hidetaka Kawakita, Shafiq Alam	Adsorption behavior of orange waste gel for some rare earth ions and its application to the removal of fluoride from water; 2012 年	Chem. Eng. J. VOL.195–196, 1185
Kanjana Khunathai, Katsutoshi Inoue, Keisuke Ohto, Hidetaka Kawakita, Minoru Kurata, Kinya Atsumi, and Shafiq Alam	Dithiooxamide-Immobilized Microalgal Residue for the Selective Recovery of Pd(II) and Pt(IV); 2012 年	Sep. Sci. Technol. VOL.47, 1185
Bimala Pangeni, Hari Paudyal, Katsutoshi Inoue, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto, Hiroyuki Harada, Biplob Kumar Biswas and Shafiq Alam	Optimization of an adsorption process for tetrafluoroborate removal by zirconium (IV)-loaded orange waste gel from aqueous solution; 2012 年	Environmental Technology VOL.33, 845
Makoto KAWASHIMA, Hidetaka KAWAKITA, Keisuke OHTO, Yuzo SHIWA	Aluminum Group Extraction with Benzoic Acid – Acetic Acid Crossed Type Calix[4]arene Derivatives; 2012 年	Solv. Extr. Res. Develop. Jpn VOL.19, 41

Hironobu Kawasaki, Hirokazu Seto, Keisuke Ohto, Hidetaka Kawakita	Colloidal Particle Recovery using extended and shrunken dextran generated from immobilized enzyme in porous membrane ; 2012 年	J. Appl. Glycosci. VOL.59, 31
Yuko Yoshimura, Kanjana Khunathai, Atsunori Nozoe, Keisuke Ohto, Hidetaka Kawakita	Precious Metal Recovery Using Poly(tyramine) Prepared by Radical Polymerization with Horseradish Peroxidase ; 2012 年	J. Chem. Eng. Jpn. VOL.45, 178
Yoichi Miyagawa, Hirokazu Seto, Keisuke Ohto, Hidetaka Kawakita	Giant dextran particles formed by dextransucrase immobilized on a tube surface in a laminar flow ; 2012 年	Biochemical Engineering Journal VOL.64, 17
Bimala Pangen, Hari Paudyal, Katsutoshi Inoue, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto, Shafiq Alam	An Assessment of Gold Recovery Processes Using Cross-Linked Paper Gel ; 2012 年	J. Chem. Eng. Data VOL.57, 796
Tomoaki Yoneyama, Hirotohi Sadamatsu, Shigemasa Kuwata, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto,	Allosteric coextraction of sodium and metal ions with calix[4]arene derivatives 2: First numerical evaluation for the allosteric effect on alkali metal extraction with crossed carboxylic acid type calix[4]arenes ; 2012 年	Talanta VOL.88, 121
Hiroiyuki Harada, Toru Shiomichi, Yasuhiro Ueshima, Seichiro Oura, Hidetaka Kawakita, and Biplob K. Biswas	Decolorization of secondary effluent from piggery wastewater by Fenton reaction using iron powder ; 2012 年	Environment and Pollution VOL.2, 1
Y. Ueda, S. Morisada, H. Kawakita, K. Ohto	Solvent Extraction Behavior of Silver Ion with Secondary Phenylamide Derivative of Trident Molecule ; 2013 年 03 月	Solvent Extr.Res.Dev. Jpn., VOL.20, 53
J. H. Cho, J. Harrowfield, J. Y. Kim, Y. Kim, Y. H. Lee, K. Ohto, P. Thuéry, M. S. Won, Arim Woo	Somepost-Wernerian coordination chemistry ; 2013 年 01 月	Polyhedron VOL.52, 1190
B.B.Adhikari, M.Gurung, H.Kawakita, K.Ohto	Solid Phase Extraction, Preconcentration and Separation of Indium with Methylene Crosslinked Calix[4]- and Calix[6]arene Carboxylic Acid Resins ; 2012 年 06 月	Chem.Eng.Sci. VOL.78, 144
M. Kawashima, H. Kawakita, K. Ohto, Y. Shiwa	Aluminum Group Extraction with Benzoic Acid - Acetic Acid Crossed Type Calix[4]arene Derivatives ; 2012 年 05 月	Solvent Extr.Res.Dev. Jpn., VOL.18, 41
R. Yamaguma, A. Yamashita, H. Kawakita, T. Miyajima, C. Takemura, K. Ohto, N. Iwachido	Selective Extraction of Precious Metal Ions with Novel Trident Molecules with Pyridyl Groups ; 2012 年 05 月	Sep.Sci.Technol. VOL.47, NO.9, 1303
B. Sharma, X. Feng, J. Tanaka, D. L. Hughes, C. Redshaw and T. Yamato	Synthesis and crystal structure of a novel hexahomotrioxa[3]cryptand ; 2013 年 01 月	Journal of Molecular Structure VOL.1037, 271
X-K. Jiang, M. Deng, L. Mu, X. Zeng, J-X. Zhang and T. Yamato	Synthesis and structure of a novel thiacalix[4]arene based triazole derivative ; 2013 年 01 月	Journal of Asian Chemistry VOL.25, 515
M. Deng, L. Mu, X. Zeng, X-K. Jiang, Y-Q. Zhang and T. Yamato	An NBD-armed thiacalix[4]arene-derived colorimetric and fluorometric chemosensor for Ag ⁺ : a metal-ligand receptor of anions ; 2013 年 01 月	Journal of Asian Chemistry VOL.25, 512

J-Y. Fu, L. Mu, X. Zeng, J-L. Zhao, C. Redshaw, X-L. Ni and T. Yamato	Synthesis, structural and spectral properties of diarylamino-functionalized pyrene derivatives via Buchwald-Hartwig amination reaction ; 2013 年 01 月	Dalton Transactions VOL.42, NO.10, 3552
J-Y. Hu, F. Xing, N. Seto, X. Zeng, Z. Tao and T. Yamato	Synthesis and Conformational Studies of Some Metacyclophane Compound ; 2012 年 11 月	Journal of Molecular Structure VOL.1013, 19
L. K. Doamekpor, V. K. Nartey, R. K. Klake, T. Yamato	Synthesis and inclusion properties of C3-symmetric triazole derivatives based on hexahomotrioxacalix[3]arene ; 2012 年 11 月	International Journal of Organic Chemistry VOL.2, 152
C-C. Jin, T. Kinoshita, H. Cong, X-L. Ni, X. Zeng, D. L. Hughes, C. Redshaw and T. Yamato	Pyrene-Based Y-shaped Solid-State Blue Emitters: Synthesis, Characterization and Photoluminescence ; 2012 年 10 月	New J. Chem. VOL.36, 2580
X. Feng, J-Y. Hu, L. Yi, N. Seto, Z. Tao, C. Redshaw, M. R. J. Elsegood and T. Yamato	Supramolecular catalysis of esterification by hemicucubiturils under mild conditions ; 2012 年 09 月	Chemistry, Asian Journal VOL.7, 2854
H. Cong, T. Yamato, S.-F. Xue, Z. Tao	Synthesis and Structure of 2,3-Bis(5-tert-butyl-2-methoxyphenyl)buta-1,3-diene by Bromine Elimination of (Z)-1,4-Dibromo-2,3-bis(5-tert-butyl-2-methoxyphenyl)-2-butene ; 2012 年 08 月	Journal of Molecular Catalysis A: Chemical VOL.365, 181
K. Tazoe, Y. Uchikawa, X. Feng and T. Yamato	Homooxaclix[3]arene derivatives as ionophores for molecular recognition of dopamine, serotonin and phenylethylamine ; 2012 年 08 月	Synthetic Communications VOL.42, NO.21, 3128
X.-L. Ni, S. Rahman, S. Wang, C.-C. Jin, X. Zeng, D. Hughes, C. Redshaw and T. Yamato	Synthesis and demethylation of 4,2,2-dimethoxy[2.10]metacyclophane-1-yne with BBr ₃ to afford a novel [10](2,9)-5a,11a-benzofuro-5a-boro-11-bromochromenohane ; 2012 年 04 月	Org. Biomol. Chem. VOL.10, 4618
Hirotsugu Jin-nouchi, Michinori Takeshita	Syntheses and Fully Diastereospecific Photochromic Reactions of Thiophenophane-1-enes with Chiral Bridges	Chemistry A European Journal VOL.18, 9638 - 9644
I. Gallardo, G. Guirado, M. Moreno, G. Prats, M. Takeshita	Bidirectional Redox Molecular Switches: Electron-induced Cyclization and Cycloreversion Processes in Metacyclophanes	Chem. Eur. J. VOL.18, 9807 - 9812
Masayoshi Fujihala, Xu-Guang Zheng*, Hiroki Morodomi, Tatsuya Kawae, and Isao Watanabe	Magnetic transition in K ₄ Cu ₄ OCl ₁₀ : A model system of three-dimensional spin-1/2 tetrahedra ; 2013 年 02 月	Phys. Rev. B VOL.77, 14425-1
M. Fujihala, X. G. Zheng*, Y. Oohara, H. Morodomi, T. Kawae, Akira Matsuo, and Koichi Kindo	Short-range correlations and persistent spin fluctuations in the undistorted kagome lattice Ising antiferromagnet Co ₃ Mg(OH) ₆ Cl ₂ ; 2012 年 01 月	Phys. Rev. B VOL.85, 012402-1
S. E. Dissanayake, C. Chan, S. Ji, J. Lee, Y. Qiu, K. C. Rule, B. Lake, M. Green, M. Hagihala, X. G. Zheng, T. K. Ng, and S.-H. Lee	Magnetic-field-induced instability of the cooperative paramagnetic state in Zn _x Co _{4-x} (OH) ₆ Cl ₂ ; 2012 年	Physical Review B VOL.85, 174435 1

X. D. Liu, D. D. Meng, M Hagihala, X. G. Zheng, and Q. X. Guo.	Raman and mid-IR spectroscopic study of geometrically frustrated hydroxyl cobalt halides at room temperature. ; 2012 年	Chin. Phys. B 20(7), 077801 (2011). VOL.20, NO.7, 077801
J. Lu, X. D. Liu, X. L. Xu, M. Fujihala, D. D. Meng, X. G. Zheng, Z. W. Chen, Q. X. Guo.	Raman Spectral Properties of β -Co ₂ (OH) ₃ Cl down to the Liquid Nitrogen Temperature. ; 2012 年	Adv. Mater. Res. VOL.430-432, 1257
X. D. Liu, D. D. Meng, X. G. Zheng, and Q. X. Guo.	Spectral properties of Botallackite-structure Alpha-Cu ₂ (OH/D) ₃ Br at room temperature. ; 2012 年	Adv. Mater. Res. VOL.391, NO.392, 1493
X. D. Liu, X. L. Xu, D. D. Meng, M. Fujihala, X. G. Zheng, Z. W. Chen, Q. X. Guo	Raman Band Redshifting of α -Cu ₂ (OH) ₃ Cl with Decreasing the Temperature. ; 2012 年	Adv. Mater. Res. VOL.430-432, 391
X. D. Liu, J. Lu, M. Fujihala, D. D. Meng, X. L. Xu, X.G. Zheng, Z.W. Chen, Q.X. Guo.	Local Laser Heating Effect on Raman Spectroscopy of β -Co ₂ (OH) ₃ Br. ; 2012 年	Adv. Mater. Res. 430-432, 566-569 (2012). VOL.430-432, 566
H. Haramaki, T. shimomura, T. Umecky, T. Takamuku	SANS, Infrared, and ⁷ Li and ²³ Na NMR Studies on Phase Separation of Alkali Halide-Acetonitrile-Water Mixtures by Cooling	Journal of Physical Chemistry B VOL.117, NO.8, 2438 - 2448
Juzo Oyamada, Mariko Sakai, Yasunori Yamada, Tsugio Kitamura	Regio- and Stereocontrolled Reaction of Arenes with Ethyl Propiolate Catalyzed by Palladium or Platinum Complexes with a Bidentate Phosphine Ligand. An Efficient and Straightforward Synthesis of (1Z,3E)-1-Aryl-1,3-butadienes ; 2013 年 01 月	Bull. Chem. Soc. Jpn. VOL.86, 129
Tsugio Kitamura, Kotaro Tatemoto, Mariko Sakai, Juzo Oyamada	Cascade Synthesis of 3-Alkenylcoumarins by Palladium-catalyzed Reaction of Phenols and Ethyl Propiolate ; 2012 年 07 月	Chem. Lett. VOL.41, 705
Keisuke Gondo, Tsugio Kitamura	Reaction of Iodonium Ylides of 1,3-Dicarbonyl Compounds with HF Reagents ; 2012 年 06 月	Molecules VOL.17, 6625
Tsugio Kitamura, Kensuke Otsubo	Palladium-Catalyzed Intramolecular Hydroarylation of 4-Benzofuranyl Alkynoates. Approach to Angelicin Derivatives ; 2012 年 05 月	J. Org. Chem. VOL.77, 2978
Tsugio Kitamura, Kensuke Otsubo	Palladium-Catalyzed Intramolecular Hydroarylation of 6-Benzofuranyl Alkynoates ; 2012 年 05 月	Heterocycles VOL.86, 759
Tsugio Kitamura, ^MYui Tazawa, ^DMohammad Hasan Morshed, ^DSoichi Kobayashi	Convenient Chlorination with Concentrated Hydrochloric Acid in the Presence of Iodosylbenzene ; 2012 年 04 月	Synthesis VOL.44, 1159
R. Hayashi, S. Miura, Y Saito, S. Osada, T. Iyoda, F. Fukai, H. kodama	The cell adhesion and proliferation activities of a peptide derived from human tenascin-C are dependent on two Ile residues	Bioorg. Med. Chem. VOL.20, NO.15, 4608 - 4613
R. Hayashi, M. Miyazaki, S. Osada, H. Kawasaki, I. Fujita, Y. Hamasaki, H. Kodama	A formyl peptide substituted with a conformationally constrained phenylalanine residue evokes a selective immune response in human neutrophils	Bioorg. Med. Chem. VOL.21, NO.3, 668 - 675
T. Suga, S. Osada, H. Kodama	Formation of ion-selective channel using cyclic tetrapeptides.	Peptides VOL.20, NO.1, 42 - 46

Manickam Sasidharan, Nanda Gunawardhana, Masaki Yoshio, and Kenichi Nakashima	α -Fe ₂ O ₃ and Fe ₃ O ₄ hollow nanospheres as high-capacity anode materials for rechargeable Li-ion batteries	Ionics, Vol. 19, pp. 25–31, 2013
Bishnu Prasad Bastakoti, Kevin C.-W. Wu, Masamichi Inoue, Shin-ichi Yusa, Kenichi Nakashima, and Yusuke Yamauchi	Multifunctional Core-Shell-Corona Type Polymeric Micelles for Anticancer Drug Delivery and Imaging	Chemistry-A European Journal, Vol. 19, pp. 4812 – 4817, 2013.
Bishnu Prasad Bastakoti, Yin-Chu Hsu, Shih-Hsiang Liao, Kevin C.-W. Wu, Masamichi Inoue, Shin-ichi Yusa, Kenichi Nakashima, and Yusuke Yamauchi	Inorganic-Organic Hybrid Nanoparticles with Biocompatible Calcium Phosphate Thin Shells for Drastic Enhanced Fluorescence	Chemistry-An Asian Journal, Vol. 8, pp. 1301 – 1305, 2013.
Bishnu Prasad Bastakoti, Shih-Hsiang Liao, Masamichi Inoue, Shin-ichi Yusa, Masataka Imura, Kenichi Nakashima, Kevin C.-W. Wu, and Yusuke Yamauchi	pH-Responsive Polymeric Micelles with Core-Shell-Corona Architectures as Intracellular Anticancer Drug Carriers	Science and Technology of Advanced Materials, Vol. 14, p. 044402–044407, 2013.
Shuo Zhai, Yukitaka Manako, Shin-ichi Yusa, and Kenichi Nakashima	Synthesis of Nanometer-sized Hollow Calcium Tungstate Particles by Using Micelles of Poly(styrene-b-acrylic acid-b-ethylene oxide) as a Soft Template	Chemistry Letters, Vol. 42, pp. 735–737, 2013.
Shuo Zhai, Shin-ichi Yusa, and Kenichi Nakashima	Synthesis of Hollow Zinc Oxide Nanoparticles by Templating Micelles of Poly(styrene-b-acrylic acid-b-ethylene oxide) in Aqueous Solutions	Bull. Chem. Soc. Jpn, Vol. 86, pp. 884–890, 2013.
Manickam Sasidharan, Haruna Zenibana, Mahasweta Nandi, Asim Bhaumik, and Kenichi Nakashima	Synthesis of Mesoporous Hollow Silica Nanospheres using Polymeric Micelles as Template and Their Application as a Drug-Delivery Carrier	Dalton Trans., Vol. 42, pp. 13381–13389, 2013.
Manickam Sasidharan, Nanda Gunawardhana, Masaki Yoshio and Kenichi Nakashima	WO ₃ hollow nanospheres for high-lithium storage capacity and good cyclability ; 2012 年	Nano Energy VOL.1, 503
Sasidharan Manickam, Nanda Gunawardhana, Masaki Yoshio, and Kenichi Nakashima	V ₂ O ₅ hollow nanospheres: A lithium intercalation host with good rate capability and capacity retention ; 2012 年	Journal of the Electrochemical Society VOL.159, A618
Manickam Sasidharan, Hom Nath Luitel, Nanda Gunawardhana, Masamichi Inoue, Shin-ichi Yusa, Takanori Watari, Kenichi Nakashima	Synthesis of magnetic α -Fe ₂ O ₃ and Fe ₃ O ₄ hollow nanospheres for sustained release of ibuprofen ; 2012 年	Materials Letters VOL.73, 4
Jing Jing Liu, Manickam Sasidharan, Dian Liu, Yuuichi Yokoyama, Shin-ichi Yusa, and Kenichi Nakashima	Novel MoO ₃ and WO ₃ Hollow Nanospheres Assembled with Polymeric Micelles ; 2012 年	Materials Letters VOL.66, 25
Sudhina Guragain, Bishnu Prasad Bastakoti, Masanori Ito, Shin-ichi Yusa, and Kenichi Nakashima	Aqueous polymeric micelles of poly[N-isopropylacrylamide-b-sodium 2-(acrylamido)-2-methylpropanesulfonate] with spiropyran dimer pendant: quadruple stimuli-responsiveness. ; 2012 年	Soft Matter, Vol. 8. pp. 9628–9634 VOL.8, 9628
Manickam Sasidharan, Nanda Gunawardhana, Masaki Yoshio, and Kenichi Nakashima	Nb ₂ O ₅ hollow nanospheres as anode material for enhanced performance in lithium ion battery ; 2012 年	Materials Research Bulletin VOL.47, 2161

Bishnu Prasad Bastakoti, Masamichi Inouo, Shin-ichi Yusa, Shih-Hsiang Liao, Kevin C.-W. Wu, Kenichi Nakashima, and Yusuke Yamauchi	Block Copolymer Micelle Template for Synthesis of Hollow Calcium Phosphate Nanospheres with Excellent Biocompatibility; 2012 年	Chem. Commun. VOL.48, 6532
Sasidharan Manickam, Nanda Gunawardhana, Masaki Yoshio, and Kenichi Nakashima	CeO ₂ hollow nanospheres as anode material for lithium ion batteries; 2012 年	Chemistry Letters VOL.41, 386
Bishnu Prasad Bastakoti, Sudhina Guragain, Shin-ichi Yusa, Kenichi Nakashima	Novel Synthesis Route for Ag@SiO ₂ Core-Shell Nanoparticles via Micelle Template of Double Hydrophilic Block Copolymer; 2012 年	RSC Advances VOL.2, 5938
Bishnu Bastakoti, Sudhina Guragain, Yuuichi Yokoyama, Shin-ichi Yusa, Kenichi Nakashima	Synthesis of Hollow BaSO ₄ Nanospheres Templated by Core-Shell-Corona Type Polymeric Micelles; 2012 年	New Journal of Chemistry VOL.36, 125
Sasidharan Manickam, Nanda Gunawardhana, Hom Luitel, Toshiyuki Yokoi, Masamichi Inoue, Shin-ichi Yusa, Takanori Watari, Masaki Yoshio, and Takashi Tatsumi, and Kenichi Nakashima	Novel LaBO ₃ Hollow Nanospheres of Size 34□2 nm Templated by Polymeric Micelles; 2012 年	Journal of Colloid and Interface Science VOL.370, 51
Manickam Sasidharan, Nanda Gunawardhana, Masamichi Inoue, Shin-ichi Yusa, Masaki Yoshio, and Kenichi Nakashima	La ₂ O ₃ hollow nanospheres for high performance lithium-ion rechargeable batteries; 2012 年	Chemical Communications VOL.48, 3200
Manickam Sasidharan, Nanda Gunawardhana, Hiroaki Noma, Masaki Yoshio, and Kenichi Nakashima	α-MoO ₃ hollow nanospheres as an anode material for Li-ion battery; 2012 年	Bull. Chem. Soc. Jpn. VOL.85, 642
Koichi Sakaguchi, Akinori Fujito, Seiko Uchino, Asami Ohtake, Noboru Takisawa, Kunio Akedo and Masanao Era	Oxidation Time Dependence of Graphene Oxide	IEICE TRANSACTIONS on Electronics VOL.E-96-C, NO.3, 369 - 371

総説・資料・解説・論説・研究報告・総合雑誌の論文		
著者名	題目	雑誌名, 巻, 号, 頁
吉田裕樹	IL-23, 27 と IL-12 ファミリー	細胞工学 IL-20 以降の新しいインターロイキンの機能と関連疾患.
Mizuta K, Fujita T, Kumamoto E	Actions of morphine and its related drugs on primary-afferent neurons - their clinical significances.	Adv. Med. Biol.
Suzuki S, Komori M, Hirai M, Ureshino N, Kimura S*	Development of a novel, fully-automated genotyping system: Principle and applications	Sensors (Basel)
出原賢治	IFCC 教育委員会活動報告 - 我ら国境なき臨床化学者たち -	臨床化学. 41(1): 101-103
出原賢治, 有馬和彦, 鈴木章一, 太田昭一郎	IL-13.	アレルギー・免疫, 19(12), 1884-1891
Kumamoto E, Mizuta K, Fujita T, Kosugi T, Katsuki R	Neurotransmitter receptor agonists having the inhibitory actions of nerve conduction - structure-function relationship.	Recent Res. Devel. Pharmacol.

Kubota Y, Kimura S	Regulation of Hematopoietic Stem Cell Fate: Self-Renewal, Quiescence and Survival, Advances in Hematopoietic Stem Cell Research, Dr. Rosana Pelayo (Ed.)	ISBN: 978-953-307-930-1, InTech, DOI: 10.5772/31367
Koarada S and Tada Y	RP105-Negative B Cells in Systemic Lupus Erythematosus	Clin Dev Immunol 2012:259186
多田芳史	RS3PE 症候群	炎症と免疫 20:83-87
吉村麻里子, 木村晋也	T315I 変異陽性 CML に対する新規薬剤の展望	血液内科
増岡美穂, 出原賢治	アトピー性皮膚炎の新しい治療薬への期待.	週刊 日本医事新報, No.4611・2012.9.8, 48-49, 2012.9.8.
* 秋山一男, 長谷川眞紀, 福田健, 平田博国, 大久保公裕, 後藤穰, 榎本雅夫, 竹内裕美, 出原賢治, 川崎誠司, 宮本昭正	アラスタット 3gAllergy の臨床的有用性に関する検討-第1報-多施設共用研究による評価(内科・耳鼻咽喉科における検討).	アレルギー・免疫, 19(12),1970-1984
横山正俊	オフィスギネコロジー—女性のプライマリ・ケア【V章 婦人科疾患】バルトリン嚢腫, 外陰腫瘍性病変.	臨床婦人科産科 第66巻第5号 P245-248 2012.4.20 医学書院
尾山純一, 野出孝一	各種バイオマーカーの循環器疾患における意義 AIM	Heart View
西田裕一郎, 田中恵太郎	がん治療後の運動は身体機能・QOL を改善-がん生存者の身体活動:無作為化対照試験のメタアナリシス-(解説)	Mainichi Medical Journal. 8(4): 204-205
木村晋也	がん分子標的薬をリードするキナーゼ阻害剤	BioClinica, 28:16-17
樋渡敦, 野出孝一	これからの高血圧治療 -残された課題への挑戦 バイオマーカー-	Current Therapy
出原賢治, 有馬和彦, 白石裕士, 鈴木章一, 太田昭一郎	ペリオスチンによる気管支喘息の病態形成機序.	臨床免疫・アレルギー科, 57(1),104-110
野出孝一	炎症マーカーと慢性心不全	厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 総括研究報告書
佐久間理吏	各種バイオマーカーの循環器疾患における意義 MRP-14(myeloid-related protein-14)	Heart View
琴岡憲彦	各種バイオマーカーの循環器疾患における意義 ペントラキシン 3(pentraxin 3;PTX3)	Heart View 16(12): 176-179
琴岡憲彦	冠動脈血栓形成のマーカー	先端医療シリーズ 43 循環器疾患の最新医療 251-253
出原賢治, 太田昭一郎, 白石裕士, 有馬和彦, 鈴木章一	間質性肺炎の血清マーカーとしてのペリオスチン.	検査と技術. 40(2): 157-160
吉田裕樹	基礎の基礎	細胞工学 IL-20 以降の新しいインターロイキンの機能と関連疾患.
出原賢治, 有馬和彦, 鈴木章一, 白石裕士, 太田昭一郎	気管支喘息におけるサイトカイン研究の最近の話題.	呼吸と循環, 60(2),179-187
久富 崇, 木村晋也	急性リンパ性白血病に対する分子標的療法	最新医学, 67: 2366-2372
琴岡憲彦	血管炎症マーカーpentraxin3(PTX3)を標的とした、動脈硬化性プラーク分子イメージングのための、ナノ粒子 MRI 造影剤の開発	医科学応用研究財団研究報告 29:238-240
杉原 甫, 青木 茂久	見る脂質のページ<脂肪細胞>(第1回) ヒトの脂肪細胞 その増殖と分化.	The Lipid

杉原 甫, 末崎 幸生, 青木 茂久, 井手口 浩幸	見る脂質のページ<脂肪細胞>(第2回) メタボリック・シンドロームと脂肪細胞.	The Lipid
青木 茂久, 杉原 甫	見る脂質のページ<脂肪細胞>(第3回) 脂肪細胞が再生に及ぼす効果、および、癌細胞への影響.	The Lipid
杉原 甫, 千葉政一, 青木茂久, 井手口浩幸, 川崎東太	見る脂質のページ<脂肪細胞>(第4回) 褐色脂肪細胞	The Lipid
兒玉和久, 野出孝一	現代型不眠と生活習慣病	実験治療 707:38-41
*野田岩男、宮本比呂志、馬渡正明	抗菌性アパタイトコーティング技術の開発	Journal of the Society of Inorganic Materials, Japan vol.19 441-448
川崎真由美, 野出孝一	脂質異常症	月刊循環器 Circulation
樋渡敦, 野出孝一	脂質異常症薬(脂質異常症薬+Ca拮抗薬を含む)	Current Therapy
野出孝一	脂質代謝とPPAR γ	Hypertens Scope 11(2): 5-6
山崎あゆむ, 野出孝一	脂肪代謝と動脈硬化 RAS	Angiotensin Research
野出孝一	時計遺伝子と高血圧	尼崎市内科医会通信 23:2-3
明石真, 野出孝一	時計遺伝子の分子機構を識る	Heart View
小荒田秀一, 田代知子, 末松梨絵, 井上久子, 大田明英, 多田芳史	自己抗体産生 RP105 陰性 B 細胞上に発現する B-Cell maturation antigen は, 全身性エリテマトーデスの治療標的となりうるか	日本臨床免疫学会誌 35:38-45
浜崎雄平	狩猟蜂から抽出した neurotoxin.	アレルギーと神経ペプチド
横山正俊, 岩坂 剛	腫瘍分野 2. 子宮頸部細胞診の判定: ベセスダシステム 2001 について.	産科と婦人科 第79巻増刊号 P102-107 2012.4.10 診断と治療社
有馬和彦	樹状細胞の機能的可塑性.	臨床免疫・アレルギー科, 57(3), 227-233
野出孝一	腎臓を守ることは心臓を守ること	日経メディカル:16-17
野出孝一	生活習慣病における時計遺伝子解析	聖ルカ・ライフサイエンス研究所年報
野出孝一	体内リズムと循環器病	Heart View
松本一成, 野出孝一	糖尿病薬のアンチエイジング作用	Anti-aging Science
佐久間理吏, 野出孝一	動脈硬化、プラーク破綻におけるバイオマーカーの意義と展望	Cardiovascular Frontier
久木田明子、菖蒲池健夫、久木田敏夫	破骨細胞の分化と機能を制御する転写因子の役割	化学と生物、解説 50(7) 488-497
中尾佳史、岩坂 剛	婦人科がん—最新の研究動向— Ⅲ. 子宮体がん 子宮体癌の発癌機構 遺伝子異常.	日本臨牀 70 巻増刊号 4 P303-308 2012.6.20
永尾晃治	ω 3 脂肪酸の栄養化学	BIO INDUSTRY VOL.30, NO.2, 5-10
神代 瞬・徳田 誠	ゴール形成機構解明のモデル実験系としてのイネ科作物とフタテンチビヨコバイ	
徳田 誠	研究対象としてのゴール形成昆虫の魅力	昆虫と自然 VOL.48, NO.13, 2-3
徳田誠	虫こぶ・虫えい 一昆虫がつくる植物の奇形一	農業および園芸 VOL.88, NO.6, 635-646
Tokuda M	Biology of Asphondyliini (Diptera: Cecidomyiidae)	Entomological Science VOL.15, NO.4, 361-383
Hidetaka Kawakita	Metal Recovery Using Polyphenols Prepared by Enzymatic Reactions of Horseradish Peroxidase.	Science and Technology VOL.2, 25-29
Hidetaka Kawakita	Metal Recovery Using Polyphenols Prepared by Enzymatic Reactions of Horseradish Peroxidase.	Science and Technology VOL.2, 25-29

川喜田英孝	酵素反応で合成した機能性ポリフェノールによる貴金属回収	ケミカルエンジニアリング VOL.57, 873 - 877
竹下道範	ジアリールエテン類の高効率フोटクロミック反応 ; 2012年04月	光化学 VOL.43, NO.1, 32
T. Umecky, M. Kanakubo, T. Makino, T. Aizawa, A. Suzuki	Effect of CO2 Dissolution on Electrical Conductivity and Self-diffusion Coefficients of 1-Butyl-3-methylimidazolium Hexafluorophosphate Ionic Liquid	Proceedings of 6th Molecular Thermodynamics and Molecular Simulation
坂口 幸一、藤戸 昭徳、内野 聖子、大竹 亜紗美、明渡 邦夫、江良 正直	高有機溶媒親和性グラフェン誘導体の開発	電子情報通信学会技術研究報告 VOL.112, NO.244, 41 - 44
坂口 幸一、藤戸 昭徳、内野 聖子、大竹 亜紗美、明渡 邦夫、滝澤 登、江良 正直	グラフェン誘導体の開発	応用物理学会 有機分子・バイオエレクトロニクス分科会 会誌 VOL.23, NO.2, 113 - 118

一般講演		
発表者	題目	学会(会議等)名
Shigehisa Aoki, Toshiaki Takezawa, Satoshi Ikeda, Yutaka Narisawa, Shuji Toda:	Creation of a novel wound dressing consisting of collagen vitrigel combined with plastic film.	The 3rd Tissue Engineering & Regenerative Medicine International Society World Congress
久木田明子、市木佑佳、瀧川一平、渡邊敏之、久木田敏夫	細菌感染によって誘導されるマクロファージからの破骨細胞分化促進作用にTNF α は必要か?	第30回日本骨代謝学会
○秋山隆行、宮本比呂志、塚本正紹、江頭秀一、米倉豊、野田岩男、園畑素樹、馬渡正明	「ラット脛骨モデルにおける銀含有ハイドロキシアパタイト溶射インプラントの抗菌性評価 ～X線をういた検討～」	研究集会「人工関節のバイオメカニクスとバイオマテリアル」
○佐野直人、山下佳雄、栗並容子、下平大二、檀上敦、野口信宏、後藤昌昭、谷口初美、宮本比呂志	16S rRNA の遺伝子を用いた菌種同定法による術後性上顎嚢胞内貯留液の細菌叢の検討	第66回NPO法人 日本口腔科学会学術集会
中村朝美、荒金尚子、岩永健太郎、小宮一利、佐藤明美、小林直美、林真一郎、末岡榮三郎、木村晋也	A non-invasive system for monitoring resistance to EGFR tyrosine kinase inhibitors with plasma DNA	第9回日本臨床腫瘍学会学術集会
*Iwasaki Y, Fujio K, Okamura T, Yanai A, Sumitomo S, Shoda H, Tamura T, Yoshida H, Yamamoto K	A novel IL-27 signaling pathway mediated by Egr-2 regulates IL-10 production in naive T cells.	第41回日本免疫学会学術集会
Yasaka T, Tiong SY, Polgár E, Fujita T, Kumamoto E, Todd AJ	A possible neuronal circuit for relaying low-threshold mechanoreceptive input to lamina I projection neurons in the rat spinal cord.	The 14th World Congress on Pain
Matsushita A, Fujita T, Mizuta K, Kawasaki H, Jiang C-Y, Xu N-X, Liu T, Ohtsubo S, Kosugi T, Masuko S, Kumamoto E	A traditional Japanese medicine daikenchuto inhibits compound action potentials of frog sciatic nerves.	Neuroscience 2012: Society for Neuroscience 42nd Annual Meeting
Hara H, Nakaya M, Miichi F, Iizasa E, Denda-Nagai K, Irimura T, Adachi Y, Ohno N, Yoshida H	Activation of innate immunity through Syk-CARD9-Bcl10 signaling pathway is involved in control of Leishmania major infection.	The 5th Immunoparasitology Meeting
Uematsu T, Iizasa E, Kobayashi N, Yoshida H, Hara H	Activation of innate immunity through the CARD9 pathway is involved in severe influenza pneumonia.	第41回日本免疫学会学術集会

Yoshida H, Hara H, Nakaya M, Fumika M, Kubota M	Activation of the Syk-CARD9-Bcl10-mediated novel innate immune system is critically involved in defense against Leishmania major Infection.	The 10th Joint Annual Meeting of ISC and ISICR
Kubota Y, Ichinohe T, Yoshimura M, Itamura H, Hisatomi T, Fukushima N, Sueoka E, Matsuzaki M, Sano M, Kimura S.	Acute myeloid leukemia with t (3;8)(q26;q24) and monosomy 7 complicated with diabetes insipidus	第 74 回日本血液学会学術集会
久保洋、北島吉彦、甲斐敬太、中村淳、三宅修輔、柳原五吉、森戸清人、田中智和、井手貴雄、古賀靖大、能城浩和	ANGPTL4 は胃癌において HIF-1 α と独立した低酸素誘導を受け、予後良好の因子となる	第 71 回日本癌学会学術総会
Yokoo M, Kubota Y, Mochinaga S, Maeda A, Ichinohe T, Fujito H, Higashi T, Motoyama K, Arima H, Irie T, Kimura S	Antiproliferative Effect of 2-Hydroxypropyl- β -Cyclodextrin (HP- β -CyD) Against Chronic Myeloid Leukemia In Vitro and In Vivo	The 54th Annual Meeting of the American Society of Hematology
*Megumi Oho, Zenzo Nagasawa, Koji Kusaba, Takanori Higashitani, Shoitiro Ohta, Eisaburo Sueoka, Hiroshi Miyamoto	Application of MALDI-TOF MS-based strain typing for characterization of epidemiological relationships among bacterial strains	12th Meeting of Asian Society of Clinical Pathology and Laboratory Medicine
Miyazaki H, Higashimoto K, Yada Y, Komori T, Matsuda M, Koseki Y, Nakayama M, Soejima H, Handa H, Koseki H, Hirose S, Nishioka K	Ash11 Methylates Histone H3 Lys36 Independent of Transcriptional Elongation to Counteract the Polycomb Silencing	Cold Spring Harbor Meeting-Asia 2012 (Epigenetics, Chromatin & Transcription)
前田寿幸、城崎幸介、八木ひとみ、東元 健、副島英伸	Beckwith-Wiedemann 症候群エピ変異症例におけるインプリント DMR の網羅的メチル化解析	日本人類遺伝学会第 57 回大会
前田寿幸、城崎幸介、八木ひとみ、東元 健、副島英伸	Beckwith-Wiedemann 症候群エピ変異症例のゲノム網羅的 DNA メチル化解析	第 6 回日本エピジェネティクス研究会年会
大塚泰史、城崎幸介、前田寿幸、八木ひとみ、東元 健、副島英伸	Beckwith-Wiedemann 症候群における片親性父性ダイソミーの多様性と臨床症状との関連	日本人類遺伝学会第 57 回大会
*大町和美、三島祐子、松田圭子、副島英伸、岡本伸彦	Beckwith-Wiedemann 症候群の遺伝カウンセリング	第 36 回日本遺伝カウンセリング学会学術集会
Nakayama K, Sakuma M, Node K, Morita S, Noguchi R.	Bio Rapid Prototyping Project for Cardiovascular Regeneration: A Simple Method to Build Scaffold Free Living 3D Micro Patterned Cell Construct.	第 76 回日本循環器学会学術集会
小宮一利	c-Myc 標的分子 Mina53 の肺癌抑制機構の解明	第 53 回日本肺癌学会総会
*Kimura D, Miyakoda M, Honma K, Kimura K, Hara H, Yoshida H, Yui K	CD4 T cells produce EBI-3+ cytokine inhibiting their own protective immune responses during infection with malaria parasites.	第 41 回日本免疫学会学術集会
Yokoo M, Kubota Y, Ichinohe T, Kimura S	Combination Effects of Nilotinib and Zoledronic Acid On Chronic Myeloid Leukemia Are Canceled in the Co-Culture System Which Mimic the Bone Marrow Microenvironment	The 54th Annual Meeting of the American Society of Hematology
○佐野直人、福田和正、山下佳雄、後藤昌昭、谷口初美、宮本比呂志	Comprehensive analysis of bacterial flora in POMC fluid by 16S rRNA-based methods	第 85 回日本細菌学会総会

Hara H, Yasukawa S, Furue M, Yoshida H	Contact allergy to chemical sensitizers requires innate immune activation by coupling of the ITAM-Syk-CARD9 pathway and NLRP3 inflammasome.	The 12th Biennial International Endotoxin and Innate Immunity Society Meeting.
村田 祐造、八坂 敏一、原 博満、李 明子、藤田 亜美、津田 誠、井上 和秀、熊本 栄一、吉田 裕樹、増子 貞彦	DAP12 および CARD9 ノックアウトマウスによる神経障害痛モデルの組織学的検討.	第 35 回日本神経科学大会
* Nakabayashi K, Trujillo AM, Tayama C, Kagami M, Soejima H, Ogata T, Monk D, Hata K.	DNA methylation analysis of reciprocal genome-wide UPDs to define imprinted differentially methylated regions in the human genome.	The American Society of Human Genetics 62nd Annual Meeting
久富崇、荒金尚子、佐藤明美、出勝、木村晋也、末岡榮三朗	DNA依存性プロテインキナーゼを標的とした成人T細胞性白血病／リンパ腫(ATL)治療の試み	第 8 回麒麟塾
Kawakami K, Takahashi Y, Yamamoto H, Nakamura Y, Ishii K, Hara H	Earlier protective response and milder clinical course of Mycobacterium bovis BCG infection in mice lacking an adapter molecule CARD9	IMMUNOLOGY 2012 meeting
Xu N-X, Fujita T, Jiang C-Y, Matsushita A, Ohtsubo S, Yasaka T, Mizuta K, Liu T, Kumamoto E	Effects of cineole on spontaneous excitatory synaptic transmission in adult rat spinal substantia gelatinosa neurons.	Neuroscience 2012: Society for Neuroscience 42nd Annual Meeting
Matsumoto A	Effects of ethanol consumption on liver tissue, the role of ALDH2	The 15th International Symposium of Society for Aldh2 Knockout Mouse Research
Tanaka A, Yuasa S, Node K, Fukuda K.	Endothelin-1 Has a Pivotal Role in Contraction Variability in Hypertrophic Cardiomyopathy-Induced Pluripotent Stent Cell-Derived Cardiomyocytes.	The 29th Annual Meeting of the International Society for Heart Research
Liu T, Chen X, Zhang D-Y, Jiang C-Y, Fujita T, Kumamoto E	Enhancement by interleukin-1 β of AMPA and NMDA receptor-mediated currents in adult rat spinal superficial dorsal horn neurons.	Neuroscience 2012: Society for Neuroscience 42nd Annual Meeting
Kumamoto E, Fujita T, Yue H-Y, Inoue M, Yang L, Jiang C-Y, Mizuta K, Xu N-X	Enhancement of spontaneous L-glutamate release by plant-derived TRP agonists in rat spinal substantia gelatinosa neurons.	The 10th Korea-Japan Joint Symposium on Brain Sciences, and Cardiac and Smooth Muscles
Oyama J, Komoda H, Node K, Makino N	Epigallocatechin gallate attenuates the progression of heart failure induced by heart/muscle-specific deletion of Mn-SOD in mice through scavenging free radicals and improving the cardiac chronic inflammation.	American Heart Association 2012
Hara H, Yokosuka T, Ishihara C, Yasukawa S, Hirakawa H, Iizasa E, Yoshida H, Saito T	Essential role for intra- and intermolecular SH3-GUK interactions of CARMA1 in antigen receptor-induced NF-kB and JNK activation.	第 41 回日本免疫学会学術集会
Hisadome K, Teramoto N	Excitatory effects of CCK on GLP-1 releasing neurons are mediated <i>via</i> adrenergic neurons	第 85 回日本薬理学会年会
Rintaro Shimazu, Yuichiro Kuratomi, Akira Inokuchi	Experimental Laryngeal Granuloma in Rats with GERD.	The 116th AAO-HNSF 2012 Annual Meeting & OTO Expo)

Maeda T, Jozaki K, Yatsuki H, Higashimoto K, Soejima H.	Genome-wide quantitative DNA methylation analysis of imprinted DMRs in patients with Beckwith-Wiedemann Syndrome by MALDI-TOF MS technology.	The American Society of Human Genetics 62nd Annual Meeting
Janette M. Rumbajan, Toshiyuki Maeda, Tatsuro Tajiri, Ken Higashimoto, Ryota Souzaki, Tomoaki Taguchi, Hidenobu Soejima, Keiichiro Joh	Genome-wide Screening of Aberrant Methylations of Imprinted DMRs in Hepatoblastomas	第 35 回日本分子生物学会年会
久留 和成, 寺本 憲功	GLP-1 分泌神経細胞の細胞外グルコース応答に関する解析	第65回 日本薬理学会 西南部会
*Trapp S, Hisadome K, Reinmann F, Gribble F	Glucose sensing responses of preproglucagon neurons in nucleus tractus solitarius <i>in vitro</i> .	48th European Association for the Study of Diabetes Annual Meeting
宮崎耕治	Growth factors and receptors 増殖因子と受容体	第 71 回日本癌学会学術総会
東元 健、城崎幸介、八木ひとみ、古庄知己、松原圭子、山田大輔、前田寿幸、大塚泰史、古関明彦、緒方勤、副島英伸	H19-DMR にメチル化異常を認めたインプリント疾患における H19-DMR の変異解析	日本人類遺伝学会第 57 回大会
Murata Y, Yasaka T, Hara H, Li M, Fujita T, Tsuda M, Inoue K, Kumamoto E, Yoshida H, Masuko S	Histological analysis of spinal dorsal horn of DAP12 or CARD9 knock-out mice with sciatic nerve injured-induced mechanical allodynia	第 35 回日本神経科学大会
Iizasa E, Miyamoto T, Ishikawa T, Ishikawa E, Yamasaki S, Matuzaki G, Yoshida H, Hara H	Identification and functional analysis of novel mycobacterium receptors.	第 41 回日本免疫学会学術集会
小荒田秀一、永尾奈津美、田代知子、末松梨絵、副島幸子、春田善男、大田明英、多田芳史	IgG4 関連疾患とシェーグレン症候群における RP105 陰性 B 細胞の解析	第 21 回日本シェーグレン症候群学会学術集会
*太田伸男, 倉上和也, 鈴木祐輔, 石田晃弘, 和氣貴祥, 出原賢治.	IgG4 関連硬化性疾患におけるペリオスチンおよび TGF-beta の発現.	第 62 回日本アレルギー学会秋季学術大会
Sato Y, Suzuki S, Hara H, Kiasho T, Yoshida H	IL-27 affects immune responses via regulation of prostaglandin E2 production by macrophages.	第 41 回日本免疫学会学術集会
Hirase T, Node K, Yoshida H, Hara H.	Immunoregulatory Cytokine-mediated Inhibition of Vascular Inflammation in Atherosclerosis.	第 76 回日本循環器学会学術集会
Izuhara K	Importance of the interaction between immune and non-immune cells in the pathogenesis of allergic diseases	2012 KAAACI (The Korean Academy of Asthma, Allergy and Clinical Immunology) Annual International Congress, 2012 (Invited Lecture)
KOARADA Syuichi, OHTA Akihide, TADA Yoshifumi,	Increased novel human late B cell subsets of RP105-negative B cells in patients with systemic lupus erythematosus	第41回日本免疫学会学術集会
Matsumoto A, Kitagawa K, Kawamoto T, Vasiliou V, Ichiba M	Induced heme oxygenase and thioredoxine reductase 1 are the potential factors which protect ethanol-exposed liver tissue with inactive ALDH2.	International society for biomedical research on alcoholism
Nurlaely MR, Fukudome K, Tsuneyoshi N, Uleng B, Tsukamoto H, Ohta S, Kimoto M	Inhibition of antibody production <i>in vivo</i> by pre-injection of agonistic anti-TLR4/MD-2 monoclonal antibody before antigen priming is caused by defective B cell priming and not impairment in antigen presentation	第 41 回日本免疫学会学術集会

Rachmawati NM, Fukudome K, Tsuneyoshi N, Bahrn U, Tsukamoto H, Ohta S, Kimoto M.	Inhibition of antibody production in vivo by pre-injection of agonistic anti-TLR4/MD-2 monoclonal antibody before antigen priming is caused not by impairment in antigen presentation but by defective B cell priming.	第 41 回日本免疫学会総会・学術集会
Kawasaki H, Mizuta K, Fujita T, Matsushita A, Ohtsubo S, Jiang C-Y, Xu N-X, Uemura Y, Liu T, Hasuo H, Kumamoto E	Inhibitory actions of menthol-related chemicals on compound action potentials in frog sciatic nerves.	Neuroscience 2012: Society for Neuroscience 42nd Annual Meeting
Hara H, Yasukawa S, Furue M, Yoshida H	Innate immune activation through ITAM-Syk-CARD9 signaling coupling to inflammasome is essential for the development of allergy to organic chemical allergens.	The 10th Joint Annual Meeting of ISC and ISICR
Yasukawa S, Furue M, Yoshida H, H. Hara H	Innate immune activation through ITAM-Syk-CARD9 signaling coupling to NLRP3 inflammasome is essential for the development of allergy to contact sensitizers.	第 41 回日本免疫学会学術集会
Yoshida H, Hirase T, Hiromitsu H, Node K	Interleukin 27 Ameliorates Atherosclerosis by Inhibiting Bone Marrow-Derived Macrophage Activation in Arterial Walls in Mice.	The 8th International Congress on Autoimmunity.
Jiang C-Y, Fujita T, Kawasaki H, Piao L-H, Xu N-X, Matsushita A, Kumamoto E	Inward currents produced by oxytocin in adult rat spinal substantia gelatinosa neurons.	The 10th Korea-Japan Joint Symposium on Brain Sciences, and Cardiac and Smooth Muscles
野口 亮	iPS 細胞と組織工学を用いた次世代型重症心不全治療の開発	第 20 回佐賀心不全研究会
村田祐造, 八坂敏一, 原博満, 李明子, 藤田亜美, 熊本栄一, 吉田裕樹, 増子貞彦	ITAM 関連受容体 KO マウスによる神経障害痛モデルの組織学的検討	第 117 回日本解剖学会総会・全国学術集会
上村聡子, 平川奈緒美, 坂口嘉郎, 熊本栄一, 藤田亜美	JM-1232 (-) はラット脊髄後角膠様質の GABA およびグリシン作動性の抑制性シナプス伝達を促進して鎮痛に働く	日本ペインクリニック学会 第 46 回大会
原博満, 中谷真子, 見市文香, 飯笹英一, 吉田裕樹	Leishmania major に対する自然免疫機構の解析	感染症若手フォーラム
*諸熊由子, 服部佳奈子, 安井彩, 石垣卓也, 吉居真由, 中村みほ子, 山崎美佳, 山下有加, 与賀田聡子, 持丸朋美, 門脇雅子, 清祐麻紀子, 栢森裕三, 康東天	MALDI TOFMS を用いた血液培養由来 Coryneform GPR の菌種同定評価	第 23 回日本臨床化学会九州支部総会 第 57 回日本臨床検査医学会九州地方会 合同学会,
*西田紗央里, 山本景一, 毛利聡子, 大隈雅紀, 池田勝義, 大林光念, 安東由喜雄	MALDI-TOF MS による感染性心内膜炎の原因菌同定	第 23 回日本臨床科学会九州支部総会、第 57 回日本臨床検査医学会九州地方会
*西田紗央里, 山本景一, 毛利聡子, 大隈雅紀, 池田勝義, 大林光念, 安東由喜雄	MALDI-TOF MS による感染性心内膜炎の原因菌同定	第 44 熊本医学検査学会
*Denda-Nagai K, Kurashina R, Hara H, Yoshida H, Irimura T	MGL1-dependent IL-10 induction in colonic macrophages by commensal bacteria is mediated by the Syk-CARD9 pathway.	第 41 回日本免疫学会学術集会
石原 圭子	Mgの電気生理学 (心電学フロンティア 2012 第 47 回理論心電図研究会 炎症と不整脈・Mgの多彩な心筋作用)	第 29 回日本心電学会学術集会

Takezako T, Ishiguro M, Sadashiva K, Baba H, Node K.	Molecular Basis Where by Activated AT1 Receptor Conformation Attenuate Inverse Agonist Efficacy.	第 76 回日本循環器学会学術集会
佐久間理吏, 薦田洋, 下村光洋, 挽地裕, 野出孝一	MRP-8/14 はアテローム性動脈硬化プラークの不安定化を予測するバイオマーカーになりうるか?	第 26 回日本冠疾患学会学術集会
Sakuma M, Inoue T, Komoda H, Hikichi Y, Kotooka N, Taguchi I, Abe S, Toyoda S, Simon D, Node K.	MRP8/14 is a Novel Biomarker for Atherothrombosis.	第 76 回日本循環器学会学術集会
佐久間理吏, 薦田洋, 下村光洋, 挽地裕, 野出孝一	MRP8/14 は不安定プラークのバイオマーカーになりうるか?	第 113 回日本循環器学会九州地方会
* Kurebayashi N, Suzuki T, Shioya T, Murayama T, Sugihara M, Odagiri F, Sakurai T, Daida H, Nakazato Y, Morimoto S.	Multistep electrical remodeling and sudden death precede heart failure in a mouse model of inherited dilated cardiomyopathy.	56th Biophysical Society Annual Meeting
* Suzuki T, Shioya T, Murayama T, Sugihara M, Odagiri F, Nakazato Y, Daida H, Sakurai T, Morimoto S, Kurebayashi N.	Multistep electrical remodeling in inherited DCM heart.	第 85 回日本薬理学会年会
Ishikawa S, Nakabayashi J, Hirata A, Iwakiri R, Okinami S	Neuroprotective effects of siRNA, targeted caspase-9, and atelo-collagen complex on rat retinal damage induced by transient ischemic injury.	The 2012 Association for Research in Vision and Ophthalmology annual meeting
Iwao Noda, Hiroshi Miyamoto, Shuichi Eto, Masatsugu Tsukamoto, Takayuki Akiyama, Yutaka Yonekura, Shunsuke Kawano, Motoki Sonohata, Masaaki Mawatari	NEXT GENERATION ANTIBACTERIAL HA COATING	31st Annual Meeting of the European Bone and Joint Infection Society
Noda I, Miyamoto H, Eto S, Tsukamoto M, Akiyama T, Yonekura Y, Kawano S, Sonohata M, Mawatari M	Next Generation Antibacterial HA Coating-Improvement of stability of the Coating-	The 31st Annual meeting of the European Bone and Joint Infection Society
Kawano H, Masuko S	Origins of nitric oxide pathways to the median preoptic nucleus	第 117 回日本解剖学会総会
Kawano H, Masuko S	Origins of nitric oxide pathways to the median preoptic nucleus	第 117 回日本解剖学会総会・全国学術集会
Jiang C-Y, Fujita T, Xu N-X, Matsushita A, Ohtsubo S, Liu T, Kumamoto E	Oxytocin modulates the membrane excitability of adult rat spinal substantia gelatinosa neurons in a biphasic manner.	Neuroscience 2012: Society for Neuroscience 42nd Annual Meeting
Kito Y	Pacemaker potentials recorded from ICC-MY in the rabbit small intestine.	The VIIth International Symposium on: INTERSTITIAL CELLS OF CAJAL
*Kotobuki Y, Ontsuka K, Shiraishi H, Serada S, Kudo A, Conway SJ, Katayama I, Izuhara K, Naka T.	Periostin, a matricellular protein, accelerates wound repair by activating dermal fibroblasts.	Keystone symposia Conferences 2012 meetings (D1).
Izuhara K	Periostin, a matricellular protein, promotes chronicity of allergic skin inflammation.	第41回日本免疫学会学術集会
東元 健, 前田寿幸, 八木ひとみ, 岡田純一郎, 佐々木健, 吉浦孝一郎, 渡邊順子, 副島英伸	Perlman 症候群における DIS3L2 のエクソン 9 の欠失は LINE-1 間の非同相組換えによって生じる	日本人類遺伝学会第 57 回大会
Izuhara K	Pharmacogenetics	IFCC C-CMBC Committee Activity in Malaysia "MOLECULAR DIAGNOSTICS FOR BEGINNERS", 2012 (Lecture)

塩谷 孝夫	PMCA が媒介する心筋ローカルCa シグナリング	筋生理の集い
塩谷 孝夫	PMCA が媒介する心筋ローカルCa シグナリングと Na/Ca exchanger	生理学研究所研究会「心血管イオンチャンネル・トランスポーター研究の新展開 --基礎研究と臨床研究の融合--」
Oyama J, Shiraki A, Kodama K, Node K.	Possible Protective Role of Incretin Hormones in Cardiovascular Diseases.	第 76 回日本循環器学会学術集会
Piao L-H, Fujita T, Liu T, Jiang C-Y, Mizuta K, Kumamoto E	Presynaptic enhancement by local anesthetics of glutamatergic spontaneous excitatory transmission in rat substantia gelatinosa neurons.	The 10th Korea-Japan Joint Symposium on Brain Sciences, and Cardiac and Smooth Muscles
久木田明子、市木佑佳、瀧川一平、中山浩次、宮本比呂志	RANKL で刺激したマクロファージから <i>P. gingivalis</i> 感染によって誘導される破骨細胞分化における TNF α の役割	第 85 回日本細菌学会総会
久木田明子、市木佑佳、瀧川一平、渡辺敏之、久木田敏夫	RANKL で刺激したマクロファージの <i>Porphyromonas gingivalis</i> 感染は、TNF α に依存しないで破骨細胞分化を促進する	第 11 回西日本骨・関節懇話会
Tsukamoto H, Fukudome K, Takao S, Tsuneyoshi N, Ohta S, Nagai Y, Ihara H, Miyake K, Ikeda Y, Kimoto M	Reduced surface expression of TLR4 by a V254I point mutation may account for the low LPS responder phenotype of BALB/c B cells.	第 85 回日本生化学会大会
Shioya T.	Regulation of cardiac Na/Ca exchanger by PMCA is mediated by local calcium.	第 89 回日本生理学会大会
Oyama J, Maeda T, Komoda H, Node K, Makino N.	Repetitive hyperthermia attenuates progression of left ventricular hypertrophy and increases telomerase activity in hypertensive rats.	European Society of Cardiology Congress 2012
Yasukawa S, Furue M, Yoshida H, Hara H	Role of Card9-mediated signaling in contact hypersensitivity.	The 2nd Eastern Asia Dermatology Congress
*Yamamoto H, Nakamura Y, Takahashi Y, Sato K, Yamamoto N, Ishii K, Hara H, Kawakami K	Role of Card9-mediated signaling in innate-phase IFN- γ production and Th17 differentiation in the host defense to cryptococcal infection.	第 41 回日本免疫学会学術集会
Izuhara K	Serum periostin levels are correlated with decline of pulmonary function in asthma patients.	29th Symposium of the Collegium Internationale Allergologicum.
Yamamoto H, Nakamura Y, Takahashi Y, Sato K, Yamamoto N, Ishii K, Hara H, Kawakami K	Signaling via an adapter molecule CARD9 is essential for the host defense to infection with <i>Cryptococcus neoformans</i> .	IMMUNOLOGY 2012 meeting
* 外木秀文、奥原宏治、飯塚進、高橋伸浩、徳富智明、服部司、太田亨、副島英伸	Silver-Russell 症候群の遺伝学的異常の検討	第 35 回小児遺伝学会学術集会
小荒田秀一、田代知子、末松梨絵、井上久子、大田明英、多田芳史	SLE および自己免疫疾患における自己抗体産生 RP105 陰性 B 細胞上の BCMA/BAFF-R の発現の解析	第 56 回日本リウマチ学会 総会・学術集会
Noguchi R, Nakayama K, Tamura T, Syomura M, Kamohara K, Furukawa K, Oyama J, Node K, Morita S.	Spheroids Based Scaffold-Free Tissue Engineering for Cardiovascular Regeneration	第 29 回国際心臓研究学会(ISHR) 日本部会総会
Kito Y	Spontaneous electrical activity of fibroblast-like cells.	Joint International Neurogastroenterology and Motility meeting

Kawasaki H, Mizuta K, Fujita T, Inoue M, Jiang C-Y, Yasaka T, Yang L, Xu N-X, Matsushita A, Uemura S, Kumamoto E	Structure-activity relationship inhibition of frog Sciatic nerve compound action potentials by menthol and its related compounds.	第 89 回日本生理学会大会
林 良、山口 遼、古賀裕也、藤田 一郎、長田聰史、濱崎雄平、兒玉浩明	Structure-activity relationship of a transmembrane peptide derived from formyl peptide receptor 1.	第 49 回ペプチド討論会
Mi-ichi F, Miyamoto T, Hara H, Yoshida H	Sulfate activation in mitosomes plays an important role in Entamoeba histolytica	The 6th Nagasaki Symposium on Tropical and Emerging Infectious Diseases
Aragane N	Taylor made treatment using monitoring biomarkers for acquired resistance to molecular targeted therapy.	2012 Tumor Microenvironment GCRC International Symposium
Shiraki A, Oyama J, Komoda H, Node K.	The Glucagon-like Peptide 1 Analog Liraglutide Reduces TNF- α -induced Oxidative Stress and Inflammation in Endothelial Cells.	第 44 回日本動脈硬化学会総会・学術集会
Shiraki A, Oyama J, Komoda H, Node K.	The glucagon-like peptide 1 analog liraglutide reduces TNF- α -induced oxidative stress and inflammation in endothelial cells.	The 61st Annual Scientific Session of ACC
Katagiri N, Shobuike T, Miyamoto H.	The human apoptosis inhibitor NAIP induces pyroptosis in macrophages infected with L. pneumophila.	第 85 回日本細菌学会総会
○Tsukamoto M, Miyamoto H, Ando Y, Noda I, Etou S, Akiyama T, Yonekura Y, Sonohata M, Mawatari M	The hydroxyapatite coating containing silver continuously inhibits the biofilm formation in a flow condition of fetal bovine serum.	25th Annual congress of International Society for Technology in Arthroplasty
○Taniguchi K, Arima K, Masuoka M, Shiraishi H, Ohta S, Ontsuka K, Suzuki S, Hamasaki Y, Izuhara K.	The IL-1 α /periostin/IL-6 axis contributes to the keratinocyte proliferation and differentiation in atopic dermatitis.	29th Symposium of the Collegium Internationale Allergologicum.
Ohtsuka Y, Jozaki K, Maeda T, Yatsuki H, Higashimoto K, Soejima H.	The relationship between paternal uniparental disomy and clinical features in patients with Beckwith-Wiedemann syndrome.	The American Society of Human Genetics 62nd Annual Meeting
Sueoka E, Ide M, Sueoka-Aragane N, Sato A, Nakamura H, Sotomaru Y, Taya C, Yonekawa H, Nakachi K, Kubota Y, Kimura S, Tanimoto K	The role of hypoxia inducible factors on maintenance of hematopoietic stem cells and leukemogenesis	2012 Tumor Microenvironment GCRC International Symposium
Xia JingHe, 尾崎岩太, 松橋幸子, 齊ジンヤン, 岩根紳治, 高橋宏和, 江口有一郎, 水田敏彦, 安西慶三	Vitamin K2 inhibits HIF-1 α activity by suppressing PKC- δ in normoxic but not hypoxic level in hepatocellular carcinoma cells.	第 35 回日本分子生物学会年会
Xia J, Matsuhashi S, Hamajima H, Iwane S, Takahashi H, Mizuta T, Fujimoto K, Anzai K, Ozaki I	Vitamin K2 suppresses NF- κ B activation by inhibiting PKC signaling pathways in human hepatocellular carcinoma cells.	The 5th International Symposium for Future Technology Creating Better Human Health and Society
*李銀姫、久木田明子、久木田敏夫	WT1 アンチセンス RNA の成熟破骨細胞に於ける高発現と分化制御機能	第 117 回日本解剖学会総会
*久木田敏夫、李銀姫、久木田明子、	WT1 アンチセンス RNA の成熟破骨細胞に於ける高発現と分化制御機能	第 11 回西日本骨・関節懇話会
三宅修輔、井手貴雄、中村淳、田中智和、森戸清人、久保洋、古賀靖大、北島吉彦、能城浩和	アノキス関連遺伝子 HMGA1 を介した胃癌腹膜播種成立機序	第 112 回日本外科学会定期学術集会

出原賢治	アレルギー炎症の慢性化における IL-4/IL-13-ペリオスチン経路の重要性.	第 62 回日本アレルギー学会秋季学術大会
出原賢治, 宮本昭正	アレルギー疾患の診断・治療における特異的 IgE 抗体の微量および高値測定の意義—基礎的性能評価—	第 62 回日本アレルギー学会秋季学術大会
大坪 瀬奈, 川崎 弘貴, 藤田 亜美, 松下 晋大, 蔭 昌宇, 羅 清甜, 康 欽, 熊本 栄一	アロマ精油成分による蛙坐骨神経の複合活動電位の抑制.	第 63 回西日本生理学会
岩根紳治, 岡田倫明, 磯田広史, 中下俊哉, 高橋宏和, 河口康典, 江口有一郎, 尾崎岩太, 水田敏彦	インスリン抵抗性を指標とした PEG-IFN+RBV の 2 剤併用で治癒できる難治性 C 型慢性肝炎症例の抽出	第 16 回日本肝臓学会大会
岩根紳治, 水田敏彦, 岡田倫明, 磯田広史, 中下俊哉, 高橋宏和, 江口有一郎, 尾崎岩太, 安西慶三	インスリン抵抗性を指標とした PEG-IFN+RBV の 2 剤併用で治癒可能な難治性 C 型慢性肝炎の選別	第 48 回日本肝臓学会総会
鬼頭 佳彦, 寺本 憲功	ウサギ小腸ペースメーカー電位発生機序の解明	第65回 日本薬理学会 西南部会
蔭 昌宇, 藤田 亜美, 徐 年香, 八坂 敏一, 松下 晋大, 熊本 栄一	オキシトシンは成熟ラット脊髄膠様質ニューロンの膜興奮性を二相性に制御する.	第 35 回日本神経科学大会
熊本 栄一, 藤田 亜美, 松下 晋大, 大坪 瀬奈, 蔭 昌宇, 羅 清甜, 康 欽	オピオイドの末梢神経に対する作用: 神経生理学の立場から.	第 22 回日本病態生理学会.
水田 恒太郎, 藤田 亜美, 蔭 昌宇, 楊 柳, 川崎 弘貴, 松下 晋大, 八坂 敏一, 柳 涛, 徐 年香, 熊本 栄一	オピオイドはその受容体活性化なしにラット後根神経節ニューロンの活動電位を抑制する.	第 89 回日本生理学会大会
*成松加奈子, 李銀姫, 久木田明子, 屈鵬飛, 渡邊敏之, 高橋一郎, 久木田敏夫	ガレクチン9による破骨細胞分化制御	第 54 回歯科基礎医学会総会
甲斐敬太	肝腫瘍	第 326 回 九州・沖縄スライドコンファレンス
森永 秀孝, 寺本 憲功	肝臓のインスリン抵抗性におけるクッパー細胞の影響	第65回 日本薬理学会 西南部会
増田正憲 甲斐敬太 明石道昭 高瀬ゆかり 徳永藏	結節性多発動脈炎の腎血管の形態学的、免疫組織学的所見とその局在性の検討	第 101 回日本病理学会総会
副島英伸	ゲノム・エピゲノム解析による間葉性異形成胎盤の原因遺伝子探索の現状	熊本大学医学部産婦人科セミナー
副島英伸	ゲノムインプリンティングとヒト疾患—ベックウィズ・ビーデマン症候群と間葉性異形成胎盤の解析を中心に	第8回遺伝医学セミナー
荒金尚子	講演: 血漿遊離 DNA を用いた EGFR チロシンキナーゼ阻害剤効果モニタリングシステム	アークレイ遺伝子検査セミナー
*牧内貴志, 見市文香, 津久井久美子, 野崎智義	高度に進化した Entamoeba マイトソームにおけるタンパク質輸送機構	第 81 回日本寄生虫学会大会
青木 茂久, 竹澤 俊明, 池田 聡, 成澤 寛, 石田 猛, 平山 博, 戸田 修二	コーゲンビトリゲル薄膜を利用した新規創部被覆剤の開発.	第 11 回日本再生医療学会総会
上田 修	質量分析法を用いた次世代の同定技術 =MALDIハイパーの可能性について=	石川県医学検査学会ランチョンセミナー
徐 年香, 藤田 亜美, 蔭 昌宇, 羅 清甜, 康 欽, 松下 晋大, 大坪 瀬奈, 熊本 栄一	シネオールは成熟ラット脊髄後角膠様質ニューロンの自発性興奮性シナプス伝達を促進する.	第 63 回西日本生理学会

甲斐敬太	小腸病変	第329回 九州・沖縄スライドコンファレンス
高瀬ゆかり 金城 満 長嶋洋治 徳永藏 入江康司	腎 tubulocystic carcinoma の一例	第101回日本病理学会総会
西田裕一郎、桧垣靖樹、田口尚人、原めぐみ、中村和代、南里妃名子、今泉猛、坂本龍彦、堀田美加子、新地浩一、田中恵太郎	身体活動が血中IL-6, IL-8, IL-15, TNF- α に及ぼす影響	第22回日本疫学会学術総会
久保洋、北島吉彦、中村淳、三宅修輔、田中智和、柳原五吉、井手貴雄、古賀靖大、能城浩和	スキルス胃癌腹膜播種に關与するHIF1 α ターゲット遺伝子の同定	第112回日本外科学会定期学術集会
○蔣 昌宇、藤田亜美、水田恒太郎、井上将成、川崎弘貴、徐年香、松下晋大、柳 涛、熊本栄一	成熟ラット脊髄膠様質ニューロンに及ぼすオキシトシンの作用	第34回脊髄機能診断研究会
井上将成、藤田亜美、青山貴博、山下佳雄、後藤昌昭、熊本栄一	成熟ラット脊髄膠様質ニューロンの興奮性シナプス伝達に及ぼすオイゲノール作用-痛み制御の役割	第66回NPO法人日本口腔科学会学術集会
甲斐敬太 増田正憲 徳永藏	胆嚢癌におけるE-cadherinの発現と炎症細胞浸潤との関係	第101回日本病理学会総会
清祐麻紀子	チームで行う医療関連院内感染対策 医療関連感染対策における臨床検査技師の役割	第27回日本環境感染学会総会
*屈鵬飛、久木田明子、李銀姫、渡邊敏之、成松加奈子、久木田敏夫	デオキシアデノシンはメソトレキセートによる破骨細胞分化阻害及び炎症性骨破壊抑制を解除する	第54回歯科基礎医学会総会
徳永藏 増田正憲 甲斐敬太 高瀬ゆかり 明石道昭 木戸伸一	デジタルパソロジー実習3年間の経験と今後の展望	第101回日本病理学会総会
増田正憲、高瀬ゆかり、甲斐敬太、徳永藏	デジタルパソロジー実習とその後の問題点	第11回日本テレパソロジー・バーチャルマイクロスコピー研究会
増田正憲	乳腺腫瘍	第330回 九州・沖縄スライドコンファレンス
*李銀姫、渡邊敏之、高橋明、久木田明子、瀧口総一、井口東朗、久木田敏夫	ノルジヒドログアイナレチン酸(NDGA)による人肺癌骨転移制御	第30回日本骨代謝学会
中村朝美、荒金尚子、岩永健太郎、小宮一利、佐藤明美、小林直美、林真一郎、末岡榮三郎、木村晋也	肺癌患者血漿DNAを用いたEGFR T790M変異の全自動検出系の確立	第52回日本肺癌学会総会
高松裕一郎、前田寿幸、松尾宗明、東元健、河島雅到、松島俊夫、副島英伸	パイロシーケンス法を用いたもやもや病感受性遺伝子RNF213のc.14576G>A多型解析	日本脳神経外科学会第71回学術総会
西田裕一郎	人の代謝	佐賀アミノバリューランニングクラブ講演会
本田裕子、荒川友貴、安藤祥司、小池謙造、成澤寛、増子貞彦	ヒトヘアケラチン中間径フィラメント形成特性の解析	第20回毛髪科学研究会
井原秀之、花島慎弥、塚本宏樹、山口芳樹、谷口直之、池田義孝	ヒト及び根瘤菌 α 1,6-fucosyltransferaseを用いたジフコシル化キトオリゴ糖の合成	第85回日本生化学会大会
甲斐敬太	皮膚腫瘍	第325回 九州・沖縄スライドコンファレンス
藤田 亜美、楊 柳、蔣 昌宇、水田 恒太郎、八坂 敏一、川崎 弘貴、柳 涛、徐 年香、松下 晋大、熊本 栄一	ピペリンはTRPV1活性化により成熟ラット脊髄後角膠様質ニューロンへのグルタミン酸の自発放出を促進する。	第89回日本生理学会大会

青木 茂久, 竹澤 俊明, 池田 聡, 成澤 寛, 石田 猛, 平山 博, 戸田 修二	プラスチックフィルム付属型コラーゲンビトリゲル薄膜による新規創部被覆材の開発.	第 33 回日本炎症・再生学会
青木 茂久, 竹澤 俊明, 内橋 和芳, 松延 亜紀, 山崎 文朗, 山本 美保子, 薬師寺 舞, 杉原 甫, 戸田 修二	プラスチック保護膜付属型コラーゲンビトリゲル薄膜による皮膚再生.	第 101 回 日本病理学会総会
藤本美樹、北島健貴、林 良、藤田 一郎、浜崎雄平、長田聰史、兒玉浩明	ホルミルペプチド受容体アンタゴニスト Boc-FIFIF-OH の 1 位 Bpa 残芳香環が阻害活性に与える影響.	2012 年日本化学会西日本大会
楊 柳, 藤田亜美, 蔣 昌宇, 水田恒太郎, 井上将成, 川崎弘貴, 徐 年香, 松下晋大, 柳 涛, 熊本栄一	ラット脊髄膠様質ニューロンの自発性興奮性シナプス伝達に及ぼすピペリンとオルバニルの作用の差	第 34 回脊髄機能診断研究会
鬼頭 佳彦, 寺本 憲功	ラット結腸輪走筋の収縮反応に対する半夏瀉心湯および桂枝加芍薬湯による抑制効果の比較解析	第85回 日本薬理学会年会
八坂 敏一、Tiong SY, Polgar E, 藤田 亜美、熊本 栄一、Todd AJ	ラット脊髄において低閾値機械受容入力を第 I 層投射細胞に中継している第 II 層興奮性介在ニューロン.	第 35 回日本神経科学大会
八坂 敏一、Tiong SY, Polgár E、藤田 亜美、熊本 栄一、Todd AJ	ラット脊髄後角内で VGLUT1 免疫陽性神経終末とコンタクトを持つ II 層興奮性介在ニューロンの解析.	第 89 回日本生理学会大会
李明子, 村田祐造, 増子貞彦	ラット脊髄終止の二次神経管形成後から成体までの形成過程	第 117 回日本解剖学会総会・全国学術集会
熊本 栄一、徐 年香、藤田 亜美、蔣 昌宇、柳 涛、松下 晋大、大坪 瀨奈	ラット脊髄膠様質ニューロンの自発性興奮性シナプス伝達に及ぼすシネオールの促進作用.	平成 24 年度生理研研究会 第 8 回 TRP チャネル研究会
楊 柳、藤田 亜美、蔣 昌宇、水田 恒太郎、井上 将成、川崎 弘貴、徐 年香、松下 晋大、柳 涛、熊本 栄一	ラット脊髄膠様質ニューロンの自発性興奮性シナプス伝達に及ぼすピペリンとオルバニルの作用の差.	第 34 回脊髄機能診断研究会
吉田裕樹, 原博満, 見市文香	リーシュマニア原虫に対する自然免疫機構の解明	第 81 回日本寄生虫学会大会
枝川亜希子, 木村明生, 田中榮次, 足立伸一, 宮本比呂志	レジオネラ属菌を検出するためのアメーバ共培養法に関する検討	日本防菌防黴学会
島津倫太郎, 倉富勇一郎, 青木 茂久, 井之口昭	胃酸逆流と喉頭肉芽腫—動物モデルを用いた検討—	第 64 回日本気管食道科学会総会ならびに学術講演会
青木 茂久, 牧野 順一, 野口 満, 戸田 修二	一過性の流体刺激が及ぼす中皮細胞動態への遷延効果 流体刺激は遅発性被嚢性腹膜硬化症の原因か.	第 57 回 日本透析医学会学術集会・総会
青木 茂久, 野口 満, 牧野 順一, 戸田 修二	一過性流体刺激は刺激中断後も腹膜中皮細胞に遷延性効果を及ぼす 遅発性被嚢性腹膜硬化症の克服を目指して.	第 55 回日本腎臓学会学術総会
松下 晋大、藤田 亜美、蔣 昌宇、上村 祐平、八坂 敏一、小杉 寿文、熊本 栄一	蛙坐骨神経の複合活動電位に及ぼす漢方薬の作用.	第 34 回日本疼痛学会
川崎 弘貴、水田 恒太郎、藤田 亜美、井上 将成、蔣 昌宇、八坂 敏一、楊 柳、徐 年香、松下 晋大、上村 聡子、熊本 栄一	蛙坐骨神経の複合活動電位のメントールおよびその関連物質による抑制の構造活性連関.	第 89 回日本生理学会大会
松下 晋大、藤田 亜美、水田 恒太郎、川崎 弘貴、蔣 昌宇、上村 祐平、八坂 敏一、徐 年香、小杉 寿文、熊本 栄一	漢方薬は蛙坐骨神経の複合活動電位を抑制する.	第 35 回日本神経科学大会
松下晋大、藤田亜美、大坪瀨奈、蔣昌宇、羅清甜、康欽、熊本 栄一	漢方薬は蛙坐骨神経の複合活動電位を抑制する.	第 63 回西日本生理学会

副島英伸、Janette Rumbajan、前田寿幸、東元 健、宗崎良太、田口智章、田尻達郎	肝芽腫におけるインプリント DMR メチル化異常のゲノムワイド検索	日本人類遺伝学会第 57 回大会
Janette M. Rumbajan、前田寿幸、田尻達郎、東元 健、宗崎良太、田口智章、副島英伸、城圭一郎	肝芽腫におけるインプリント DMR 異常メチル化のゲノムワイド検索	第 6 回日本エピジェネティクス研究会年会
副島英伸、東元 健、田尻達郎	肝芽腫におけるメチル化インプリント DMR のゲノムワイド検索	第 71 回日本癌学会学術総会
○尾崎岩太、夏京合、松橋幸子、齊ジンヤン、岩根紳治、高橋宏和、江口有一郎、水田敏彦	肝細胞癌での NF- κ B 活性化における protein kinase C isoform の役割	第 48 回日本肝臓学会総会
甲斐 敬太、三好 篤	肝細胞癌切除例における肝炎ウイルス感染と肝外原発重複癌の関係について	第 20 回 日本消化器関連学会週間(JDDW)、第 16 回日本肝臓学会大会
出原賢治	間質性肺炎の新規バイオマーカー:ペリオスチン.	第 52 回日本臨床化学学会年次学術集会
島津倫太郎	巨大耳下腺癌の 1 例	「耳の日」講演会
永瀬浩太郎、古場慎一、成澤寛、池田聡、青木茂久、戸田修二	共培養系を用いたメルケル細胞癌と有棘細胞癌の細胞間相互作用の検討	第 16 回九州基礎皮膚科研究会
*野田岩男、安藤嘉基、宮本比呂志、塚本正紹、秋山隆行、米倉豊、河野俊介、園畑素樹、馬渡正明	銀含有ハイドロキシアパタイト溶射技術の開発第 6 報	第 42 回日本人工関節学会
○塚本正紹、宮本比呂志、安藤嘉基、野田岩男、江頭秀一、秋山隆行、米倉豊、園畑素樹、馬渡正明	銀含有ハイドロキシアパタイト溶射被膜はバイオフィルム形成を阻害する～流動環境下での評価～	人工関節のバイオメカニクスとバイオマテリアル
○塚本正紹、宮本比呂志、安藤嘉基、野田岩男、秋山隆行、米倉豊、園畑素樹、馬渡正明	銀系抗菌生体材料の開発 —牛血清流動環境下における銀 HA 溶射被膜のバイオフィルム形成阻害作用の持続性の評価—	第 35 回 日本骨関節感染症学会
○塚本正紹、宮本比呂志、安藤嘉基、野田岩男、秋山隆行、米倉豊、園畑素樹、馬渡正明	銀系抗菌生体材料の開発 — 銀 HA 溶射被膜のバイオフィルム形成阻害作用の持続性の検討—	第 42 回 日本人工関節学会
野田岩男、安藤嘉基、宮本比呂志、塚本正紹、秋山隆行、米倉豊、河野俊介、園畑素樹、馬渡正明	銀系抗菌生体材料の開発(第 6 報)	第 35 回日本骨・関節感染症学会
西田裕一郎	軽い運動の効用 —分子生物学と疫学の視点から—	佐賀県医師会健康スポーツ医部会市民公開講座
西田裕一郎	軽運動でメタボ予防!	健康診断事後措置に関する講演(佐賀大学鍋島地区)
西田裕一郎	軽運動のすすめ —ミトコンドリア遺伝子を刺激する運動—	平成 24 年度九州歯科大学佐賀県同窓会総会
飯笹英一、宮本智文、石川哲章、山崎晶、松崎吾朗、吉田裕樹、原博満	結核菌を認識する新規骨髄系 ITAM 受容体の同定およびそのリガンドの探索.	第 77 回日本インターフェロン・サイトカイン学会学術集会
*諸熊田子、門脇雅子、中村みほ子、山下有加、与賀田聡子、持丸朋美、三宅典子、清祐麻紀子、永沢善三、宮本比呂志	血液培養由来 Coryneform GPR に対する詳細な菌種同定と臨床的判断の試み	第 23 回日本臨床微生物学会総会
尾山純一、野出孝一	血管機能評価と病態における酸化ストレス及び一酸化窒素の関与	第 12 回日本 NO 学会学術集会

寺本 憲功	血管新生を誘導する siRNA と ナノ薬物送達法による革新的低侵襲性治療法 の創成	最先端・次世代研究開発 支援プログラム発表会
中村朝美、荒金尚子、岩永健太 郎、小宮一利、小林直美、林真 一郎、木村晋也	血漿DNAを用いたEGFR活性化型変異モニタ リングシステムの確立	第 52 回日本肺癌学会九州支部総 会. 第 35 回日本呼吸器内視鏡学会九 州支部総会
中村朝美、荒金尚子、岩永健太 郎、末岡栄三朗、木村晋也	血漿DNAを用いた非侵襲的EGFR活性化型変 異モニタリングシステムの確立	第 16 回日本がん分子標的治療学 会
古賀脩一郎、北島健貴、林 良、 藤田一郎、浜崎雄平、長田聰 史、兒玉浩明	好中球走化性因子ホルミルペプチド fMLP の二 量化におけるリンカー部位の影響.	2012 年日本化学会西日本大会
馬渡正明、野田岩男、秋山隆行、 塚本正紹、宮本比呂志	抗菌性生体材料の臨床応用に向けて-銀含有 ヘイドロキシアパタイトコーティングの開発-	第 27 回日本整形外科学会基礎学 術集会
米倉豊、宮本比呂志、島崎貴文、 秋山隆行、塚本正紹、野田岩男、 安藤嘉基、園畑素樹、馬渡正明	抗菌能を有する銀含有ヘイドロキシアパタイトコ ーティング	第 86 回日本整形外科学会学術総 会
山本 美保子、小池 英介、鈴木 幸一、米満 伸久、小池 則雅、 戸田 修二	甲状腺細胞と脂肪細胞の組織間相互作用 甲 状腺-脂肪組織基軸に関する展望 (Thyocyte-adipose tissue interaction: A perspective on thyroid-adipose axis)	第 85 回日本内分泌学会学術総会
内橋 和芳、松延 亜紀、山本 美 保子、薬師寺 舞、青木 茂久、 小池 英介、米満 伸久、戸田 修 二	骨芽細胞-骨細胞分化系列解析モデルの確立	第 85 回日本内分泌学会学術総会
内橋 和芳、青木 茂久、松延 亜 紀、山本 美保子、薬師寺 舞、 山崎 文朗、米満 伸久、戸田 修 二	骨芽細胞の 3 次元コラーゲンゲル培養における 増殖、分化、アポトーシスの検討	第 101 回 日本病理学会総会
林 久雄、中尾佳史、山崎文朗、 西山 哲、橋口真理子、野口光 代、相原聡美、横山正俊、岩坂 剛	最近経験した dissecting leiomyoma の 2 症例.	第 52 回日本婦人科腫瘍学会学術 講演会
寺本 憲功	最新の泌尿器科領域の 薬物治療	第66回 佐賀県泌尿器科 懇話会
福田亜紗子、野口光代、橋口真 理子、安永牧生、内山倫子、中 尾佳史、金井督之、山崎文朗、 横山正俊、岩坂 剛	子宮体部に発生した小細胞癌の一例.	第 53 回日本臨床細胞学会総会 (春期大会)
相原聡美、中尾佳史、橋口 真理 子、西山 哲、野口光代、横山正 俊、岩坂 剛	子宮頸部腺癌に対するドセタキセル・シスプラチ ンを用いた化学放射線療法の臨床的検討.	第 50 回日本癌治療学会学術集会
青木 茂久	脂肪細胞研究の手法.	第 33 回日本肥満学会
松延 亜紀、薬師寺 舞、山本 美 保子、内橋 和芳、青木 茂久、 米満 伸久、戸田 修二	脂肪組織-肝細胞相互作用解析モデルの確立	第 16 回日本内分泌病理学会学 術総会
松延亜紀、薬師寺舞、山本美保 子、内橋和芳、青木茂久、米満 伸久、戸田修二	脂肪組織が、肝細胞の生存・増殖・分化・脂肪 毒性に及ぼす影響	第 85 回日本内分泌学会学術総会
野田岩男、安藤嘉基、宮本比呂 志、江頭秀一、塚本正紹、秋山 隆行、米倉豊、河野俊介、園畑 素樹、馬渡正明	次世代型抗菌性 HA コーティング (第 5 報)	第 27 回日本整形外科学会基礎学 術集会

*藤本陽子、石井 美奈、幸史子、大隈雅紀、堀尾桃子、宮川寿一、川口辰哉	自動蓄尿装置の廃止を含めた蓄尿の見直しへの取り組み	27 回日本環境感染学会総会
清祐 麻紀子、与賀田 聡子、山崎 美佳、山下 有加、持丸 朋美、諸熊 由子、堀田 多恵子、康 東天	質量分析計 MALDI Biotyper を用いた、血液培養陽性ボトルからの迅速同定法の検証	平成 24 年度日臨技九州支部医学検査学会(第 47 回)
○於保 恵、永沢 善三、東谷孝徳、太田 昭一郎、末岡 榮三朗、宮本 比呂志	質量分析装置 MALDI バイオタイパーでの同定精度に関する性能評価	第 59 回日本臨床検査医学会学術集会
青木 茂久、竹澤 俊明、池田 聡、成澤 寛、石田 猛、平山 博、戸田 修二	修復と瘢痕形成の分子生物学的制御を目指して コラーゲンビトリゲル薄膜を用いた絆創膏型人工皮膚の開発	第 42 回日本創傷治癒学会
塩谷 孝夫	心筋 PMCA 近傍の [Ca] ²⁺ 分布の数値シミュレーション	第 63 回西日本生理学会
八坂 敏一、村田 祐造、飯笹 英一、池田 弘、津田 誠、園畑 素樹、笹栗 智子、平川 奈緒美、藤田 亜美、熊本 栄一、増子 貞彦、井上 和秀、吉田 裕樹、山崎 晶、原 博満	新規自然免疫活性化受容体の神経障害痛発症における役割 - ノックアウトマウスを用いた行動学的検討 -	平成 24 年度生理学研究所研究会痛み研究の新たな展開
上村 裕平、藤田 亜美、平川 奈緒美、熊本 栄一	神経障害性疼痛治療に使われる各種抗てんかん薬が蛙坐骨神経の複合活動電位に及ぼす作用.	第 34 回日本疼痛学会
○田中 智和、中村 淳、北島 吉彦、甲斐 敬太、三宅 修輔、井手 貴雄、古賀 靖大、能城 浩和、宮崎 耕治	進行胃癌の予後マーカーとしての TFF1 発現意義と発現制御機構に関する検討	第 112 回日本外科学会定期学術集会
蔣 昌宇、藤田 亜美、羅 清甜、康 欽、松下 晋大、大坪 瀬奈、熊本 栄一	成熟ラット脊髄後角膠様質ニューロンにおける自発性の興奮性および抑制性のシナプス伝達に及ぼすオキシトシンの作用.	第 63 回西日本生理学会
蔣 昌宇、藤田 亜美、楊 柳、水田 恒太郎、井上 将成、川崎 弘貴、徐 年香、松下 晋大、柳 涛、熊本 栄一	成熟ラット脊髄膠様質ニューロンに及ぼすオキシトシンの作用.	第 34 回脊髄機能診断研究会
熊本 栄一、蔣 昌宇、藤田 亜美、大坪 瀬奈、羅 清甜、康 欽、松下 晋大	成熟ラット脊髄膠様質ニューロンの GABA およびグリシンを介する自発性抑制性シナプス伝達に及ぼすオキシトシンの促進作用.	平成 24 年度生理学研究所研究会痛み研究の新たな展開
蔣 昌宇、藤田 亜美、楊 柳、水田 恒太郎、川崎 弘貴、八坂 敏一、柳 涛、徐 年香、松下 晋大、熊本 栄一	成熟ラット脊髄膠様質ニューロンのシナプス伝達に及ぼすオキシトシンの作用.	第 89 回日本生理学会大会
井上 将成、藤田 亜美、青山 貴博、山下 佳雄、後藤 昌昭、熊本 栄一	成熟ラット脊髄膠様質ニューロンの興奮性シナプス伝達に及ぼすオイゲノール作用 - 痛み制御の役割.	第 66 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会.
蔣 昌宇、藤田 亜美、羅 清甜、康 欽、松下 晋大、大坪 瀬奈、熊本 栄一	成熟ラット脊髄膠様質ニューロンの自発性抑制性シナプス伝達のオキシトシンによる促進.	第 49 回ペプチド討論会
蔣 昌宇、藤田 亜美、松下 晋大、八坂 敏一、上村 聡子、熊本 栄一	成熟ラット脊髄膠様質ニューロンの抑制性シナプス伝達に及ぼすオキシトシン作用.	第 34 回日本疼痛学会
甲斐 敬太、入江 裕之、井手 貴雄、増田 正憲、北原 賢二、三好 篤、宮崎 耕治、能城 浩和、徳永 藏	膵筋症合胆嚢癌の画像描出像について	第 23 回 日本消化器癌発生学会

* 田山千春、アレックス マーティン、岡村浩司、緒方勤、副島英伸、デビッド モンク、秦健一郎、中林一彦	全ゲノム片親性ダイソミー症例の DNA メチル化解析によるヒトインプリントーム解明	第 35 回日本分子生物学会年会
* 中林一彦、田山千春、Trujillo Alex Martin、岡村浩司、緒方勤、副島英伸、Monk David、秦健一郎	全ゲノム片親性ダイソミー症例の DNA メチル化解析によるヒトインプリントーム解明	日本人類遺伝学会第 57 回大会
* 田山千春、Alejandro Martin Trujillo、緒方勤、副島英伸、David Monk、秦健一郎、中林一彦	全ゲノム片親性ダイソミー症例の DNA メチル化解析によるヒトインプリント遺伝子座位の網羅的解析	第 6 回日本エピジェネティクス研究会年会
野口 亮、中山功一、田村忠士、所村正晴、尾山純一、蒲原啓司、古川浩二郎、野出孝一、森田茂樹	組織工学を用いた次世代下肢救済・再生治療法の開発	第 1 回日本下肢救済・足病学会九州地方会学術集会
*古畑勝則、枝川亜希子、福山正文	足湯からのレジオネラ属菌の分離状況	日本防菌防黴学会
八幡 真弓、高橋 聖子、中屋 来哉、相馬 淳、佐藤 博、青木 茂久	直腸癌術後の化学療法中に発症したネフローゼ症候群の 1 例.	第 55 回日本腎臓学会学術総会
*李銀姫、久木田明子、渡邊敏之、屈鵬飛、久木田敏夫	伝統的秘薬の有効成分ノルジヒドログアイアレンチン酸による炎症性骨破壊制御	日本解剖学会第 68 回九州支部学術集会
*山本景一、大隈雅紀、田中洋子、西田紗央里、戸上美幸、池田勝義 大林光念、安東由喜雄	当院における微生物検査オーダー適正化への取り組み(第一報)	第 59 回日本臨床検査医学会学術集会
*岡元昌樹、川山智隆、坂崎優樹、藤本公則、今岡治樹、大島孝一、白石裕士、内田賢、加藤誠也、太田昭一郎、出原賢治、星野友昭.	特発性間質性肺炎(IIPs)における細胞外マトリックス蛋白ペリオスチンの役割の解析.	第 11 回肺分子病態研究会 2012,1,8.(一般演題)
西田裕一郎	内科的疾患の運動療法 ー理論的背景とトレーニングプログラムー	BISKET-II 他施設共同研究スタートアップ検討会
松延 亜紀、内橋 和芳、青木 茂久、山本 美保子、薬師寺 舞、山崎 文朗、米満 伸久、戸田 修二	内臓脂肪組織は肝細胞に脂肪毒性を誘導する	第 101 回 日本病理学会総会
相原聡美、中尾佳史、橋口真理子、野口光代、横山正俊、岩坂剛	乳癌を合併した卵巣癌症例の臨床的検討.	第 10 回日本臨床腫瘍学会学術集会
相原聡美、橋口真理子、野口光代、中尾佳史、横山正俊、岩坂剛	乳癌を合併した卵巣癌症例の臨床的検討.	第 52 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会.
中村朝美、荒金尚子、岩永健太郎、小宮一利、佐藤明美、小林直美、林真一郎、末岡栄三朗、木村晋也	肺癌患者血漿DNAを用いたEGFR変異T790Mの全自動検出系の確立	第 52 回日本呼吸器学会学術講演会
増田正憲	肺腫瘍	第 327 回 九州・沖縄スライドコンファレンス
甲斐敬太	腹腔内出血をきたした肝腫瘍の一例	第 18 回 佐賀肝疾患研究会
青木 茂久、牧野 順一、野口満、戸田 修二	腹膜透析中止後に、何故、遅発性の被嚢性腹膜硬化症が発症するのか.	第 18 回日本腹膜透析医学会学術集会・総会
岩本悟史、荒川友貴、高田京、井手彩香、本田裕子、小池謙造、増子貞彦、安藤祥司	毛髪と水晶体に特異的な中間径フィラメント蛋白質の機能解析	2012 年日本化学会西日本大会

*舟久保立、久木田敏夫、松原麗、石丸和也、中村誠司、久木田明子	網羅的遺伝子発現解析による破骨細胞の分化と融合に関わる遺伝子の探索	第 35 回日本分子生物学会年会
○塚本正紹、宮本比呂志、安藤嘉基、野田岩男、江頭秀一、秋山隆行、米倉豊、園畑素樹、馬渡正明	流動環境における銀含有ハイドロキシアパタイト溶射被膜のバイオフィルム形成阻害効果の検討	第 27 回 日本整形外科学会基礎学術集会
石田弘樹、小野田悟、永尾晃治、城内文吾、古屋健太、永井俊治、溝部帆洋、吉永和明、小島浩一、渡邊浩幸、柳田晃良、後藤直宏	ドコサペンタエン酸の代謝に関する研究 ; 2012 年 11 月	日本油化学会フレッシュマンサミット TOKYO2012
Teruyoshi Yanagita, Koji Nagao	Functional lipids for the prevention of fatty liver and inflammation. ; 2012 年 10 月	World Congress on Oleo Science & 29th ISF Congress
柳田晃良、永尾晃治	キノコの 1 種ムキタケの抗肥満、脂肪肝予防および炎症予防作用 ; 2012 年 10 月	第 33 回日本肥満学会
陣内智行、甲斐俊一、柳田晃良、永尾晃治	プテロステルベンが肥満ラットのエネルギー代謝に及ぼす影響 ; 2012 年 09 月	平成 24 年度日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部および日本農芸化学会西日本支部合同大会
松本明子、甲斐俊一、柳田晃良、永尾晃治	分離大豆たんぱく質による脂肪萎縮症誘発性脂肪肝の改善作用に関する研究 ; 2012 年 09 月	平成 24 年度日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部および日本農芸化学会西日本支部合同大会
古賀美里、柘植圭介、鶴田裕美、吉村臣史、川内怜、柳田晃良、永尾晃治	ノリ由来複合脂質摂取が肥満マウスの病態発症に及ぼす影響 ; 2012 年 09 月	平成 24 年度日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部および日本農芸化学会西日本支部合同大会
Shoko Nishizono, Takanori Kai, Nao Inoue, Koji Nagao, Takashi Tanaka, Teruyoshi Yanagita, Nobuhiro Fukuda	Rabbiteye blueberry (Vaccinium ashei Reade) leaf prevents metabolic syndrome. ; 2012 年 09 月	10th Euro Fed Lipid Congress
迫尾昌美、小島浩一、永井利治、柳田晃良、永尾晃治	オゾン化脂質摂取がマウスの脂質代謝に及ぼす影響 ; 2012 年 09 月	平成 24 年度日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部および日本農芸化学会西日本支部合同大会
齊藤森太郎、陣内智行、和根崎智、小嶋真紀子、橘伸彦、柳田晃良、永尾晃治	大豆β-コングリシニンによる肥満誘発性脂肪肝の改善作用に関する研究 ; 2012 年 09 月	平成 24 年度日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部および日本農芸化学会西日本支部合同大会
仲光和佐、浜島弘史、柳田晃良、永尾晃治	ムキタケ熱水抽出物の抗炎症作用に関する研究 ; 2012 年 09 月	平成 24 年度日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部および日本農芸化学会西日本支部合同大会
田中愛健、永尾晃治、佐藤匡央、今泉勝己	食事誘導性高コレステロール血症モデルラットにおけるトリアシルグリセロール代 ; 2012 年 06 月	第 54 回日本脂質生化学会
柘植圭介、古賀美里、鶴田裕美、佐藤真佐恵、吉村臣史、永尾晃治、石川祐子	ノリ由来脂質成分の抗炎症作用 ; 2012 年 06 月	第 49 回化学関連支部合同九州大会
馬場龍栄、加藤拓也、城内文吾、永尾晃治、柳田晃良、佐藤匡央	アポE欠損マウスにおける動脈硬化症に及ぼすプテロステルベンおよびレスベラトロールの影響 ; 2012 年 06 月	第 49 回化学関連支部合同九州大会
古賀美里、柘植圭介、鶴田裕美、吉村臣史、犬塚伸幸、永尾晃治、柳田晃良	ノリ由来脂質成分の抽出と組成分析 ; 2012 年 06 月	第 49 回化学関連支部合同九州大会
陣内智行、甲斐俊一、永尾晃治、柳田晃良	レスベラトロールの抗肥満作用に関する研究 ; 2012 年 06 月	第 49 回化学関連支部合同九州大会
迫尾昌美、甲斐俊一、永尾晃治、小島浩一、永井利治、柳田晃良	オゾン化脂質の脂肪肝改善作用に関する研究 ; 2012 年 06 月	第 49 回化学関連支部合同九州大会
松本明子、甲斐俊一、永尾晃治、柳田晃良	脂肪萎縮症誘発性脂肪肝に対する食事成分の影響 ; 2012 年 06 月	第 49 回化学関連支部合同九州大会

齊藤森太郎、陣内智行、和根崎智、小嶋真紀子、橘伸彦、永尾晃治、柳田晃良	大豆βコングリシニンが肥満ラットの脂質代謝に及ぼす影響 ;2012年06月	第49回化学関連支部合同九州大会
鶴田裕美、甲斐俊一、柘植圭介、吉村臣史、永尾晃治、柳田晃良	レンコンポリフェノール摂取が肥満・糖尿病マウスの病態発症に及ぼす影響 ;2012年06月	第49回化学関連支部合同九州大会
仲光和佐、柘植圭介、鶴田裕美、吉村臣史、永尾晃治、柳田晃良	肝臓モデル細胞を用いた食品由来脂質低下成分の検索 ;2012年06月	第49回化学関連支部合同九州大会
Koji Nagao, Masami Sakoh, Shunichi Kai, Koichi Kojima, Toshiharu Nagai, Teruyoshi Yanagita	Physiological functions of dietary ozonated-olive oil in obese rats. ; 2012年05月	103rd American oil chemist' society annual meeting & expo, Long beach (USA)
渡口啓史、森本豪介、島ノ江恭弘、関清彦、光富勝	Bacillus sp. No.7-M 由来キトサナーゼ/グルカナーゼの活性に関わるアミノ酸残基の解析	第19回日本生物工学会九州支部別府大会(2012)
藤野 薫、田中さゆみ、浜田誠子、関清彦、光富勝	グラジオラス球根に含まれる抗真菌物質の精製および性質	日本農芸化学会西日本支部および日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部2012年度合同大会(鹿児島大学)
大沢奈未、樋口裕子、高崎圭介、宗伸明、関清彦、光富勝、上田敏久	抗真菌性をもつアミノ酸誘導体	日本農芸化学会西日本支部および日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部2012年度合同大会(鹿児島大学)
平野勝紹、関清彦、光富勝	キトサナーゼのヘテロキトヘキサオースに対する作用	第26回キチン・キトサンシンポジウム(北海道大学)
関清彦、百島亜紀、大山裕夏、菅虎雄、上田敏久、兒玉浩明、光富勝	ヘペイン様キチン結合性ペプチド Ac-AMP の抗菌特性	第26回キチン・キトサンシンポジウム(北海道大学)
浅海裕也、古賀裕也、山口浩、渡口啓史、関清彦、光富勝、兒玉浩明、宮崎真佐也	酵素固定化マイクロリアクターによる効率的アフィニティータグ切断法	第49回化学関連支部合同九州大会
浅海裕也、古賀裕也、山口浩、渡口啓史、関清彦、光富勝、兒玉浩明、宮崎真佐也	マイクロ化学デバイスを用いた効率的アフィニティータグ切断法の開発	平成24年度日本生化学会九州支部例会
徳田 誠・川内孝太・松尾和典・岩崎由美・菊池 健・江崎逸郎・菱井 徹・篠木秀紀	スタジイタマバエの分類学的地位と生態特性および伊豆諸島における分布と密度	第57回日本応用動物昆虫学会大会
徳田 誠	トノサマバッタの分子系統と生物地理および寄主特異性	第57回日本応用動物昆虫学会大会
神代 瞬・松倉啓一郎・松村正哉・徳田 誠	フタテンチビヨコバイにおけるゴール形成能力の地理的変異	第57回日本応用動物昆虫学会大会
川浦香奈子・吉田圭祐・神代瞬・徳田 誠・松倉啓一郎・松村正哉・萩原保成	オオムギ染色体導入コムギ系統を用いたフタテンチビヨコバイ吸汁によるゴール形成に関わる遺伝子の探索	日本育種学会第123回講演会
塩見宜久・神代 瞬・口木文孝・白石祥子・井上広光・徳田 誠	ナン葉片を用いたチュウゴクナシギジラムの室内累代飼育法の検討	第85回九州病害虫研究発表会
Kawaura, K., Yoshida, K., Kumashiro, S., Tokuda, M., Matsukura, K., Matsumura, M. and Oghara, K.	Transcriptome changes in barley chromosome addition lines of common wheat caused by gall-inducing leafhopper feeding	Plant and Animal Genome XXI
藤井智久・吉武 啓・松尾和典・徳田 誠	伊豆諸島でイヌツゲタマバエの虫えいから発見されたダルマクチカクシゾウムシ	日本昆虫学会九州支部第60回大会
川内孝太・松尾和典・岩崎由美・菊池 健・江崎逸郎・菱井 徹・篠木秀紀・徳田 誠	伊豆諸島で大発生したスタジイタマバエの分類学的地位と生活史	日本昆虫学会九州支部第60回大会

松尾和典・湯川淳一・徳田 誠	バリバリノキエダタマバエ(ハエ目:タマバエ科)の分布確認記録	日本昆虫学会九州支部第 60 回大会
末松俊二・田中誠二・川浦香奈子・萩原保成・徳田 誠	コムギへのオオムギ染色体導入がトノサマバツタ幼虫の生存や発育に及ぼす影響	日本昆虫学会九州支部第 60 回大会
松尾和典・山岸健三・藤井智久・徳田 誠・湯川淳一	マサキタマバエ(ハエ目:タマバエ科)に寄生する Platygaster 属(ハチ目:ハラビロクロバチ科)の分類学的地位	日本昆虫学会第 72 回大会
神代 瞬・徳田 誠	昆虫によるゴール形成機構とその適応的意義の解明 -モデル実験系としてのフタテンチビヨコバイ-イネ科植物間相互作用-	文部科学省科学研究費 新学術領域研究「複合適応形質進化の遺伝子基盤解明」平成 24 年度 公開シンポジウム
徳田 誠	昆虫による植物細胞制御のメカニズム -落葉上の植物細胞を延命・成長させるエゴノキハイボタマバエ-	文部科学省科学研究費 新学術領域研究「複合適応形質進化の遺伝子基盤解明」平成 24 年度 公開シンポジウム
徳田 誠・末松俊二・田中誠二	オオムギ品種 Betzes に対するトノサマバツタ幼虫の感受性	日本昆虫学会第 72 回大会
Kumashiro, S., Matsukura, K., Kawaura, K., Matsumura, M., Ogihara, Y. and Tokuda, M.	Gall-inducing ability of the maize orange leafhopper <i>Cicadulina bipunctata</i> and barley chromosomes related to the resistance and susceptibility to the gall induction	XXIV International Congress of Entomology, Daegu, South Korea
Tokuda, M., Suematsu, S., Tanaka, S., Kawaura, K. and Ogihara, Y.	Effects of barley chromosome addition to wheat on feeding preference and nymphal development of the migratory locust <i>Locusta migratoria</i> (Orthoptera: Acrididae)	XXIV International Congress of Entomology, Daegu, South Korea
Yang, M. M., Chiang, T. C., Tung, G. S., Tokuda, M. and Yukawa, J.	Gall shape variation and host specificity in relation to species identity in a complex galling midge group <i>Daphnephila</i> (Diptera: Cecidomyiidae) on <i>Machilus</i> spp. (Lauraceae) in Taiwan	XXIV International Congress of Entomology, Daegu, South Korea
Fujii, T., Matsuo, K., Yukawa, J., Abe, Y. and Tokuda, M.	A koinobiont parasitoid manipulates its host cecidomyiid to modify gall morphology to avoid hyperparasitism	XXIV International Congress of Entomology, Daegu, South Korea
Tokuda, M., Matsukura, K., Kumashiro, S. and Matsumura, M.	Host feeding by a gall-inducing insect improves the performance of offspring	XXIV International Congress of Entomology, Daegu, South Korea.
徳田 誠	エゴの遅れ花から推察されるエゴノネコアシアブラムシのゴール形成機構	日本アブラムシ研究会第2回研究集会
神代 瞬・松倉啓一郎・松村正哉・徳田 誠	フタテンチビヨコバイの九州東岸および四国からの発見とゴール形成能力の地域間変異	日本動物学会九州支部(第 65 回)・九州沖縄植物学会(第 62 回)・日本生態学会九州地区会(第 57 回)三学会合同佐賀大会
大橋英純・末松俊二・徳田誠・鈴木信彦	アリ随伴性アブラムシがムラサキシジミの産卵場所選好性におよぼす影響	日本動物学会九州支部(第 65 回)・九州沖縄植物学会(第 62 回)・日本生態学会九州地区会(第 57 回)三学会合同佐賀大会
末松俊二・徳田 誠	異なる発育段階のトノサマバツタ幼虫にオオムギを摂食させた場合の生存と発育	日本動物学会九州支部(第 65 回)・九州沖縄植物学会(第 62 回)・日本生態学会九州地区会(第 57 回)三学会合同佐賀大会
徳田 誠・軸丸裕介・松倉啓一郎・神代 瞬・松村正哉・神谷勇治	フタテンチビヨコバイ吸汁時のトウモロコシにおける植物ホルモンと含水率の変動	日本動物学会九州支部(第 65 回)・九州沖縄植物学会(第 62 回)・日本生態学会九州地区会(第 57 回)三学会合同佐賀大会

^D Lahiru N. Jayakody, Kenta Horie, Nobuyuki Hayashi and Hiroshi Kitagaki	Improvement of tolerance of <i>Saccharomyces cerevisiae</i> to the hot compressed water-treated cellulose by detoxification of glycolaldehyde, a novel bioethanol fermentation inhibitor	13th International Congress on Yeasts (Out Standing Presentation Award)
笠井紀貴、前田諒子、花本猛士	β -トリフルオロメチルビニルスルホニウム塩の合成化学的利用 ; 2012 年 11 月	2012年日本化学会西日本大会
廣瀧謙亮、花本猛士	フルオロチオフェン誘導体の合成 ; 2012 年 11 月	2012年日本化学会西日本大会
青木公一郎、花本猛士	メタ位にトリフルオロメチル基を有するフェノールの合成 ; 2012 年 11 月	2012年日本化学会西日本大会
廣瀧謙亮、花本猛士	Synthesis and reactions of 2-bromo-3,3-difluoroallyl sulfides ; 2012 年 09 月	The international symposium on preparative chemistry of advanced materials, 2012
武廣唯、岳下千保美、花本猛士	Ring-opening reaction of CF ₃ -N-Ts-aziridine under basic conditions ; 2012 年 07 月	20th International Symposium on Fluorine Chemistry
廣瀧謙亮、花本猛士	Synthesis and reaction of 2-bromo-3,3-difluoroallyl sulfides ; 2012 年 07 月	20th International Symposium on Fluorine Chemistry
笠井紀貴、花本猛士	Facile synthesis of (trifluoromethyl)cyclopropane derivative under mild conditions ; 2012 年 07 月	20th International Symposium on Fluorine Chemistry
武廣唯、岳下千保美、花本猛士	CF ₃ -N-Ts アジリジンの位置選択的開環反応 ; 2012 年 06 月	第49回化学関連支部九州合同大会
笠井紀貴、花本猛士	トリフルオロメチルシクロプロパン誘導体の簡便合成と合成化学的利用 ; 2012 年 06 月	第49回化学関連支部九州合同大会
廣瀧謙亮、花本猛士	2-ブロモ-3,3,3-トリフルオロプロペンの反応 ; 2012 年 06 月	第49回化学関連支部九州合同大会
浦郷寛康、菅虎雄、兒玉浩明、海野雅司	ラマン円偏光二色分光によるジペプチドのコンフォメーション解析	2012 年 日本化学会西日本大会
新ヶ江貴仁、久保田健介、熊内雅人、HOFF Wouter、海野雅司	近赤外励起ラマン円偏光二色性分光と円二色性分光を用いた光受容タンパク質における活性部位の構造解析	2012 年 日本化学会西日本大会
海野雅司、築地祐樹、久保田健介、増田真二	N 末アミノ酸残基の有無は AppA BLUF ドメインの保存された トリプトファン残基の位置に影響しない	第 50 回日本生物物理学会年会
新ヶ江貴仁、久保田健介、熊内雅人、HOFF Wouter、海野雅司	近赤外励起ラマン円偏光二色性分光と円二色性分光を用いた Photoactive Yellow Protein における活性部位の構造解析	第 39 回 生体分子科学討論会
外蘭泰浩 米田宏 山田泰教 鯉川雅之	非対称型配位子による金属酵素機能モデル錯体の合成と反応	2012 年 日本化学会西日本大会
山田武史・米田宏・山田泰教・鯉川雅之	イミダゾール基を有する三座シッフ塩基型配位子を用いた遷移金属錯体の合成と性質	2012 年 日本化学会西日本大会
Masayuki Koikawa, Masahiro Muto, Kosuke Morinaga, Kou Yoneda, Yasunori Yamada, Tadashi Tokii	Molecular-Capsule Assemblies of Trinuclear Macrocyclic Metal Complexes	International Conference of Coordination Chemistry, P-233
山田武史・黒仁田亮行・米田宏・山田泰教・鯉川雅之	三座シッフ塩基配位子による多核鉄錯体の合成と磁氣的性質	第 62 回錯体化学討論会 2PA-098
光宗哲平・池上崇久・深堀俊朗・杉森 保・鯉川雅之・広光一郎・御厨正博・倉橋悟志・半田 真	フタロシアニン-salen 融合型二核形成配位子とその銅(II)およびオキソバナジウム(IV)錯体の合成と性質	第 62 回錯体化学討論 3Aa-14
高椋利幸、梅木辰也、井之上紗緒梨、門畑翔也、下村拓也	イオン液体とベンゼン、トルエンおよびトリフルオロトルエンの混合状態 ; 2012 年 12 月	日本中性子科学会第 12 回年会、京都

亀崎義規, 梅木辰也, 高椋利幸, 牧野貴至, 金久保光央	DBU-アルコール 2 成分溶液の混合状態 ; 2012 年 11 月	2012 年日本化学会西日本大会, 佐賀
高椋利幸, 下村拓也, 梅木辰也, 井之上紗緒梨, 門畑翔也	イミダゾリウム系イオン液体とベンゼン誘導体との混合状態に対する置換基効果 ; 2012 年 11 月	第 35 回溶液化学シンポジウム, 早稲田
安陪光敏, 梅木辰也, 高椋利幸, 牧野貴至, 金久保光央	β -ジケトナートをアニオンとするイオン液体の諸物性に及ぼすフッ素導入効果 ; 2012 年 11 月	2012 年日本化学会西日本大会, 佐賀
保家宇宙, 下村拓也, 梅木辰也, 高椋利幸	イオン液体-DMSO 混合溶液中での遷移金属イオンの溶媒和構造 ; 2012 年 11 月	2012 年日本化学会西日本大会, 佐賀
保家宇宙, 下村拓也, 梅木辰也, 高椋利幸	イミダゾリウム系イオン液体 C2mimTFSA と強い電子供与性をもつ DMSO との混合 ; 2012 年 11 月	第 35 回溶液化学シンポジウム, 早稲田
安陪光敏, 梅木辰也, 高椋利幸, 牧野貴至, 金久保光央	アセチルアセトナートをアニオンとするイオン液体の諸物性に及ぼすフッ素導入効果 ; 2012 年 11 月	第 35 回溶液化学シンポジウム, 早稲田
亀崎義規, 梅木辰也, 高椋利幸, 牧野貴至, 金久保光央	NMR を用いた DBU-アルコール 2 成分混合溶液中の相互作用解明 ; 2012 年 11 月	第 35 回溶液化学シンポジウム, 早稲田
安陪光敏, 梅木辰也, 高椋利幸, 牧野貴志, 金久保光央	β -ジケトナートをアニオンとするイオン液体の密度、粘度、電気伝導度 ; 2012 年 09 月	化学工学会第 44 回秋季大会, 仙台
T. Takamuku, T. Shimomura, S. Inoue, S. Kadohata, T. Umecky	Substituent Effects on Mixing of Ionic Liquid with Benzene Derivatives ; 2012 年 09 月	EMLG/JMLG Annual Meeting 2012, Eger, Hungary
高椋利幸, 下村拓也, 井之上紗緒梨, 門畑翔也, 梅木辰也	分子レベルで観測するイミダゾリウム系イオン液体とベンゼン誘導体との混合 ; 2012 年 09 月	日本分析化学会第 61 年会, 金沢
安陪光敏, 梅木辰也, 高椋利幸, 牧野貴至, 金久保光央	β -ジケトナートをアニオンとするイオン液体の物理化学的性質 ; 2012 年 06 月	第 49 回化学関連支部合同九州大会, 北九州
保家宇宙, 下村拓也, 梅木辰也, 高椋利幸	強い電子供与性をもつ DMSO とイオン液体 C2mimTFSA の混合状態 ; 2012 年 06 月	第 49 回化学関連支部合同九州大会, 北九州
門畑翔也, 下村拓也, 梅木辰也, 高椋利幸	イオン液体 CnmimTFSA とベンゼン誘導体との混合状態に対するアルキル鎖長効果 ; 2012 年 06 月	第 49 回化学関連支部合同九州大会, 北九州
亀崎義規, 梅木辰也, 高椋利幸, 牧野貴至, 金久保光央	超塩基 DBU とアルコールの混合状態の解明 ; 2012 年 06 月	第 49 回化学関連支部合同九州大会, 北九州
高椋利幸, 和田 浩, 川床智恵美, 立川真衣, 下村拓也, 神崎亮, 竹内宗孝	フッ化アルコール-水混合溶液がつくる溶媒和環境 ; 2012 年 05 月	第 72 回分析化学討論会, 鹿児島
門畑翔也, 井之上紗緒梨, 下村拓也, 梅木辰也, 高椋利幸	イミダゾリウム系イオン液体とトリフルオロトルエンの混合に対するアルキル鎖の効果 ; 2012 年 05 月	第 72 回分析化学討論会, 鹿児島
亀崎義規, 梅木辰也, 高椋利幸, 牧野貴至, 金久保光央	NMR 測定による DBU-アルコール混合溶液の相互作用解明 ; 2012 年 05 月	第 72 回分析化学討論会, 鹿児島
前田裕介, 川喜田英孝, 大渡啓介, 森貞真太郎	感温性高分子ゲルによる Pd(II) の温度スイング吸着・分離	第 15 回化学工学会学生発表会
前田裕介, 川喜田英孝, 大渡啓介, 森貞真太郎	感温性高分子ゲルによる貴金属イオンの温度スイング吸着	第 23 回九州地区若手ケミカルエンジニアリング討論会
塚本枝理・成田貴行・江良正直・大石祐司	鉛系ペロブスカイト薄膜の形成に及ぼす水相溶存イオンの影響 ; 2013 年 03 月	日本化学会第 93 春季年会
橋本彩香・福間貴巳・成田貴行・大石祐司	アルギン酸ナトリウムとキトサンからなるヘテロ微粒子の調製 ; 2012 年 11 月	2012 年日本化学会西日本大会

平野隆晶・瀬戸洋繁・生貝初・成田貴行・大石祐司	膜特性と形態評価に基づく PBS 上 (DMPG/Chol)混合単分子膜の分子凝集特性 ; 2012 年 11 月	2012 年日本化学会西日本大会
塚本枝理、成田貴行、江良正直、大石祐司	脂肪族アンモニウム臭化物を用いた鉛系ペロブスカイト形成に及ぼす水相成分の役割 ; 2012 年 11 月	2012 年日本化学会西日本大会
塚本枝理、平松健児、成田貴行、江良正直、大石祐司	脂肪族アンモニウム臭化物を用いた鉛系ペロブスカイト形成における水相成分の役割 ; 2012 年 06 月	掲載資料名未入力
平野隆晶・瀬戸洋繁・生貝初・成田貴行・大石祐司	PBS 上での単一系脂質単分子膜に対するコレラ菌溶血毒作用の表面圧依存性 ; 2012 年 06 月	第 49 回化学関連支部合同九州大会
萩原隼人、宮田三花子、成田貴行、大石祐司	LB 法を利用したペロブスカイト誘電薄膜の開発 ; 2012 年 06 月	2012 年日本化学会西日本大会
Y. Oishi, M. Noguchi, T. Ishikawa, M. Kuramori, T. Narita	Mazy pattern at nanometer-scale in mixed monolayer of fatty acids ; 2012 年 05 月	International Association of Colloid and Interface Scientists Conference,
大久保文生, 伊藤直樹, 石渡洋一, 今村真幸, 高橋和敏, 鎌田雅夫, 木田徹也, 石井啓文, 手塚泰久, 稲垣祐次, 河江達也, 南任真史, 石橋幸治	Fe ₃ O ₄ ナノ結晶の光電子分光	平成 24 年度応用物理学会九州支部学術講演会
大久保文生, 伊藤直樹, 石渡洋一, 今村真幸, 高橋和敏, 鎌田雅夫, 木田徹也, 石井啓文, 手塚泰久, 稲垣祐次, 河江達也, 南任真史, 石橋幸治	Fe ₃ O ₄ ナノ結晶の金属絶縁体転移	日本物理学会 2012 年秋季大会
花田拓也、定松浩俊、森貞真太郎、川喜田英孝、大渡啓介	メチレン架橋型大環状樹脂によるアルカリ金属の吸着挙動 ; 2013 年 03 月	第 15 回化学工学会学生発表会【北九州大会(西日本地区)】
Hiromasu Murashima, Keisuke Ohto, Hidetaka Kawakita, Shintaro Morisada	Extraction behavior of multivalent metals by trident molecule of phosphoric acid type ; 2012 年 12 月	The 25th International Symposium on Chemical Engineering (ISChE)
Hirotooshi Sadamatsu, Shintaro Morisada, Hidetaka kawakita, Keisuke Ohto	Alkali metal extraction behavior with calix[4]arene acetic acid-propyl derivatives ; 2012 年 12 月	The 25th International Symposium on Chemical Engineering (ISChE)
野瀬香織、森貞真太郎、川喜田英孝、大渡啓介	新規三脚状トリオール化合物の開発及び金属の抽出特性 ; 2012 年 11 月	日本化学会西日本大会 2012
村島敬昌、森貞真太郎、川喜田英孝、大渡啓介	リン酸型ホウキ分子を用いた多価金属の抽出分離 ; 2012 年 11 月	日本化学会西日本大会 2012
池田朋央、森貞真太郎、川喜田英孝、大渡啓介	フルオロカルボン酸型カリックス[4]アレーンの金属抽出に及ぼすフェノキシ酸素の影響 ; 2012 年 11 月	日本化学会西日本大会 2012
大渡啓介、宮崎 真佐也、山下健一、畑中 雄太、真栄城 正寿	マイクロリアクターを用いたカリックスアレーン誘導体による金属イオンの抽出 ; 2012 年 11 月	第 30 回溶媒抽出討論会
大渡啓介、村島敬昌、森貞真太郎、川喜田英孝	リン酸型三脚状分子による希土類金属の抽出挙動 ; 2012 年 11 月	第 30 回溶媒抽出討論会
上田祐生、森貞真太郎、川喜田英孝、大渡啓介	ウレア型三脚状分子抽出剤による貴金属イオンの抽出特性 ; 2012 年 11 月	第 30 回溶媒抽出討論会

池田朋央、森貞真太郎、川喜田英孝、大渡啓介	フルオロカルボン酸型カリックス[4]アレーンによる金属抽出におけるフェノキシ酸素の影響 ; 2012年11月	第30回溶媒抽出討論会
畑中雄太、真栄城正寿、山下健一、宮崎真佐也、大渡啓介	マイクロリアクタを利用したカリックスアレーン誘導体による高効率希少金属分離 ; 2012年11月	日本化学会西日本大会 2012
上田祐生、森貞真太郎、川喜田英孝、大渡啓介	三脚状分子抽出剤を用いた貴金属の抽出特性評価 ; 2012年11月	日本化学会西日本大会 2012
志波雄三、大渡啓介、川島真	カリックスアレーンを担持したシリカ系複合体のIn, Ga吸着特性 ; 2012年11月	無機マテリアル学会
志波雄三、大渡啓介、川島真	カリックスアレーンを担持したシリカおよびアロフェン複合体のIn, Ga吸着特性 ; 2012年11月	日本化学会西日本大会 2012
大渡啓介、今林翔大、森貞真太郎、川喜田英孝	カドミウム選択性を有するジチオカーバメート型三脚状分子の開発 ; 2012年10月	第27回日本イオン交換研究発表会
今林翔大、大渡啓介、川喜田英孝、森貞真太郎	ジチオカーバメート型三脚状分子による亜鉛からのカドミウムの選択的抽出 ; 2012年09月	化学工学会第43回秋季大会
Yuki Ueda, Shintaro Morisada, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto	Extraction behavior of precious metal ions with secondary phenyl amide derivative of trident molecule ; 2012年09月	The international Symposium on Preparative Chemistry of Advanced Materials, 2012 (ISPCAM2012)
大渡啓介、山隈龍馬、森貞真太郎、川喜田英孝、岩知道直行	複素環型三脚状分子を用いた貴金属回収の抽出・分離 ; 2012年09月	化学工学会第43回秋季大会
畑中雄太、真栄城正寿、山下健一、宮崎真佐也、大渡啓介	マイクロリアクタでの大環状ホスト化合物による金属イオン抽出挙動の解析 ; 2012年09月	化学工学会第43回秋季大会
定松浩俊、川喜田英孝、森貞真太郎、大渡啓介	プロピル-酢酸交差型カリックス[4]アレーンによるアルカリ金属錯体中の水分子の定量 ; 2012年07月	第30回九州分析化学若手の会夏季セミナー
上田祐生、川喜田英孝、森貞真太郎、大渡啓介	アミド型三脚状分子による貴金属抽出挙動の評価 ; 2012年07月	第30回九州分析化学若手の会夏季セミナー
今林翔大、川喜田英孝、森貞真太郎、大渡啓介	イミダゾール型三脚状分子を用いた貴金属の抽出 ; 2012年07月	第30回九州分析化学若手の会夏季セミナー
今林翔大、大渡啓介	ジチオカーバメート型三脚状分子によるカドミウムの選択的抽出 ; 2012年06月	第48回化学関連支部合同大会
野瀬香織、大渡啓介	新規三脚状トリオール化合物の開発及び三脚状トリオール化合物の抽出特性 ; 2012年06月	第48回化学関連支部合同大会
上田祐生、大渡啓介	アミド型三脚状分子による貴金属抽出特性の評価 ; 2012年06月	第28回分析化学緑陰セミナー・旭川
大渡啓介、才原孝一、山隈龍馬、岩知道直行	ピリジル型三脚状分子の貴金属抽出挙動と銀イオン選択性電極素子としての利用 ; 2012年05月	第72回分析化学討論会
定松浩俊、川喜田英孝、大渡啓介	プロピル-酢酸交差型カリックス[4]アレーンによるアルカリ金属抽出に伴う水和水の定量 ; 2012年05月	第72回分析化学討論会
OUMMEY Rayhan, 馮星・大和武彦	アルミニウム粉末を用いる芳香族化合物の水での還元反応 ; 2013年03月	日本化学会第93回春季年会 立命館大学(大津市)2012年3月26日

○Cheng-Cheng Jin, Xuekai Jiang, Takehiko Yamato	Synthesis of fluorescent chemosensors based on Hexahomotrioxacalix[3]-arenes ; 2013 年 03 月	日本化学会第 93 回春季年会 立命館大学(大津市)2012 年 3 月 26 日
○瀬戸伸之, 馮 星, 大和武彦	Buchwald-Hartwig アミノ化反応を用いるジアリールアミノピレンの合成と発光特性 ; 2013 年 03 月	日本化学会第 93 回春季年会 立命館大学(大津市)2012 年 3 月 26 日
○Xing Feng, Fumitaka Iwanaga, Nobuyuki Seto and Takehiko Yamato	Synthesis and Photophysical Properties of Pyrene Based Light-Emitting Monomers ; 2013 年 03 月	7th International Conference on Molecular Electronics and Bioelectronics (M&BE7), Fukuoka 2013 年 3 月 17-19 日
○Hirotsugu Tomiyasu, Xin-long Ni, and Takehiko Yamato	Allosteric bindings of thiacalix[4]arene-based receptors with 1,3-alternate conformation having two different side arms ; 2012 年 11 月	The 7th Joint Seminar between Saga University and Daegu University, 佐賀大学 2012 年 11 月 20 日
○Nobuyuki Seto, Xing Feng and Takehiko Yamato	Synthesis and Photophysical Properties of Diarylamine-Functionalized Pyrene Derivatives via Buchwald-Hartwig Amination Reaction ; 2012 年 11 月	The 7th Joint Seminar between Saga University and Daegu University, 佐賀大学 2012 年 11 月 20 日
○Fumitaka Iwanaga, Xing Feng, Nobuyuki Seto and Takehiko Yamato	Synthesis and photophysical properties of extended π -conjugated giant molecules based on the pyrene ; 2012 年 11 月	The 7th Joint Seminar between Saga University and Daegu University, 佐賀大学 2012 年 11 月 20 日
○Junghee Do, Yumiko Omori and Takehiko Yamato	Synthesis and photophysical properties of novel extended π -conjugated dithienothiophene-based fluorescent materials ; 2012 年 11 月	The 7th Joint Seminar between Saga University and Daegu University, 佐賀大学 2012 年 11 月 20 日
○Cheng-Cheng Jin, Xin-Long Ni and Takehiko Yamato	Synthesis of fluorescent chemosensors based on hexahomotrioxacalix[3]arenes ; 2012 年 11 月	The 7th Joint Seminar between Saga University and Daegu University, 佐賀大学 2012 年 11 月 20 日
○Ummey Rayhan, Saori Nakayama and Takehiko Yamato	Raney Ni-Al catalyzed hydrogenation reaction of biphenyl, fluorene and 9,10-dihydroanthracene in water ; 2012 年 11 月	The 7th Joint Seminar between Saga University and Daegu University, 佐賀大学 2012 年 11 月 20 日
○大森裕美子, 都 貞喜, 大和武彦	新規拡張 π -共役[2.2]シクロファン類の合成と光物性 ; 2012 年 11 月	2012 年日本化学会西日本大会, 佐賀大学, 2012 年 11 月 10 日-11 日
○岩永文隆, Xing Feng, 大和武彦	ピレンを基体とする拡張 π 共役系巨大分子の合成と発光特性 ; 2012 年 11 月	2012 年日本化学会西日本大会, 佐賀大学, 2012 年 11 月 10 日-11 日
○ChengCheng Jin, Xin-long Ni, Takehiko Yamato	Synthesis of fluorescent chemosensors based on hexahomotrioxacalix[3]-arenes ; 2012 年 11 月	2012 年日本化学会西日本大会, 佐賀大学, 2012 年 11 月 10 日-11 日
○Xing Feng, Nobuyuki Seto, Takehiko Yamato	Synthesis and Photophysical Properties of Pyrene-Based Y-shaped Blue Light-Emitting Monomers ; 2012 年 11 月	2012 年日本化学会西日本大会, 佐賀大学, 2012 年 11 月 10 日-11 日
Xin-Long Ni, Jun Tahara, Chengcheng Jin and ○Takehiko Yamato	Ditopic receptors based on lower- and upper-rim substituted hexahomotrioxacalix[3]arenes: Novel cation-controlled hydrogen bonding of anion ; 2012 年 11 月	13th Tetrahedron Symposium, Taipei (Taiwan) 2012 年 11 月 26-29 日

○Xing Feng, Fumitaka Iwanaga, Nobuyuki Seto and Takehiko Yamato	Synthesis and photophysical properties of pyrene-based light-emitting monomer; 2012年11月	The 7th Joint Seminar between Saga University and Daegu University, 佐賀大学 2012年11月20日
○瀬戸伸之, Xing Feng, 大和武彦	Buchwald-Hartwig アミノ化反応を用いるジアリールアミノピレンの合成と発光特性; 2012年11月	2012年日本化学会西日本大会, 佐賀大学, 2012年11月10日-11日
○Hang Cong, Takehiko Yamato	Supramolecular catalysis of oxidation of heterocyclic compounds by hemicucubit[6]urils under mild conditions; 2012年11月	2012年日本化学会西日本大会, 佐賀大学, 2012年11月10日-11日
○Ummey Rayhan, Saori Nakayama, Takehiko Yamato	Raney Ni-Al catalyzed hydrogenation reaction of aromatic compounds in water; 2012年11月	2012年日本化学会西日本大会, 佐賀大学, 2012年11月10日-11日
○Nobuyuki Seto, Xing Feng, Ryu Yi and Takehiko Yamato	Synthesis and photophysical properties of pyrene-based light-emitting monomers; 2012年09月	The International Symposium on Preparative Chemistry of Advanced Materials, 2012 (ISPCAM2012), (Shenyang, China), 2012年9月14-15日
Feng Xing, Nobuyuki Seto, and ○Takehiko Yamato	Synthesis and Photophysical Properties of Pyrene-Based Y-shaped Blue Light-Emitting Monomers; 2012年09月	23rd Symposium on Physical Organic Chemistry, (京都), 2012年9月19日-21日
○ChengCheng Jin, Xin-long Ni, Takehiko Yamato	Synthesis of fluorescent chemosensors based on hexahomotrioxacalix[3]arenes; 2012年06月	第49回化学関連支部合同九州大会 北九州, 2012年6月30日
○Hang Cong, Xin-long Ni, Takehiko Yamato	Synthesis and evaluation of novel fluorescent sensors based thiacalix[4]arenes; 2012年06月	第49回化学関連支部合同九州大会 北九州, 2012年6月30日
○大森裕美子, 都 貞喜, 大和武彦	新規拡張π-共役[2.2]シクロファン類の合成と光物性; 2012年06月	掲載資料名未入力
○岩永文隆, 馮 星, 大和武彦	ピレンを基体とする拡張π共役系巨大分子の合成と発光特性; 2012年06月	第49回化学関連支部合同九州大会 北九州, 2012年6月30日
○Do Jung-Hee, Yumiko Omori, Takehiko Yamato	Synthesis and photophysical properties of novel extended π-conjugated dithienothiophene-based fluorescent materials; 2012年06月	第49回化学関連支部合同九州大会 北九州, 2012年6月30日
○Xing Feng, Ryu Yi, Takehiko Yamato	Synthesis and Photophysical properties of pyrene-based light-emitting monomers; 2012年06月	第49回化学関連支部合同九州大会 北九州, 2012年6月30日
○Bigyan Sharma, Takehiko Yamato	Synthesis, structure and spectral properties of polymethyl substituted dithia[3]metacyclo[3](1,3)pyrenophanes; 2012年06月	第49回化学関連支部合同九州大会 北九州, 2012年6月30日
○Ummey Rayhan, Saori Nakayama, Takehiko Yamato	Raney Ni-Al catalyzed hydrogenation reaction of phenylacetylenes in water; 2012年06月	第49回化学関連支部合同九州大会 北九州, 2012年6月30日

○Xin-long Ni, Cong Hang, 大和武彦	ピレニルトリアゾール環を持つチアカリックス[4]アレーンの合成と蛍光性センサーとしての評価 ; 2012 年 05 月	第 8 回ホスト・ゲスト化学シンポジウム, 北海道大学, 2012 年 5 月 22-23 日
松岡俊宏、柿添仁志、竹下道範	フォトクロミックチオフェノファンのポリマー化 ; 2012 年 11 月	2012年日本化学会西日本大会
水上絵梨香、松田祐二、村上和斗、和田雄太、竹下道範	ナフタレノチオフェノファン-1-エン類の開発とそのフォトクロミズム ; 2012 年 11 月	2012年日本化学会西日本大会
八丁菜津美、竹下道範	チオフェン環の4位にフェニル基をもつチオフェノファン-1-エンの合成とフォトクロミズム ; 2012 年 11 月	2012年日本化学会西日本大会
廣渡拓也、竹下道範	McMurry 反応を用いたフォトクロミック化合物の合成 ; 2012 年 11 月	2012年日本化学会西日本大会
山下力也、北村崇、和田雄太、竹下道範	フォトクロミックロタキサン化合物の開発 ; 2012 年 11 月	2012年日本化学会西日本大会
柿添仁志、倉成利幸、竹下道範	多点水素結合部位をもった水素結合性超分子ポリマーの光スイッチ ; 2012 年 11 月	掲載資料名未入力
於保辰己、柿添仁志、竹下道範	光スイッチ可能なクラウンエーテルを用いた三点水素結合性超分子の開発 ; 2012 年 11 月	2012年日本化学会西日本大会
北村崇、竹下道範	チオフェノファン-1-エン類の環状 n 量体の開発とフォトクロミズム ; 2012 年 11 月	2012年日本化学会西日本大会
加藤竜二、竹居祥行、生方俊、竹下道範、横山泰	環状ジアリールエテンを含む液晶中のらせん誘起力の光制御 ; 2012 年 09 月	2012年光化学討論会
竹下道範、和田雄太	ポリエーテル鎖を持った大環状チオフェノファン-1-エンのフォトクロミズム ; 2012 年 09 月	2012年光化学討論会
Michinori Takeshita, Yuta Wada	Syntheses and photochromic properties of thiophenophan-1-enes having long bridge ; 2012 年 07 月	IUPAC Photochemistry 2012
柿添仁志、木下武治、竹下道範	多点水素結合部位をもった水素結合性超分子ポリマーの光スイッチ ; 2012 年 06 月	第49回化学関連支部合同九州大会
廣渡拓也、山口翔平、竹下道範	McMurry 反応を用いたフォトクロミック化合物の合成 ; 2012 年 06 月	第49回化学関連支部合同九州大会
松岡俊宏、柿添仁志、竹下道範	新規フォトクロミックポリマーの開発 ; 2012 年 06 月	第49回化学関連支部合同九州大会
八丁菜津美、木下武治、竹下道範	チオフェン環の4位にフェニル基をもつチオフェノファン-1-エン類の合成とそのフォトクロミズム ; 2012 年 06 月	第49回化学関連支部合同九州大会
山田豪、竹下道範	アゾチオフェン類の開発 ; 2012 年 06 月	第49回化学関連支部合同九州大会
北村崇、竹下道範	チオフェノファン-1-エン類の環状 n 量体の開発とフォトクロミズム ; 2012 年 06 月	第49回化学関連支部合同九州大会
大久保晋, 小林拓未, 張衛民, 太田仁, 櫻井敬博, 鄭旭光, 西原禎文, 藤澤真士, 菊池彦光 F, 松岡英一, 菅原仁	テラヘルツ ESR 測定による S=1/2 反強磁性体 CuO の磁気異方性 ; 2013 年 03 月	日本物理学会 2013 年会 講演番号 26pXW-7

^D 孟冬冬, ^M 徐興亮, ^D 藤原理賀, 劉曉東, 真木一, 郭其新, 鄭旭光	純良単結晶 CuO の誘電・ラマン分光測定 ; 2013 年 03 月	日本物理学会 2013 年会 講演番号 26aPS-139
藤原理賀, 鄭旭光, 諸富大樹, 河江達也, 松尾晶, 金道浩一, 渡邊功雄, 川崎郁斗, H. Guo	層間相互作用のないカゴメ反強磁性体の異常スピン凍結 ; 2013 年 03 月	日本物理学会 2013 年会 講演番号 26aXY-5
高原真幸, 守安毅, 鄭旭光, 河本敏郎	反強磁性体酸化銅におけるポンプ-プローブ偏光分光 ; 2013 年 03 月	日本物理学会 2013 年年会 28pPSB-70
佐藤衆一, 小山田明, 西山昌秀, 伊藤哲明, 前川覚, 萩原雅人, 鄭旭光, 高橋弘樹, 大井修吾, 小木曾哲	パイロクロア型格子フラストレート磁性体 Cu ₂ (OH) ₃ Cl の中間相磁気構造: 単結晶 NMR から ; 2013 年 03 月	日本物理学会 2013 年会 講演番号 29aXA-13
^M 徐興亮, ^D 藤原理賀, 鄭旭光, 諸富大樹, 河江達也	スピン四面体 paratacamite の磁気転移 ; 2013 年 03 月	日本物理学科 2013 年会 講演番号 26aPS-70
孟冬冬 徐興亮 藤原理賀 劉曉東 郭其新 真木一 鄭旭光	誘電率とラマン分光測定を用いた CuO 純良単結晶のマルチフェロ相転移の研究 ; 2012 年 12 月	2012 応用物理学会九州支部会 学術講演会 講演番号 2Ba4
徐興亮 藤原理賀 鄭旭光 諸富大樹 河江達也	スピンパイロクロア paratacamite Cu ₂ (OH) ₃ Cl の磁性 ; 2012 年 12 月	2012 年応用物理学会九州支部会 学術講演会 講演番号 2Ba3
藤原理賀 鄭旭光 諸富大樹 稲垣祐次 河江達也 渡邊功雄	孤立した Cu ²⁺ 四面体構造を有する新物質 K ₄ Cu ₄ OCl ₁₀ の磁性 ; 2012 年 12 月	日本応用物理学会九州支部会 2012 年学術講演会 講演番号 1Ea6
北島成人 藤原理賀 鄭旭光 河江達也 真木一	新しい量子磁性物質 Cu(OH)Cl の新奇磁性 ; 2012 年 12 月	日本応用物理学会九州支部会 2012 年学術講演会 講演番号 1Ea5
佐藤衆一, 小山田明, 西山昌秀, 伊藤哲明, 前川覚, 萩原雅人, 鄭旭光, 高橋弘樹, 大井修吾, 小木曾哲	単結晶 NMR によるパイロクロア型格子フラストレート磁性体 Cu ₂ (OH) ₃ Cl の磁気秩序過程 ; 2012 年 09 月	日本物理学科 2012 年秋季大会 講演番号 18aPSA-59
藤原理賀, 鄭旭光, 諸富大樹, 稲垣祐次, 河江達也, 渡邊功雄	孤立した Cu ²⁺ 四面体構造を有する K ₄ Cu ₄ OCl ₁₀ の磁性 ; 2012 年 09 月	日本物理学会 2012 年秋季大会 講演番号 18pCD-12
諸富大樹, 佐藤義昌, 稲垣祐次, 河江達也 A, 藤原理賀, 鄭旭光	正四面体スピン系物質 K ₄ Cu ₄ Cl ₁₀ O の極低温物性測定 ; 2012 年 09 月	日本物理学会 2012 年秋季大会 講演番号 18aPSA-23
鄭旭光, 藤原理賀, 北島成人	水酸ハロゲン化物 M ₂ (OH) ₃ X (M: 遷移金属, X: ハロゲン) における普遍的な磁気・格子・誘電相関 ; 2012 年 03 月	日本物理学会 2012 年会 講演番号 27aAF-5
佐藤衆一, 小山田明, 西山昌秀, 伊藤哲明, 前川覚, 萩原雅人, 鄭旭光, 高橋弘樹, 大井修吾,	単結晶 NMR によるパイロクロア格子フラストレート磁性体 Cu ₂ (OH) ₃ Cl の中間相の研究 ; 2012 年 03 月	日本物理学会 2012 年年会 講演番号 25pBG-7
高椋利幸, 梅木辰也, 井之上紗緒梨, 門畑翔也, 下村拓也	イオン液体とベンゼン, トルエンおよびトリフルオロトルエンの混合状態 ; 2012 年 12 月	日本中性子科学会第 12 回年会
亀崎義規, 梅木辰也, 高椋利幸, 牧野貴至, 金久保光央	DBU-アルコール 2 成分溶液の混合状態 ; 2012 年 11 月	2012 年日本化学会西日本大会
保家宇宙, 下村拓也, 梅木辰也, 高椋利幸	イオン液体-DMSO 混合溶液中での遷移金属イオンの溶媒和構造 ; 2012 年 11 月	2012 年日本化学会西日本大会
保家宇宙, 下村拓也, 梅木辰也, 高椋利幸	イミダゾリウム系イオン液体 C ₂ mimTFSA と強い電子供与性をもつ DMSO との混合 ; 2012 年 11 月	第 35 回溶液化学シンポジウム

安陪光敏、梅木辰也、高椋利幸、牧野貴至、金久保光央	β ジケートナートをアニオンとするイオン液体の諸物性に及ぼすフッ素導入効果 ; 2012 年 11 月	2012 年日本化学会西日本大会
高椋利幸、下村拓也、梅木辰也、井之上紗緒梨、門畑翔也	イミダゾリウム系イオン液体とベンゼン誘導体との混合状態に対する置換基効果 ; 2012 年 11 月	第 35 回溶液化学シンポジウム
安陪光敏、梅木辰也、高椋利幸、牧野貴至、金久保光央	アセチルアセトナートをアニオンとするイオン液体の諸物性に及ぼすフッ素導入効果 ; 2012 年 11 月	第 35 回溶液化学シンポジウム
亀崎義規、梅木辰也、高椋利幸、牧野貴至、金久保光央	NMR を用いた DBU-アルコール2成分混合溶液中の相互作用解明 ; 2012 年 11 月	第 35 回溶液化学シンポジウム
T. Umecky, M. Kanakubo, T. Makino, T. Aizawa, A. Suzuki	Effect of CO ₂ Dissolution on Electrical Conductivity and Self-diffusion Coefficients of 1-Butyl-3-methylimidazolium Hexafluorophosphate Ionic Liquid; 2012 年 09 月	6th Molecular Thermodynamics and Molecular Simulation
T. Takamumu, T. Shimomura, S. Inoue, S. Kadohata, T. Umecky	Substituent Effects on Mixing of Ionic Liquid with Benzene Derivatives; 2012 年 09 月	EMLG/JMLG Annual Meeting "Molecular Association in Fluid Phases and at Fluid Interfaces"
安陪光敏、梅木辰也、高椋利幸、牧野貴至、金久保光央	β -ジケートナートをアニオンとするイオン液体の密度、粘度、電気伝導度 ; 2012 年 09 月	化学工学会第 44 回秋季大会
高椋利幸、下村拓也、井之上紗緒梨、門畑翔也、梅木辰也	分子レベルで観測するイミダゾリウム系イオン液体とベンゼン誘導体との混合 ; 2012 年 09 月	日本分析化学会第 61 年会
亀崎義規、梅木辰也、高椋利幸、牧野貴至、金久保光央	DBU-エタノール溶液の混合状態 ; 2012 年 07 月	第 30 回九州分析化学若手の会夏季セミナー
安陪光敏、梅木辰也、高椋利幸、牧野貴至、金久保光央	β -ジケートナートをアニオンとするイオン液体のキャラクタリゼーション ; 2012 年 07 月	第 30 回九州分析化学若手の会夏季セミナー
門畑翔也、梅木辰也、高椋利幸、下村拓也	イオン液体 CnmimTFSA とベンゼン誘導体との混合状態の解明 ; 2012 年 07 月	第 30 回九州分析化学若手の会夏季セミナー
保家宇宙、下村拓也、梅木辰也、高椋利幸	イミダゾリウム系イオン液体-DMSO 溶液の混合状態 ; 2012 年 07 月	第 30 回九州分析化学若手の会夏季セミナー
安陪光敏、梅木辰也、高椋利幸、牧野貴至、金久保光央	β -ジケートナートをアニオンとするイオン液体の物理化学的性質 ; 2012 年 06 月	第 49 回化学関連支部合同九州大会
保家宇宙、下村拓也、梅木辰也、高椋利幸	強い電子供与性をもつ DMSO とイオン液体 C2mimTFSA の混合状態 ; 2012 年 06 月	第 49 回化学関連支部合同九州大会
亀崎義規、梅木辰也、高椋利幸、牧野貴至、金久保光央	超塩基 DBU とアルコールの混合状態の解明 ; 2012 年 06 月	第 49 回化学関連支部合同九州大会
門畑翔也、下村拓也、梅木辰也、高椋利幸	イオン液体 CnmimTFSA とベンゼン誘導体との混合状態に対するアルキル鎖長効果 ; 2012 年 06 月	第 49 回化学関連支部合同九州大会
亀崎義規、梅木辰也、高椋利幸、牧野貴至、金久保光央	NMR 測定による DBU-アルコール混合溶液の相互作用解明 ; 2012 年 05 月	第 72 回分析化学討論会
門畑翔也、井之上紗緒梨、下村拓也、梅木辰也、高椋利幸	イミダゾリウム系イオン液体とトリフルオロトルエンの混合に対するアルキル鎖の効果 ; 2012 年 05 月	第 72 回分析化学討論会

北村二雄、小林壮一、酒井麻理子、宮崎真佐也	ヨード環化反応を利用する機能性物質合成法の開発 ; 2013 年 01 月	第 15 回連携大学院産学官交流セミナー
北村二雄、権藤圭祐、片桐利真、内海真也	ビス(トリメチルシリル)ベンゼン類の安全かつ高効率合成 ; 2012 年 12 月	第 39 回 有機典型元素化学討論会
小林壮一、北村二雄	遷移金属触媒による 4-ペンチル-5,7-ジヒドロキシクマリンの分子内ヒドロアリール化反応 ; 2012 年 11 月	2012 日本化学会西日本大会
Md. Shahajaha Kutubi, 小林壮一、北村二雄	Direct Functionalization of Benzofuran C-H Bond by Microwave Promoted Iron(III)-Catalyzed Hydroarylation of Propynoic Acid Derivatives ; 2012 年 11 月	2012 日本化学会西日本大会
権藤圭祐、北村二雄	隣接するトリメチルシリル基を有するアレーンの高収率合成法の開発 ; 2012 年 11 月	2012 日本化学会西日本大会
白木亮輔、堀 勇治、北村二雄	ジチエニルピロールの合成とその反応 ; 2012 年 11 月	2012 日本化学会西日本大会
北尾 晃、権藤圭祐、北村二雄	ベンザインとジアゾ酢酸エチルの付加環化反応 ; 2012 年 11 月	2012 日本化学会西日本大会
牟田和高、栗木智史、北村二雄	超原子価ヨウ素を用いるカルボニル化合物の簡便なフッ素化反応の開発 ; 2012 年 11 月	2012 日本化学会西日本大会
徳原大樹、小林壮一、北村二雄	Pd 触媒による 4-フェニル-5,7-ジヒドロキシクマリンの分子内ヒドロアリール化反応 ; 2012 年 11 月	2012 日本化学会西日本大会
井上裕介、堀 勇治、北村二雄	ジアザビシクロウンデセン(DBU)を用いる二酸化酸素から炭酸エステルの新規合成法の開発 ; 2012 年 11 月	2012 日本化学会西日本大会
赤間 海、田中亮大、北村二雄	シクロデキストリンを担持したポリマーの合成 ; 2012 年 11 月	2012 日本化学会西日本大会
Kai Akama, Ryota Tanaka, and Tsugio Kitamura	Synthesis of Polymers Containing Cyclodextrins ; 2012 年 11 月	The 7th Joint Seminar between Saga University and Daegu University
権藤圭祐、北村二雄	ヨードニウムイリドと HF の反応に関する研究 ; 2012 年 09 月	第 15 回ヨウ素学会シンポジウム
権藤圭祐、北村二雄	隣接するトリメチルシリル基を有するアレーンの高収率合成法の開発 ; 2012 年 08 月	第 24 回若手研究者のためのセミナー
権藤圭祐、北村二雄	安定ヨードニウムイリドとフッ化水素類の反応 ; 2012 年 06 月	第 49 回化学関連支部合同九州大会
田澤由衣、北村二雄	ヨードシルベンゼンを用いる塩素化反応の開発 ; 2012 年 06 月	第 49 回化学関連支部合同九州大会
酒井麻理子、北村二雄	クマリン及びキノリン誘導体等の複素環化合物の高選択的合成法に関する研究 ; 2012 年 06 月	第 49 回化学関連支部合同九州大会
小林壮一、北村二雄	パラジウム触媒を用いた分子内ヒドロアリール化によるピラノクマリン誘導体の合成 ; 2012 年 06 月	第 49 回化学関連支部合同九州大会
北村二雄、大坪健佑	ベンゾフラニルアルキン酸エステルのパラジウム触媒を用いる分子内ヒドロアリール化によるフロクマリンの簡便合成法	第 59 回有機金属化学討論会
林 良、中對一博、北島健貴、大原宣彦、杉山大輔、兒玉浩明	2,3-bis(tert-butyl(methyl)phosphino)quinoxaline を有する金(I)錯体の抗腫瘍活性 ; 2012 年 12 月	第 85 回日本生化学会大会(12 月 14-16 日、福岡国際会議場・マリンメッセ福岡、福岡)

菅 虎雄、長田聰史、兒玉浩明	環状ペプチドによるイオンチャネル形成への尿素の影響 ; 2012 年 12 月	第 85 回日本生化学会大会(12 月 14-16 日、福岡国際会議場・マリンメッセ福岡、福岡)
菅 虎雄、長田聰史、兒玉浩明	Ion channel formation by charged cyclic peptides ; 2012 年 11 月	第 49 回ペプチド討論会(11 月 7-9 日、かごしま県民交流センター、鹿児島)
小柳侑也、菅 虎雄、阿南裕也、長田聰史、兒玉浩明	環状ペプチド cyclo(D-Ala-Lys) _n の合成とチャネル活性評価 ; 2012 年 11 月	2012 年日本化学会西日本大会(11 月 10-11 日、佐賀大学、佐賀)
藤本美樹、北島健貴、林 良、藤田一郎、浜崎雄平、長田聰史、兒玉浩明	ホルミルペプチド受容体アンタゴニスト Boc-FIFIF-OH の 1 位 Bpa 残芳香環が阻害活性に与える影響 ; 2012 年 11 月	2012 年日本化学会西日本大会(11 月 10-11 日、佐賀大学、佐賀)
溝上大樹、小林千恵、林 良、兒玉浩明、長田聰史	AdoHcy 加水分解酵素阻害を標的とした S-アデノシルホモシステインミミックの合成研究 ; 2012 年 11 月	2012 年日本化学会西日本大会(11 月 10-11 日、佐賀大学、佐賀)
林 良、山口 遼、古賀裕也、藤田一郎、長田聰史、濱崎雄平、兒玉浩明	Structure-activity relationship of a transmembrane peptide derived from formyl peptide receptor 1 ; 2012 年 11 月	第 49 回ペプチド討論会(11 月 7-9 日、かごしま県民交流センター、鹿児島)
北島健貴、藤本美樹、林 良、藤田一郎、浜崎雄平、長田聰史、兒玉浩明	ホルミルペプチド受容体アンタゴニスト Boc-FIFIF-OH の 1 位アミノ酸残基を置換したアナログの合成と生物活性 ; 2012 年 11 月	2012 年日本化学会西日本大会(11 月 10-11 日、佐賀大学、佐賀)
坂本瞳、山下亜裕美、林 良、兒玉浩明、長田聰史	糖鎖保護型 HDAC 阻害剤の合成と生理活性評価 ; 2012 年 11 月	2012 年日本化学会西日本大会(11 月 10-11 日、佐賀大学、佐賀)
北村裕美、沖谷麻里江、林 良、平 順一、東元祐一郎、兒玉浩明、長田聰史	S' 1 側鎖にフッ素アミノ酸を導入した PDF 阻害剤の合成 ; 2012 年 11 月	2012 年日本化学会西日本大会(11 月 10-11 日、佐賀大学、佐賀)
古賀脩一朗、北島健貴、林 良、藤田一郎、浜崎雄平、長田聰史、兒玉浩明	好中球走化性因子ホルミルペプチド fMLP の二量化におけるリンカー部位の影響 ; 2012 年 11 月	2012 年日本化学会西日本大会(11 月 10-11 日、佐賀大学、佐賀)
高田稔也、沖谷麻里江、林 良、平 順一、東元祐一郎、兒玉浩明、長田聰史	ペプチドデフォルミラーゼ阻害を標的とした fMLP 誘導体 ; 2012 年 11 月	2012 年日本化学会西日本大会(11 月 10-11 日、佐賀大学、佐賀)
鶴 将、小内美佳、林 良、藤田一郎、浜崎雄平、長田聰史、兒玉浩明	海洋海綿由来環状ペプチド Hymenamamide 類のヒト好中球の生理活性に与える影響と構造機能相関 ; 2012 年 11 月	2012 年日本化学会西日本大会(11 月 10-11 日、佐賀大学、佐賀)
城野竜彦、北島健貴、林 良、兒玉浩明、長田聰史	ペプチドの N 末端アジド化/フリスゲン反応を経由した FPR アンタゴニストの探索 ; 2012 年 11 月	2012 年日本化学会西日本大会(11 月 10-11 日、佐賀大学、佐賀)
古賀裕也、林 良、藤田一郎、浜崎雄平、長田聰史、兒玉浩明	ホルミルペプチド受容体 FPR2 の膜貫通部分由来ペプチドの合成とヒト好中球の活性酸素放出能に与える影響 ; 2012 年 11 月	2012 年日本化学会西日本大会(11 月 10-11 日、佐賀大学、佐賀)
浦郷寛康、菅 虎雄、兒玉浩明、海野雅司	ラマン円偏光二色性分光によるジペプチドのコンフォメーション解析 ; 2012 年 11 月	2012 年日本化学会西日本大会(11 月 10-11 日、佐賀大学、佐賀)
菅 虎雄、長田聰史、兒玉浩明	Ion channel formation by cyclic homo-L-pentapeptide: cyclo(L-Gln) ₅ ; 2012 年 08 月	244th American Chemical Society National Meeting & Exposition(8 月 19-23 日、Philadelphia, USA)
古賀裕也、山口 遼、林 良、長田聰史、藤田一郎、浜崎雄平、兒玉浩明	ホルミルペプチド受容体膜貫通ドメインに由来する高疎水性ペプチドの合成 ; 2012 年 07 月	第 49 回化学関連支部合同九州大会(6 月 30 日、北九州国際会議場、福岡)
北村裕美、沖谷麻里江、林 良、平 順一、東元祐一郎、兒玉浩明、長田聰史	フッ素化アミノ酸を用いた EcPDF の P1' 認識部位における相互作用の推察 ; 2012 年 07 月	第 49 回化学関連支部合同九州大会(6 月 30 日、北九州国際会議場、福岡)

菅 虎雄、長田聰史、兒玉浩明	環状テトラペプチドと環状ペンタペプチドが形成するイオンチャネルに関する尿素分子の影響 ; 2012年07月	第49回化学関連支部合同九州大会(6月30日、北九州国際会議場、福岡)
関 清彦、百島亜紀、大山裕夏、菅 虎雄、上田敏久、兒玉浩明、光富 勝	ヘペイン様キチン結合性ペプチド Ac-AMP の抗菌特性 ; 2012年07月	第26回キチン・キトサンシンポジウム(7月12-13日、北海道大)
坂本瞳、林 良、山下亜裕美、兒玉浩明、長田聰史	疎水性チオール系 HDAC 阻害剤の水溶化保護と細胞増殖抑制効果 ; 2012年07月	第49回化学関連支部合同九州大会(6月30日、北九州国際会議場、福岡)
溝上大樹、林 良、兒玉浩明、長田聰史	S-アデノシルホモスチンミミックの合成研究 ; 2012年07月	第49回化学関連支部合同九州大会(6月30日、北九州国際会議場、福岡)
高田稔也、沖谷麻里江、長田聰史、平 順一、東元祐一郎、兒玉浩明	基質ペプチドを基盤とする EcPDF および HsPDF 阻害剤の創成 ; 2012年07月	第49回化学関連支部合同九州大会(6月30日、北九州国際会議場、福岡)
小柳侑也、阿南裕也、菅 虎雄、長田聰史、兒玉浩明	環状ペプチドの構造とイオンチャネル活性 ; 2012年07月	第49回化学関連支部合同九州大会(6月30日、北九州国際会議場、福岡)
古賀脩一朗、北島健貴、林 良、長田聰史、兒玉浩明	システンを架橋剤とした遊走ペプチド fMLP 二量体の合成と生物活性 ; 2012年07月	第49回化学関連支部合同九州大会(6月30日、北九州国際会議場、福岡)
浅海裕也、古賀裕也、山口 浩、渡口啓史、関 清彦、光富 勝、兒玉浩明、宮崎真佐也	酵素固定化マイクロリアクターによる効率的アフィニティータグ切断法 ; 2012年07月	第49回化学関連支部合同九州大会(6月30日、北九州国際会議場、福岡)
城野竜彦、林 良、沖谷麻里江、兒玉浩明、長田聰史	ジアゾ転移試薬を用いたペプチド N-末端アジド化による生理作用物質の探索 ; 2012年07月	第49回化学関連支部合同九州大会(6月30日、北九州国際会議場、福岡)
林 良、D. Wang、原 利明、S. R. Durell、L. M. Miller Jenkins、長田聰史、兒玉浩明、D. H. Appella、E. Appella	N-Acylpolyamines as an alpha-helix mimetic disrupting p53-binding to E3 ubiquitin ligase HDM2 and its homolog HDMX ; 2012年06月	日本ケミカルバイオロジー学会 第7回年会(6月7-9日、京都大学、京都)
北村裕美、沖谷麻里江、林 良、平 順一、東元祐一郎、兒玉浩明、長田聰史	Insight into the interactions at the P1' site of EcPDF by the application of a fluorine scan ; 2012年06月	日本ケミカルバイオロジー学会 第7回年会(6月7-9日、京都大学、京都)
浅海裕也、古賀裕也、山口 浩、渡口啓史、関 清彦、光富 勝、兒玉浩明、宮崎真佐也	マイクロ化学デバイスを用いた効率的アフィニティータグ切断法の開発 ; 2012年05月	平成24年度日本生化学会九州支部例会(5月26-27日、福岡大学、福岡)
菅 虎雄、長田聰史、兒玉浩明	環状ペンタペプチド cyclo(L-Gln) ₅ によるイオンチャネル形成 ; 2012年05月	掲載資料名未入力
林 良、田上 款、S. R. Durell、D. K. Chatterjee、L. M. Miller Jenkins、D. H. Appella、E. Appella	脱リン酸化酵素 PPM1D の選択的環状ペプチド阻害剤の合成と評価 ; 2012年05月	平成24年度日本生化学会九州支部例会(5月26-27日、福岡大学、福岡)
Kenichi Nakashima	Core-Shell-Corona Polymeric Micelles as a Versatile Template for the Synthesis of Inorganic Hollow Nanoparticles: Application to Mesoporous Hollow Silica Nanospheres ; 2102年10月	World Congress on Oleo Science, Sasebo
Shuo Zhai and Kenichi Nakashima	Novel synthesis of gold@silica yolk/shell nanoparticles via micelle of ABC triblock copolymer as a soft template ; 2012年10月	World Congress on Oleo Science, Sasebo

Kenichi Nakashima, Sudhina Guragain ^D , Bishnu P. Bastakoti ^D , and Shin-ichi Yusa	Quadruple Stimuli-responsiveness of Aqueous Polymeric Micelles of Poly[N-isopropylacrylamide-b-sodium-2-(acrylamido)-2-methylpropanesulfonate] with Spiropyran Dimer Pendant ; 2012 年 10 月	8TH INTERNATIONAL SYMPOSIUM ON STIMULI-RESPONSIVE MATERIALS, California, USA, Invited Lecture
Yumi Kawauchi, Aya Kouka ^B , Sudhina Guragain ^D , Bishnu P. Bastakoti ^D , Shin-ichi Yusa, and Kenichi Nakashima	Stimuli-induced core-corona inversion of micelles of water soluble poly(methacryloyl aminopropyl-trimethyl ammonium chloride) -b-poly(2-(dimethylamino)ethyl methacrylate) ; 2012 年 10 月	World Congress on Oleo Science, Sasebo
佐伯翔吾 ^M ,遊佐真一,中島謙一	高分子ミセル及び無機-有機複合ナノ粒子を用いた高輝度蛍光性ナノ粒子の創製 ; 2012 年 06 月	第 49 回化学関連支部合同 九州大会, 北九州
角岡直紀・遊佐真一・中島謙一	高分子ミセルを用いた高輝度蛍光性ナノ粒子の合成 ; 2012 年 06 月	第 49 回化学関連支部合同 九州大会, 北九州
緒方淳人 ^M ・Yongkuan Gong・中島謙一	細胞膜を模倣した表面構造をもつ中空シリカナノ粒子の合成 ; 2012 年 06 月	第 49 回化学関連支部合同 九州大会, 北九州
Shuo Zhai ^D and Kenichi Nakashima	Novel Synthesis Route for Yolk/Shell Nanoparticles via ABC Triblock Copolymer Micelle as a Soft Template ; 2012 年 06 月	第 49 回化学関連支部合同 九州大会
Kenichi Nakashima, Manickam Sasidharan, Hom Nath Luitel, Toshiyuki Yokoi, Masamichi Inoue, Shin-ichi Yusa, Takanori Watari, and Takashi Tatsumi	Core-Shell-Corona Polymeric Micelles as a Smart Template for the Synthesis of Inorganic Hollow Nanoparticles: Application to Novel LaBO3 Hollow Nanospheres ; 2012 年 05 月	International Association of Colloid and Interface Science, Sendai
Seiko Uchino, Koichi Sakaguchi, Asami Ohtake, Noboru Takisawa, Tatsuro Nakashima Masanao Era and Naoki Matsuda	Improvement of Graphene Derivatives for Solvent Affinity by Solution Plasma Process	7th Int. Conf. on Molecular Electronics and Bioelectronics (M&BE7)
坂口 幸一、松田 直樹、内野 聖子、中島 達朗	カーボン系材料の高機能化	第15回佐賀大学連携大学院産学官交流セミナー
坂口 幸一、藤戸 昭徳、内野 聖子、大竹 亜紗美、明渡 邦夫、江良 正直	高有機溶媒親和性グラフェン誘導体の開発	電子情報通信学会技術研究報告
坂口 幸一、内野 聖子、大竹 亜紗美、藤戸 昭徳、明渡 邦夫、江良 正直	グラフェン誘導体の新規合成法の開発	2012 年秋季第 73 回応用物理学会 学術講演会
大竹 亜紗美、坂口 幸一、藤戸 昭徳、内野 聖子、明渡 邦夫、滝澤 登、江良 正直	酸化グラフェン粒径分布の酸化反応時間依存性	第 49 回化学関連支部合同九州大会
Koichi Sakaguchi, Akinori Fujito, Seiko Uchino, Asami Ohtake, Noboru Takisawa, Kunio Akedo and Masanao Era	Oxidation Time Dependence of Graphene Oxide	The 7th International Symposium on Organic Molecular Electronics

早田 皓一、坂口 幸一、江良 正直	π 共役系高分子を有機層に導入した有機-無機ハイブリッド超格子 LB 膜の作製	第 49 回化学関連支部合同九州大会
内野 聖子、坂口 幸一、藤戸 昭徳、大竹 亜紗美、明渡 邦夫、江良 正直	グラフェン誘導体の新規合成	第 49 回化学関連支部合同九州大会

招待講演・特別講演(学会シンポジウム等での講演を含む)		
発表者	題目	学会(会議等)名
Izuhara K	Importance of the interaction between immune and non-immune cells in the pathogenesis of allergic diseases	2012 KAAACI (The Korean Academy of Asthma, Allergy and Clinical Immunology) Annual International Congress
Izuhara K	Pharmacogenetics	IFCC C-CMBC Committee Activity in Malaysia "MOLECULAR DIAGNOSTICS FOR BEGINNERS"
Izuhara K	Periostin, a matricellular protein, promotes chronicity of allergic skin inflammation.	第41回日本免疫学会学術集会
Yoshida H, Nakaya M, Miichi F, Iizasa E, Hara H	Activation of innate immunity through ITAM-receptor and Syk-CARD9-Bcl10 signaling pathway is critically involved in control of Leishmania major Infection	The 12th Biennial International Endotoxin and Innate Immunity Society Meeting.
末岡榮三朗	鉄過剰症の臨床	第 15 回輸血研修会 2012 in 久留米 特別講演
副島英伸	ゲノム・エピゲノム解析による間葉性異形成胎盤の原因遺伝子探索の現状	熊本大学医学部産婦人科セミナー
副島英伸	ゲノムインプリンティングとヒト疾患-ベックウイズ・ビーデマン症候群と間葉性異形成胎盤の解析を中心に	第8回遺伝医学セミナー
高野吾朗	日本文学の教授法について	招待講演: テンプル大学日本キャンパス・日本文学教員養成用ワークショップ
能城浩和	招待公演 1 Division of Colorectal surgery department of Surgery Korea University anam Hospital Korea University College of Medicine Seoul Korea Seon-Hahn Kim Robotic versus Laparoscopic Surgery in Colon and Rectal Cancer	第 67 回日本大腸肛門病学会学術集会
野出孝一	インクレチンはアンチエイジングホルモンになりえるか?	脳心血管抗加齢研究会 2012・アンチエイジングフェスタ 2012
野出孝一	高血圧と時計遺伝子	日本高血圧学会第 1 回臨床高血圧フォーラム
野出孝一	心血管不全と体内時計	第 12 回日本抗加齢医学会総会

原博満	ITAM 受容体シグナル伝達と免疫疾患	日本薬学会第 132 年会特別シンポジウム～免疫応答制御分子研究の最前線～
見市文香	赤痢アメーバ“マイトソーム”の硫酸活性化経路	第 45 回日本原生動物学会シンポジウム
出原賢治	間質性肺炎の新規バイオマーカー: ペリオスチン.	第 52 回日本臨床化学会年次学術集会
出原賢治	アレルギー炎症の慢性化における IL-4/IL-13-ペリオスチン経路の重要性.	第 62 回日本アレルギー学会秋季学術大会
野出孝一	体内時計と心血管疾患—メカニズムから薬物療法を考える—	第 24 回日本糖尿病性腎症研究会
野出孝一, 尾山純一	光陰矢のごとし 体内時計からアンチエイジングを考える 心血管不全と体内時計	第 12 回日本抗加齢医学会総会
穴井 豊昭	ダイズ変異体ライブラリーの作出と利用	育種学研究 (別冊) VOL.14, NO.2, 17
穴井 豊昭	ダイズ突然変異体リソースの開発と利用	日本遺伝学会第 84 回大会 プログラム・予稿集, 83
徳田 誠	[特別講演] 虫こぶ 一昆虫がつくる植物のかたち一	佐賀昆虫同好会総会・第 166 回例会
徳田 誠	[特別講演] 昆虫がつくる植物のかたち 一虫こぶ形成昆虫と植物の生物間相互作用一	日本動物学会九州支部(第 65 回)・九州沖縄植物学会(第 62 回)・日本生態学会九州地区会(第 57 回)三学会合同佐賀大会
北垣浩志	「真核微生物に学ぶ新しいストレス適応機構と発酵・醸造食品への応用」基調講演	日本生物工学会シンポジウム
北垣浩志	焼酎粕・酒粕からのスフィンゴ脂質の検出とフラグメントイオン解析による構造決定	2012 日本生物工学会シンポジウム
北垣浩志	ミトコンドリアをターゲットとした低ピルビン酸清酒酵母の育種とその実用化	酵母合同シンポジウム
北垣浩志	ミトコンドリアをターゲットとした低ピルビン酸清酒酵母の開発について	日本生物工学会九州支部主催市民フォーラム
北垣浩志、M 平田みよ	日本醸造協会技術賞受賞講演「焼酎粕からのスフィンゴ脂質の検出・定量及び由来解析に関する研究」	2012 日本醸造学会受賞講演
北垣浩志	基調講演	日本生物工学会九州支部主催市民フォーラム
北垣浩志	ミトコンドリアをターゲットとした低ピルビン酸清酒酵母の開発について	日本生物工学会九州支部主催市民フォーラム
花本猛士	Synthetic applications of 2-(trifluoromethyl)vinyl sulfur derivatives ; 2012 年 09 月	The international symposium on preparatives chemistry of advanced materials, 2012
M. Unno	Exploring the active site structure of a photoreceptor protein by Raman optical activity	
T. Takamuku	Meso and Microscopic Observations on Mixing of Ionic Liquids with Molecular Liquids	第 18 回九州溶液化学懇談会, 福岡

高椋利幸	分子性液体の特性に依存したイオン液体の会合体形成	アジア連携分子研研究会, 岡崎
Keisuke Ohto	大渡 啓介 ; Effect of alkyl moiety on extractive selectivity of alkali metals with calix[4]arene acetic acid derivative ; 2012 年 09 月	The international Symposium on Preparative Chemistry of Advanced Materials, 2012 (ISPCAM2012)
Takehiko Yamato	大和 武彦 ; Synthesis and Photophysical Properties of Pyrene-Based Blue Light-Emitting Monomers ; 2013 年 03 月	Invited Lecture at Chulalongkorn University, Bangkok(Thailand), 2013 年 3 月 7-11 日
Takehiko Yamato	大和 武彦 ; Synthesis and photophysical properties of pyrene-based light-emitting monomers: highly blue fluorescent multiply-conjugated-shaped architectures ; 2012 年 11 月	Invited Lecture at National Central University, (Taoyuan, Taiwan), 2012 年 11 月 26 日
Takehiko Yamato	大和 武彦 ; Novel Ratiometric Fluorescent Sensors Based on Calixarenes ; 2012 年 10 月	Celebrate the 35th Anniversary of the Loker Hydrocarbon Research Institute and the 85th Birthday of Professor George A. Olah at University of Southern California (ロサンゼルス、USA)、2012 年 10 月 18-19 日
Takehiko Yamato	大和 武彦 ; Synthesis and Photophysical Properties of Pyrene-Based Y-shaped Blue Light-Emitting Monomers ; 2012 年 10 月	The 7th Taiwan-Japan Bilateral Symposium on Architecture of Functional Organic Molecules, National Chiao Tung University (Hsinchu, Taiwan)、2012 年 10 月 21 日-24 日
Takehiko Yamato	大和 武彦 ; Ratiometric fluorescent receptors based on Calix[n]arenes ; 2012 年 09 月	The International Symposium on Preparative Chemistry of Advanced Materials, 2012 (ISPCAM2012), Shenyang(China)、2012 年 9 月 14-15 日
M. Takeshita	Syntheses and Photochromic Properties of Large Thiophenophan-1-enes	PHENICS INTERNATIONAL NETWORK SYMPOSIUM
Michinori Takeshita	Photo-responsive supramolecular polymer having a diarylethene photoswitch	International Symposium on Stimuli-Responsive Materials (Plenary lecture) Hattiesburg, USA
X.G. Zheng	Universal magnetic-dielectric and lattice coupling observed in hydroxyl salts	the "2nd Advances in Applied Physics and Materials Science Congress", Apr 26 - 29, 2012 in Lara, Antalya - Turkey
X.G. Zheng	Novel Magnetism and Related Properties in Hydroxyhalogenides M ₂ (OH) ₃ X Series	Third International Conference on Superconductivity and Magnetism-ICSM2012, Istanbul-Turkey, during 29 April- 4 May 2012
坂口 幸一	高溶媒親和性グラフェン誘導体の合成と評価	第15回佐賀大学連携大学院産学官交流セミナー
坂口 幸一、藤戸 昭徳、内野 聖子、大竹 亜紗美、明渡 邦夫、滝澤 登、江良 正直	高溶媒親和性グラフェンの開発	2012 年 日本化学会西日本大会

坂口 幸一、藤戸 昭徳、内野 聖子、大竹 亜紗美、明渡 邦夫、滝澤 登、江良 正直	グラフェン誘導体の開発	応用物理学会 有機分子・バイオエレクトロニクス分科会 研究会「有機分子・バイオエレクトロニクスの最新トレンド」
---	-------------	---

受賞		
受賞者名	名称	受賞の対象となった成果の概要
見市文香	平成24年度日本寄生虫学会 第21回奨励賞	Mitosomes in Entamoeba histolytica contain a sulfate activation pathway
川崎 弘貴	第7回 PAIN RESEARCH 誌 優秀論文賞	Inhibition by menthol and its analogs of compound action potentials in frog sciatic nerves.
松下 晋大	第34回日本疼痛学会 優秀優秀演題	蛙坐骨神経の複合活動電位に及ぼす漢方薬の作用.
青木茂久	2012年日本透析医学会賞(木本賞)	Fluid flow stress affects peritoneal cell kinetics: possible pathogenesis of peritoneal fibrosis.
枝川亜希子	ポスター賞(日本防菌防黴学会第39回年次大会)	レジオネラ属菌を検出するためのアメーバ共培養法に関する検討
谷口一登	Asia Pacific Association of Pediatrics Allergy Respiriology and Immunology Travel Grant Award	Epigen is induced during the interleukin-13-stimulated cell proliferation in murine primary airway epithelial cells.
谷口一登	Alain L. de Weck Travel Grant Award.	The IL-1 alpha/periostin/IL-6 axis contributes to the keratinocyte proliferation and differentiation in atopic dermatitis.
島津倫太郎	平成24年度日本気管食道科学会奨励賞受賞	胃酸逆流と喉頭肉芽腫-動物モデルを用いた検討-

外部資金				
代表者氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
久木田明子	科学研究費補助金	基盤研究(C)	shRNAライブラリーを用いた新たな破骨細胞分化制御因子の探索と調節機構の解析	1,560
久木田明子	科学研究費補助金	挑戦的萌芽研究(分担)	膜修復制御分子による骨吸収制御:前破骨細胞特異的膜融合における膜修復イメージング	1,170
野出孝一	日本腎臓財団		ARB治療の降圧とQOLに対する効果の研究	9,500
出原 賢治	アストラゼネカ・R&D・グラント2012		Development of a biomarker to predict the efficacy of inhaled corticosteroids	2,000
荒金尚子	科学研究費補助金	基盤研究(C)	DNA依存性キナーゼを標的とした癌治療の構築と効果予測因子の探索	1,300
白木 綾	平成24年度佐賀大学中期計画実行経費	医学部研究者育成支援事業【臨床】	Mn-SODノックアウトマウスにおける左心室リモデリングに対するインクレチン製剤の効果について	1,000
久保田寧	平成24年度医学部研究者育成支援事業	(臨床)	Plxdc2発現は、強力な造血幹細胞マーカーとなりうるのか?	1,000
古川浩二郎	科学研究費補助金	基盤研究(C)	Scaffoldを用いない自己細胞由来心臓弁の作成	1,170

石川 慎一郎	科学研究費補助金	若手研究(B)	siRNAによる緑内障モデルラットにおける視神経節保護効果の検討	1,300
東元 健	平成24年度佐賀大学・奨励研究費(インセンティブ)		Sotos症候群における刷り込み遺伝子制御領域のメチル化異常発生メカニズムの解明	404
中村 淳	科学研究費補助金	若手研究(B)	TFF1をターゲットとした胃癌腹膜播種の分子標的治療に向けた基礎的研究	1,560
穴井 豊昭	科学研究費補助金	基盤研究(C)	TILLING法を用いたダイズ脂肪酸組成の代謝工学的改良	700
有馬 和彦	科学研究費補助金	基盤研究(C)	TSLPシグナル解析を通じた樹状細胞の機能的可塑性を維持する機能の解明	1,950
高椋 利幸	科学研究費補助金	基盤研究(C)	π 電子相互作用が寄与するイオン液体の会合体形成と圧力による相転移	600
出原 賢治	日油(株)		アトピー性皮膚炎改善剤の探索	1,420
枝川亜希子	科学研究費補助金	基盤研究(C)	アメーバ共培養法で検出したレジオネラの遺伝子型と棲息環境との関連性解析	1,950
枝川亜希子	科学研究費補助金	基盤研究(C)(分担)	アメーバ性角膜炎迅速診断法に応用可能なアカントアメーバ特異抗原蛋白質の同定と発現	1,560
原博満	科学研究費補助金	新学術領域(公募)	アレルギー性接触皮膚炎感作に必要な非感染性自然免疫活性化経路	5,200
柳 圭子(石原圭子)	科学研究費補助金	基盤研究(C)	内向き整流Kチャネルの生理機能を担うブロック低感受性コンダクタンスの分子機序	1,300
田中恵太郎	がん研究開発費	(分担)	科学的根拠に基づく発がん性・がん予防効果の評価とがん予防ガイドライン提言に関する研究	700
田中恵太郎	科学研究費補助金	新学術領域研究(分担)	がん研究分野の特性等を踏まえた支援活動	48,100
松延亜紀	科学研究費補助金	基盤研究(C)	肝細胞癌由来癌幹細胞の生存・増殖・分化・遊走における脂肪組織の役割とその制御機構	1,040
宮本比呂志	厚生労働科学研究費補助金	難治性疾患等克服研究事業(免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業)(分担)	関節リウマチ患者の関節機能を再建する革新的な人工股関節の創出	500
早川洋一	科学研究費補助金	挑戦的萌芽研究	寄生蜂は宿主の死をどのように防ぐか?	2,080
副島英伸	科学研究費補助金	挑戦的萌芽研究	ゲノム刷り込みに基づくiPS細胞分化能の指標作成	1,040
寺本 憲功	佐賀大学研究プロジェクト経費		ゲノム研究を基盤とした佐賀健康科学プロジェクト	600
副島英伸	佐賀大学研究プロジェクト	(分担)	ゲノム研究を基盤とした佐賀健康科学プロジェクト	500
戸田修二	アグリ・ヘルス実用化研究促進プロジェクト	牛等の動物由来の原料を用いた医療用新素材の開発	コラーゲンビトリゲルを用いた新規創部被覆材に関する研究	9,500
早川洋一	科学研究費補助金	基盤研究(B)	昆虫サイトカイン依存的な新しい自然免疫活性化経路の証明	3,380
出原 賢治	シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス(株)		シーメンス・イムライズの基礎的性能評価	400
小荒田秀一	平成24年度科学研究費補助金	基盤研究(C)	自己抗体産生細胞を標的とした全身性エリトラーゼの新規治療法の開発	910

平田 憲	科学研究費補助金	基盤研究(C)	徐放作用を有する網膜粘着糊を用いた網膜剥離および虚血性網膜疾患の治療法	1,690
西岡憲一	さががけ		新規ポリコーム群・トリソラックス群の探索	6,540
田中恵太郎	私立大学戦略的研究基盤形成支援事業	(分担)	身体活動の研究拠点形成	940
南里妃名子	科学研究費補助金	研究活動スタート支援	生活習慣病に対する食事パターンと肥満関連遺伝子多型の交互作用に関する分子疫学研究	1,430
宮本比呂志	厚生労働科学研究費補助金	創薬基盤推進研究事業(分担)	生体親和性材料によるナノ表面処理を用いた画期的な人工膝関節の開発に関する研究	2,000
大島 一里	科学研究費補助金	基盤研究(B) 海外	中国・インド大陸一植物ウイルス・ウイロイド伝播ルートの基礎情報収集と分析評価	7,280
多田芳史	厚生労働科学研究費補助金	難病・がん等の疾患分野の医療の実用化研究事業	特発性大腿骨頭壊死症の病因遺伝子解析と予防法開発への応用	8,000
徳田 誠	科学研究費補助金	挑戦的萌芽研究	トノサマバッタはなぜオオムギを食べない? 植食者の寄主と非寄主を決定する要因の探索	1,700
池田義孝	厚生労働科学研究費補助金	長寿科学総合研究事業(分担)	尿マーカーを用いた骨粗鬆症検診の有用性の検証と骨折予防効果に関する研究	800
櫻木 徹	グンゼ株		ネオベールシートの胸腔内癒着における病態解明	96.6
東元 健	平成24年度佐賀大学中期計画実行経費	医学部研究者育成支援事業【基礎】	ヒストンメチル化酵素 NSD1 による刷り込み DNA メチル化の制御機構	1,000
北垣 浩志	科学研究費補助金	基盤研究(C)	ピルビン酸低減清酒酵母のピルビン酸低減メカニズムの解明	2,300
井原 秀之	平成24年度科学研究費助成事業の応募申請に係るインセンティブ付与		フコシル化キトオリゴ糖の生合成及び生理活性に関する研究	800
後藤昌昭	科学研究費補助金	新学術領域研究	プラズマ医療科学創成	3,650
大塚泰史	科学研究費補助金	若手研究(B)	バックウィズ・ビーデマン症候群の父性ダイソミー多様性と腎泌尿器症状の関連性の解明.	1,820
兒玉 浩明	科学研究費補助金	基盤研究(C)	ヘテロ二量受容体が持つ二種類の結合部位から伝達される生理活性情報の識別	800
出原 賢治	独立行政法人科学技術振興機構(JST)	フィージビリティスタディ・ステージ 検索タイプ	ペルオキシダーゼを標的とした気管支喘息に対する治療薬の開発	1,700
大渡 啓介	平成25年度 環境研究総合推進費補助金		ホスト分子による希少金属オンサイト分離のためのマイクロリアクターシステムの構築	18275
宮崎博喜	平成24年度科学研究費補助金の応募申請に係る研究者へのインセンティブ付与	若手研究 B	ホルムアルデヒド曝露に対する生物学的モニタリングシステムの確立	880
出原 賢治	科学研究費補助金	基盤研究(C)	マトリックスタンパク質による新規のアレルギー性炎症機序の解明	1,950

高 椋 利幸	科学研究費補助金	新学術領域研究	マントル遷移層をモデル化した超高温・高圧下での水素結合性液体と溶媒和イオンの構造	800
薬師寺祐介	大塚製薬	受託研究	モデルマウスを用いた、シロスタゾールの脳アミロイドアンギオパチー関連脳出血発症への影響の検討	2,800
熊本 栄一	科学研究費補助金	基盤研究(C)	ラット脊髄後角の痛み伝達制御におけるオキシトシン作用のシナプスレベルの解析	2,600
藤田 亜美	科学研究費補助金	若手研究(B)	ラット脊髄後角の痛覚情報伝達制御における TRP 機能のプロテアーゼ受容体による修飾	780
西田裕一郎	科学研究費補助金	若手研究(B)	リポ蛋白リパーゼトランスジェニックウサギを用いたエネルギー代謝研究	2,340
多田芳史	平成24年度科学研究費補助金	基盤研究(C)	ループ腎炎の病態発現におけるインターフェロン制御因子5の作用の解析	1,430
大渡 啓介	科学研究費補助金	基盤研究(C)	レアメタル回収のためのテラーメイド型三脚状分子を含有するイオン交換樹脂の開発	600
宮本比呂志	科学研究費補助金	基盤研究(C)	レジオネラ感染に対するヒトの自然抵抗性を支配する遺伝子 NAIP-1 に関する研究	780
鯉川 雅之	科学研究費補助金	基盤研究(C)	三核環状錯体によるカプセル状分子集合体の構築と包摂分子による磁性制御	1,100
原 めぐみ	厚生労働科学研究費補助金	新型インフルエンザ等 新興・再興感染症研究事業(分担)	予防接種の分析疫学研究班: 予防接種に関するワクチンの有効性・安全性についての分析疫学研究	1,500
久留 和成	日本学術振興	二国間交流事業・共同研究	交感神経終末と平滑筋細胞との接合部における神経伝達機序の可視化研究	2,450
吉田裕樹	平成 24 年度佐賀大学中期計画実行経費	医学部研究者育成・大型プロジェクト事業	代謝性疾患における自然炎症の関与とその能動的制御による新規治療法開発プロジェクト	5,000
寺本 憲功	平成 24 年度佐賀大学中期計画実行経費	医学部研究者育成・大型プロジェクト事業(分担)	代謝性疾患における自然炎症の関与とその能動的制御による新規治療法開発プロジェクト	900
末岡 榮三朗	科学研究費補助金	基盤研究(C)	低酸素応答遺伝子 HIF-1a によるリンパ腫発生促進機構の解析	500
荒金尚子	科学研究費補助金	基盤研究(C)	低酸素応答遺伝子 HIF-1a によるリンパ腫発生促進機構の解析	500
宮本比呂志	平成 24 年度佐賀大学中期計画実行経費	医学部研究者育成・大型プロジェクト事業	佐賀大発! ユニバーサル型人工関節の開発・評価プロジェクト	300
副島英伸	厚生労働科学研究費補助金	難治性疾患等克服研究事業(分担)	先天性異常の疾患群の診療指針と治療法開発をめざした情報・検体共有のフレームワークの確立	2,600
原博満	科学研究費補助金	基盤研究 B (分担)	免疫抑制性 IL-12 関連サイトカインによる自然免疫制御とその治療応用に関する研究	100
吉田裕樹	科学研究費補助金	基盤研究 C	免疫抑制性 IL-12 関連サイトカインによる自然免疫制御とその治療応用に関する研究	910
吉田裕樹	文科省創薬等支援技術基盤プラットフォーム補助金	研究受託	免疫抑制性サイトカイン IL-27 のアンタゴニストリード化合物の探索	1,000
鈴木 章弘	科学研究費補助金	基盤研究(B)	共生窒素固定能の強化に関する分子基盤解明とマメ科作物への応用	2,200

出原 賢治	Meiji Seika ファルマ (株)		動物のアトピー性皮膚炎発症に関わる 因子の検討	1,000
田代克弥	科学研究費補助金	基盤研究(C)	単球・血管内皮・脂肪細胞による3次元 培養モデルを用いた川崎病血管炎の病 態の解析.	1300
吉田裕樹	日本ワックスマン財 団	研究助成金	原虫由来新規アジュバントの探索とその シグナル伝達経路の解明	1,000
米田 宏	科学研究費補助金	若手研究(B)	双安定性を有する多孔性配位高分子を 用いた不均一触媒の創成と触媒能の能 動的制御	1,500
山下佳雄	科学研究費補助金	基盤研究(C)	唇顎口蓋裂患者における間葉系幹細胞 を用いた再生治療の確立	650
宮本比呂志	科学研究費補助金	挑戦的萌芽研究 (分担)	喀痰中の結核菌を迅速に検出するイム ノクロマト法の開発	1,170
横山正俊	平成 24 年度喫煙科 学研究財団研究助成	喫煙とがん研究	子宮頸部発癌における喫煙の関与とそ のしくみ: HPV 感染に対する宿主免疫応 答への喫煙の影響	2,000
吉田裕樹	熱帯医学研究拠点一 般共同研究	熱帯医学研究拠点一 般共同研究	寄生虫感染に対する自然免疫活性化機 構の解析	500
山本修一	科学研究費補助金	基盤研究(C)	小児気管支喘息発症および気道炎症に 関わるクラス3セマフォリンの役割の解 明.	1950
野口 亮	科学研究費補助金	基盤研究(C)	幹細胞由来大型心筋移植片の心筋再生 効果の解析	1,300
尾山純一	平成 24 年度第 10 回 花王健康科学研究助 成		循環器疾患における時計遺伝子の役割	1500
野出孝一	科学研究費補助金	基盤研究 C	循環器病における時計遺伝子の解析	2080
塩谷 孝夫	科学研究費補助金	基盤研究(C)	心筋リバース EC カップリングにおける細胞 膜 Ca ポンプと Na/Ca 交換の機能連関	1040
戸田修二	科学研究費補助金	基盤研究(C)	心筋細胞の生存・分化・脂肪毒性におけ る脂肪組織の役割とその制御機構	1690
森貞真太郎	科学研究費補助金	挑戦的萌芽研究	感温性高分子ゲル吸着剤を用いた液中 ナノ粒子の高度分離・回収・再資源化	1,100
吉田裕樹	科学研究費補助金	基盤研究 B(分担)	抗腫瘍 T 細胞を利用した口腔癌の早期 診断法およびオーダーメイド免疫療法の 開発	260
副島英伸	厚生労働科学研究費 補助金	成育医療研究開発費 (分担)	新たなハイスループットエピゲノム解析 系の確立と応用	4,000
塚本宏樹	科学研究費補助金	若手研究(B)	新規抑制型抗体によるヒト TLR4 機能抑 制性エピトープの同定と新規活性制御法 の開発	2730
久保田寧	文部科学省研究費補 助金	若手研究(B)	新規細胞表面分子 Plxdc2 を指標とする 造血幹細胞の局在とそのニッチの解明	1560
吉賀 豊司	科学研究費補助金	挑戦的萌芽研究	新規線虫病原体の探索	400
原博満	科学研究費補助金	基盤研究 B(分担)	新規自然免疫活性化機構関連分子の神 経障害痛発症メカニズムにおける役割 の解明	350
八坂 敏一	科学研究費補助金	基盤研究(B)	新規自然免疫活性化機構関連分子の神 経障害痛発症メカニズムにおける役割 の解明.	6110
古賀 靖大	科学研究費補助金	基盤研究(C)	未分化型胃癌に対する低酸素誘導エピ ジェネティック分子を標的とした治療モ デルの確立	2990

出原 賢治	(株)アクアセラピューテイクス		核酸干渉薬による皮膚・呼吸器系疾患の治療法に関する研究	420
吉田裕樹	佐賀大学研究シーズ	学長裁量経費	次世代アジュバントの探索・開発とその生理活性の解析	1,800
浜崎雄平	科学研究費補助金	基盤研究(C)	気道のTh2環境決定におけるTSLP等の活性物質とアラキドン酸代謝物との相互作用.	2210
鈴木 章一	科学研究費補助金	基盤研究(C)	気道上皮細胞を介した喘息発症機序の解明	2340
鬼頭 佳彦	平成24年度佐賀大学中期計画実行経費	医学部研究者育成支援事業【基礎】	消化管自動運動発生における脂質メディエーターの役割	970
北垣 浩志	科学研究費補助金	若手研究(B)	清酒醸造時酵母ミトコンドリアにおける物質代謝の解析	300
大渡啓介(大代表:秋葉悦男(九州大学))	平成24年度 NEDO		燃料電池自動車用水素貯蔵材料に関する調査研究	2421
武田雄二	科学研究費補助金	挑戦的萌芽研究	特発性気胸におけるプレブ形成の病態解明	1690
田中恵太郎	科学研究費補助金	基盤研究(A)	生活習慣病の予防と遺伝子環境相互作用の解明を目指した大規模コホート研究	9,490
八坂 敏一	科学研究費補助金	挑戦的萌芽研究	痛覚伝達に関わる脊髄後角局所回路における高解像度トレーシング.	650
井手 貴雄	科学研究費補助金	若手研究(B)	癌細胞選択的アポトーシス活性化小分子化合物を用いた新規胃癌治療の確立	1690
森田茂樹	科学研究費補助金	基盤研究(B)	立体的心筋細胞構造体による心機能の再生	4680
鬼頭 佳彦	佐賀大学医学部 学術国際交流基金		第7回 カハール介在細胞国際シンポジウム および 2012年 国際神経消化器病共同学術集会	300
野出孝一	日本イーライリリー財団		糖尿病による動脈硬化予防の研究	2000
池田義孝	科学研究費補助金	基盤研究(C)	糖転移酵素を用いた糖鎖の構造特異的分解反応の検討と応用	1560
蒲原啓司	科学研究費補助金	基盤研究(C)	組織工学と幹細胞研究を融合させた新規自己細胞由来人工血管による再生医療	1170
原博満	科学研究費補助金	基盤研究 B(分担)	網膜下癥痕病巣形成メカニズム解明とその治療への応用	130
吉田裕樹	科学研究費補助金	基盤研究 B(分担)	網膜下癥痕病巣形成メカニズム解明とその治療への応用	260
出原 賢治	独立行政法人科学技術振興機構(JST)	A-STEP 本格研究開発ステージ	線維化疾患を網羅的かつ特異的に診断できる診断薬の開発	11700
大和 武彦	科学研究費補助金	基盤研究(C)	縮合多環芳香族化合物を基体とする拡張π共役系巨大分子の合成と発光特性	700
原博満	科学研究費補助金	基盤研究 B	肺感染症における新規自然免疫受容体の役割の解明	5,720
久留 和成	平成24年度佐賀大学中期計画実行経費	医学部研究者育成支援事業【基礎】	脳は「甘さ」を感じる！～視床下部における甘味受容体を介した食欲・代謝調節機序の解析～	990
八坂 敏一	佐賀大学研究シーズ	研究シーズ	脳内炎症から見た精神神経疾患における新規自然免疫活性化機構の役割.	1,250
久留 和成	科学研究費補助金	若手研究 B	脳幹における神経抑制ペプチド、GLP-1分泌細胞の分子生物学的解析	1,690

河野 史	科学研究費補助金の応募申請に係る研究者へのインセンティブ付与	基盤研究(C)	脳弓下器官－室傍核神経路の機能特異性に関する形態学的解明	776
飯笹英一	日本学術振興会特別研究員制度	研究助成金	自然免疫における CARD9 のシグナル伝達経路の解明	800
福留 健司	科学研究費補助金	基盤研究(C)	血管の内と外での病原体認識メカニズム	1300
寺本 憲功	日本学術振興	最先端・次世代研究開発支援プログラム	血管新生を誘導する siRNA とナノ薬物送達法による革新的低侵襲性治療法の創成	54600
見市(三田村)文香	科学研究費補助金	新学術領域(公募)	赤痢アメーバマイトソームによる硫酸活性化経路の獲得と寄生適応との関連性の解明	3,250
見市(三田村)文香	公益信託林女性自然科学者研究助成基金	研究助成金	赤痢アメーバマイトソーム硫酸活性化経路の生理的意義の解明	1,500
海野 雅司	科学研究費補助金	基盤研究(C)	近赤外励起ラマン円偏光二色性分光を用いた生体関連分子の構造解析手法の確立	1,500
副島英伸	厚生労働科学研究費補助金	難治性疾患等克服研究事業	間葉性異形成胎盤の臨床的・分子遺伝学的診断法の開発を目指した基盤研究	5,850
白石 裕士	科学研究費補助金	基盤研究(C)	非免疫細胞による慢性炎症制御機構の解明	1722
永尾 晃治	科学研究費補助金	基盤研究(C)	食環境による脂肪組織由来疾患遺伝子の発現制御と病態発症の予防・改善	1,200
内橋和芳	科学研究費補助金	若手研究(B)	骨芽細胞の増殖・分化・脂肪毒性における骨髄脂肪組織の影響とその制御機構の解明	1560
中島 謙一	科学研究費補助金	基盤研究(C)	高分子ミセルを鋳型とする卵黄－卵殻型無機ナノ粒子の合成と構造制御	2,000

知的財産権の出願等		
著者:	題名:	発表情報:
柳田晃良、永尾晃治、杉山大二郎、塙雅明、真船英一	肥満及び／又はメタボリックシンドロームの予防又は治療のための医薬組成物	特願 2013-024846
柳田晃良、永尾晃治、杉山大二郎、塙雅明、真船英一	肥満及び／又はメタボリックシンドロームの予防又は治療剤	特願 2012-113364

(4) センター教職員による業績及び外部資金

原著論文

著者名(多数の場合、略記可)	題目	雑誌名
Nishijima K, Liu E, Yamaguchi S, Tanaka M, Morimoto M, Watanabe T, Fan J, Kitajima S	Delaying embryo development by storing at 4 ° C for synchronization to recipients in microinjection technique in rabbit.	Lab. Anim.
Nishijima K, Saitoh R, Tanaka S, Ohsato-Suzuki M, Ohno T, Kitajima S	Life span of Common Marmoset (Callithrix jacchus) at CLEA Japan breeding colony.	Biogerontol.
Maeda T, Liu E, Nishijima K, Tanaka M, Yamaguchi S, Morimoto M, Watanabe T, Fan J, Kitajima S	Effect of the primary cooling rate on the motility and fertility of the frozen-thawed rabbit spermatozoa.	W. R. S.
Zhang J, Yu Y, Nakamura K, Koike T, Waqar AB, Zhang X, Liu E, Nishijima K, Kitajima S, Shiomi M, Qi Z, Yu J, Graham MJ, Crooke RM, Ishida T, Hirata K, Hurt-Camejo E, Chen YE, Fan J	Endothelial lipase mediates HDL levels in normal and hyperlipidemic rabbits.	J. Atheroscler. Thromb.
Sakuraba H, Satomura T, Kawakami R, Kim K, Hara Y, Yoneda K, Ohshima T	Crystal structure of a novel dye-linked L-proline dehydrogenase from the hyperthermophilic archaeon Aeropyrum pernix.	Journal of Biological Chemistry
Kawakami R, Noguchi C, Higashi M, Sakuraba H, Ohshima T	Comparative analysis of the catalytic components in the archaeal dye-linked L-proline dehydrogenase complexes	Applied Microbiology and Biotechnology
Kenta Goto, Yukio Nagano	Ultra-Low Background DNA Cloning System	PLOS ONE VOL.8, NO.2, e56530

招待講演・特別講演(学会シンポジウム等での講演を含む)

発表者	会議等名	題目
Koike T, Kitajima S, Nishijima K, Liu E, Watanabe T, Fan J	第1回日中合同ウサギバイオサイエンスフォーラム	polipoprotein A-II plays an important role in lipid metabolism.

一般講演

発表者	題目	学会(会議等)名
Hiroaki TERATO, Yuka SHIMAZAKI- TOKUYAMA, Yuko INOUE and Yoshiya FURUSAWA.	Quantitative analysis of chromosomal clustered DNA damage in cultured cells irradiated by heavy particle beams.	12th International Workshop on Radiation Damage to DNA,
寺東宏明, 島崎-徳山由佳, 井上侑子, 工藤健一, 井出博, 古澤佳也	重粒子線誘発クラスターDNA 損傷の細胞内生成収率と生物効果の解明	第55回 日本放射線影響学会大会
寺東宏明, 島崎-徳山由佳, 井上侑子, 森加奈恵, 井出博, 古澤佳也	重粒子線照射細胞中に生じるクラスターDNA 損傷の定量的分析.	第26回日本宇宙生物科学学会学術集会
○市場正良、宮崎博喜、井上明子、近藤敏弘、寺東宏明、上野大介	学校教室内の空気環境とその対策(2)	第82回日本衛生学会学術総会

西島和俊、増山律子、田中麻衣、森本正敏、渡辺照男、範江林、北嶋修司	ヒトC-反応性蛋白遺伝子導入ウサギの骨代謝	第1回ウサギバイオサイエンス研究会
田中麻衣、西島和俊、酒井悠輔、森本正敏、越本知大、渡辺照男、北嶋修司	Cholesterol-loaded cyclodextrin を添加したウサギ精子の凍結融解後の運動性	第30回九州実験動物研究会総会
後藤健太・永野幸生	バックグラウンドがゼロのDNAクローニング法	平成25年度日本農芸化学会大会
後藤健太・永野幸生	Zero Background Cloning System	平成24年日本分子生物学会
Kenta Goto, Yukio Nagano	Zero Background Cloning System	The 7th Daegu University-Saga University joint Symposium
Takashi Mimura, Hiroaki Suzuki, Ryoji Matsumoto, and Yukio Nagano	Whole genome and transcriptome sequencing in Citrus leaves to search floral genes	The 7th Saga University-Daegu University Joint Seminar
三村高史、鈴木裕明、松本亮司、永野幸生	RNAシーケンシングによるカンキツ遺伝子の網羅的発現解析および開花関連遺伝子の探索	九州育種談話会
後藤健太・永野幸生	多重宿主組換え法:組換えDNA構築において偽陽性発生を極限まで低下させる方法	第36回蛋白質と酵素の構造と機能に関する九州シンポジウム
後藤健太・永野幸生	組換えプラスミド構築において偽陽性発生を極限まで低下させる技術の開発	平成24年度日本農芸化学会西日本支部および日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部合同大会
三村高史、鈴木裕明、松本亮司、永野幸生	カンキツにおける開花関連遺伝子の探索および機能解析	蛋白質と酵素の構造と機能に関する九州シンポジウム
三村高史、鈴木裕明、松本亮司、永野幸生	カンキツの開花制御に関わるタンパク質間の相互作用	日本植物分子細胞生物学会
後藤健太・永野幸生	Zero Background Cloning System	平成24年日本生化学会九州支部例会
後藤健太、永野幸生	高効率なDNAクローニング法	日本農芸化学会2012年度大会

受賞

受賞者名	名称	受賞の対象となった成果の概要
川上竜巳	日本農芸化学会西日本支部奨励賞	超好熱アーキアの色素依存性L-プロリン脱水素酵素の機能と構造及び応用

外部資金

代表者名	資金の名称	研究課題	金額(千円)
寺東宏明	科研費 基盤C	チミン酸化損傷5-ホルミルウラシルに対する生体内修復機構FOシステムの全容解明	500
近藤敏弘	科研費 挑戦的萌芽	シックハウス症候群に対する高感度プローブとしてのDNA付加体損傷の解析	500
寺東宏明	科研費 挑戦的萌芽(分担)	パルス高電圧印加による温帯果樹の生育制御に関する基礎的研究(猪原哲)	
近藤敏弘	科研費 基盤C(分担)	小児における室内空気環境の健康影響に関する研究(市場正良)	

寺東宏明	平成24年度 佐賀大学研究シーズ	低線量・内部被曝に対するバイオ線量計の技術開発	1,250
寺東宏明	平成24年度 佐賀大学研究プロジェクト(分担)	ゲノム研究を基盤とした佐賀健康科学プロジェクト(野出孝一)	
北嶋修司	科研費 基盤C	ヒト疾患モデルウサギの精子バンク構築に向けての関連技術の整備	1,000
西島和俊	科研費 若手B	肥満おける運動療法に与えるリポ蛋白リパーゼおよびアポリポ蛋白AIIの作用の解明	1,800
渡辺照男	科研費 基盤C	プラーク破綻におけるMMP-9の役割:新たな急性冠症候群発症モデルの開発	1,000
永野幸生	挑戦的萌芽研究	フロリゲン直接注入法を活用したカンキツの幼若期短縮方法の開発	900
川上竜巳	A-STEP	外因性L-プロリン除去技術の開発	300
久保姉理華	奨励研究	学生実験への教材化を目指したトマトの有用成分抽出と成分分析	600
北嶋修司	基盤研究B(分担)	内皮リパーゼを標的とした動脈硬化治療法の新たな戦略-遺伝子改変ウサギを用いた研究	500
兒玉宏樹	共同研究	地下水および表層水に存在する有機物の採取法検討と特性評価	1,805
永野幸生	受託研究	最も簡単な部位特異的変異導入法の開発	768
兒玉宏樹	受託研究	海水中における鉄イオン濃度分析委託	500
池田進	受託研究	省エネルギー溶融塩電解による金属マグネシウムの回収技術	454

7. 学外評価委員による評価結果・意見

国立大学法人佐賀大学総合分析実験センター
自己点検評価報告書（平成24年度）に対する評価・検証

平成24年度佐賀大学総合分析実験センター自己点検評価報告書について

検証者 所属 県立広島大学

氏名 西本 潤

検証日 平成26年1月31日

1. 評価手法 (適切であった・**改善すべき点があった**)

意見・具体的改善点など

特許も成果の一つになると思いますので、年度にずれが生じるのかもしれませんが、項目として挙げられてはいかがでしょうか。

2. 評価基準 (**適切であった** 改善すべき点があった)

意見・具体的改善点など

3. 評価の妥当性 (**妥当である**・妥当でない点がある)

意見・具体的改善点など

その他

なし

国立大学法人佐賀大学総合分析実験センター
自己点検評価報告書（平成24年度）に対する評価・検証

平成24年度佐賀大学総合分析実験センター自己点検評価報告書について

検証者 所属 近畿大学工学部化学生命工学科

氏名 鈴木克之

検証日 平成26年1月29日

1. 評価手法 (適切であった・改善すべき点があった)
意見・具体的改善点など

2. 評価基準 (適切であった・改善すべき点があった)
意見・具体的改善点など

3. 評価の妥当性 (妥当である・妥当でない点がある)
意見・具体的改善点など

その他

上記、各項目において「改善すべき」、または「妥当でない点がある」というほどのことではございませんが、本評価報告書に以下を考慮されると良いと感じました。

- ・ 目次ページの追加
- ・ 各統計データの経年変化のグラフによる図示
- ・ URLでWEBページを記載するだけでなく図示する。

国立大学法人佐賀大学総合分析実験センター
自己点検評価報告書（平成24年度）に対する評価・検証

平成24年度佐賀大学総合分析実験センター自己点検評価報告書について

検証者 所属 山形大学医学部メディカルサイエンス推進研究所生化学解析センター

氏名 佐藤道比古

検証日 平成26年 1月 31 日

1. 評価手法 (適切であった)・改善すべき点があった)

意見・具体的改善点など

医学部の業務は、教育・研究・診療である。センターはその一翼を担い、教育・研究に関係した支援業務を担当している。自己評価の場合はこれらの業務を分けて項目を設定し、点検することが目的となる。目的にそって検証した結果、評価手法は適切に設定されていると認められる。

2. 評価基準 (適切であった)・改善すべき点があった)

意見・具体的改善点など

評価の基準についても年度比較資料が整備されており、的確に比較されている。例年に比べ、突出した数字（例、センター利用実績、外部資金項目、21-23年度に比べ件数で1.8倍、金額にして2倍）が出ている場合、分析を進めることによりセンターの運営にも役立つものと思われる。

3. 評価の妥当性 (妥当である)・妥当でない点がある)

意見・具体的改善点など

評価の妥当性については数字に基づいた評価を行っているので問題は無い。ただ、項目ウ、センター職員による研究活動に関する事項、6)で「各部門に配属されている技術系職員（含教務員）の研究への参画を促進した」とあるが結果が不明確なので具体的成果の記述が望まれる。

その他

国立大学法人佐賀大学総合分析実験センター
自己点検評価報告書（平成24年度）に対する評価・検証

平成24年度佐賀大学総合分析実験センター自己点検評価報告書について

徳島大学大学院
検証者 所属 ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス 研究部

氏名 川上 竜巳 (川上)

検証日 平成26年1月20日

1. 評価手法 (適切であった・改善すべき点があった)
意見・具体的改善点など

2. 評価基準 (適切であった・改善すべき点があった)
意見・具体的改善点など

3. 評価の妥当性 (妥当である・妥当でない点がある)
意見・具体的改善点など

その他 概算要求ほど大型の機器を整備する取り組みも重要ですが、
今後、汎用機器の整備(老朽化に伴う再導入等)も重要に
なってくると思います。